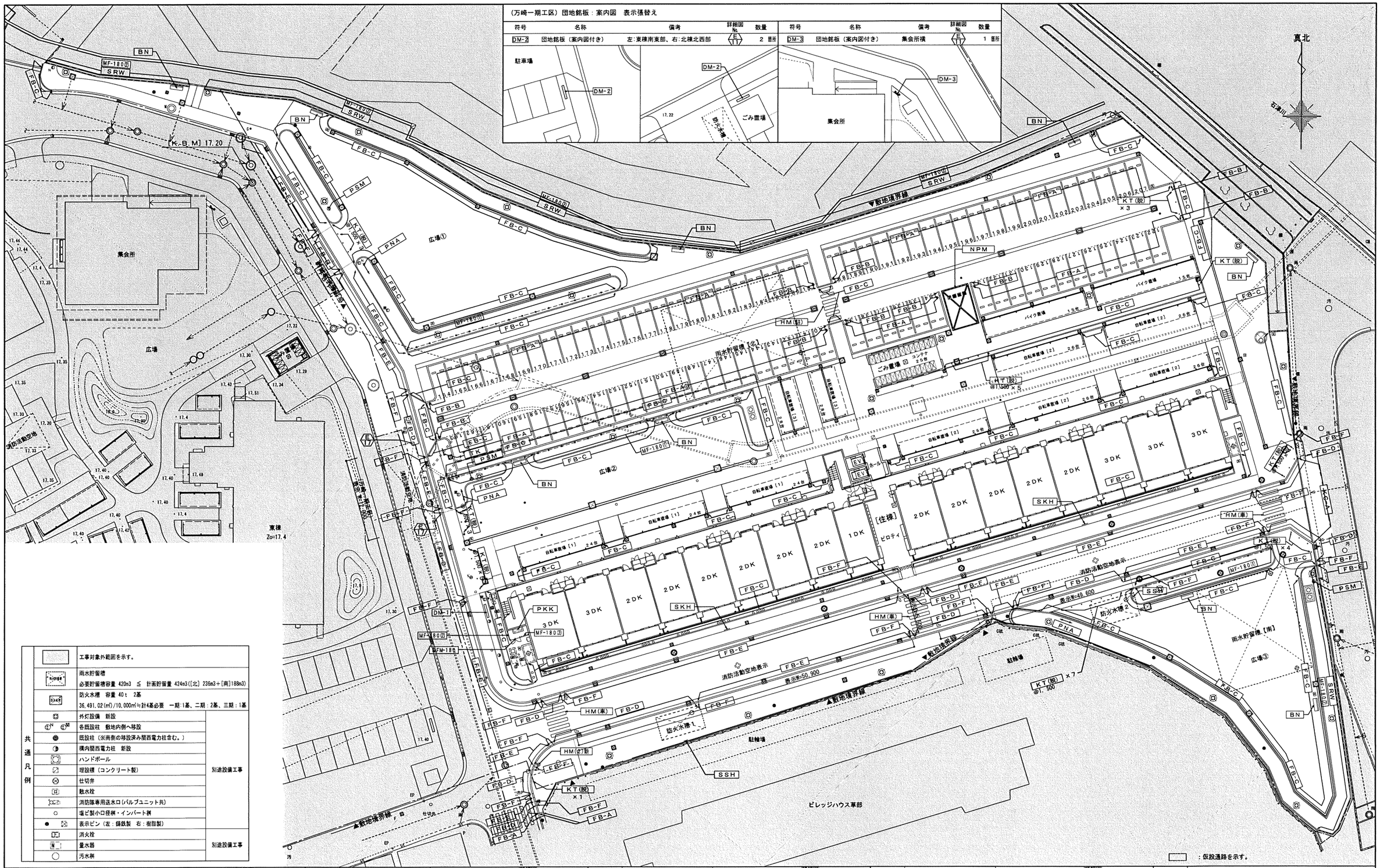
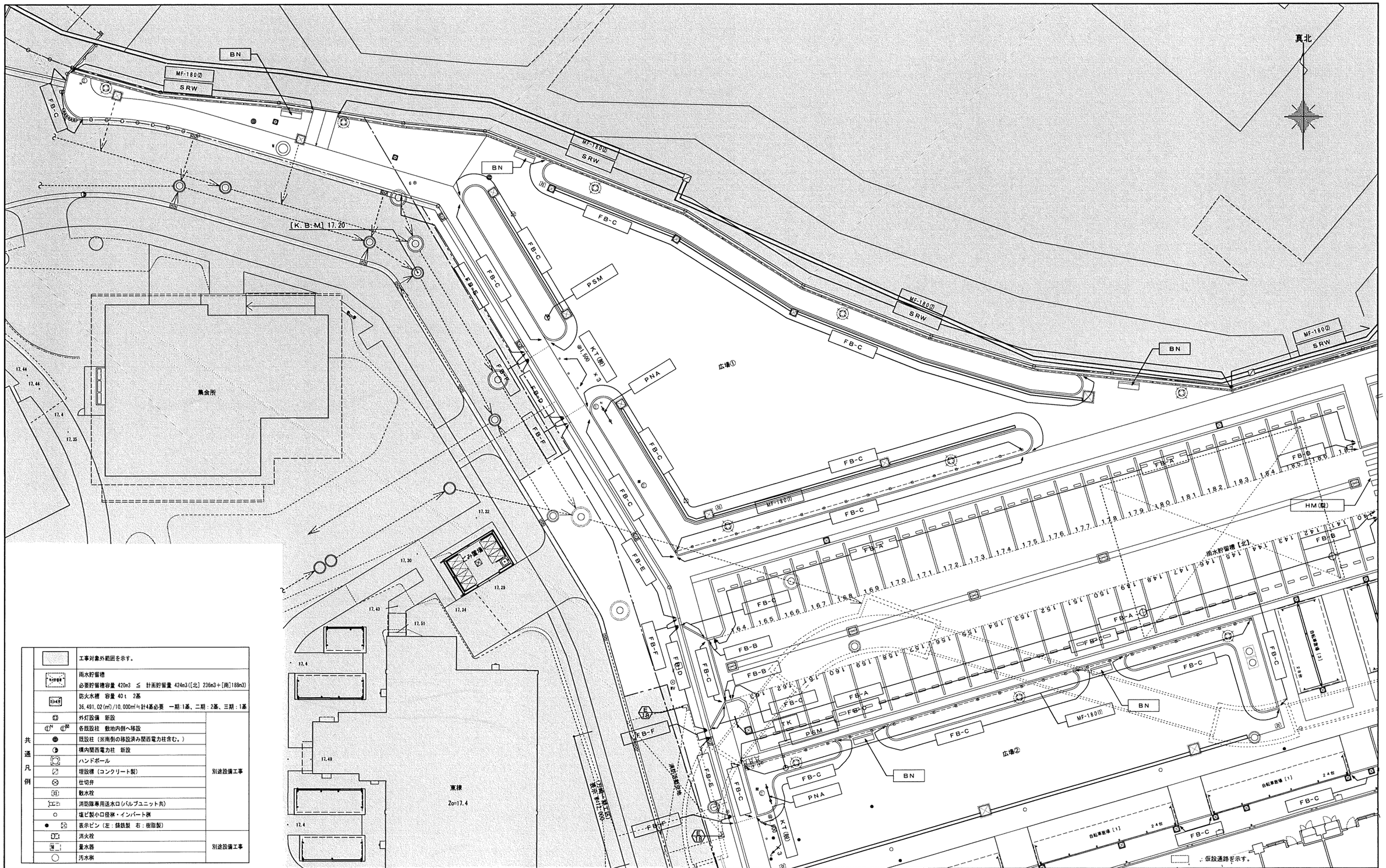


共通凡例		工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3＋[南]188m3)	
	防火水槽	防火水槽　容量 40t　2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要　一期：1基、二期：2基、三期：1基	
		外灯設備　新設	別途設備工事
		各既設柱　敷地内側へ移設	
		既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
		構内関西電力柱　新設	
		ハンドポール	
		埋設標（コンクリート製）	
		仕切弁	
		散水栓	
		消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
		塩ビ製小口径桝・インバート桝	
		表示ピン（左：鋳鉄製　右：樹脂製）	
		消火栓	別途設備工事
		量水器	
		汚水桝	

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
DM-1	団地銘板（案内図付き）	住棟北西側部	E 10	1 箇所
TK	駐車場看板	駐車場入口部	E 11	1 箇所
KT(脱)	車止めポール（脱着式）		E 13	36 箇所
HM(2)新	反射鏡（2面）新設		E 18	1 箇所
SKH	消防活動空地標識	住棟南側道路部	E 19	2 箇所
SSH	消防水利標識	住棟南東側部	E 20	2 箇所
PKK	ポンプ設備架台基礎	住棟西側部	E 21	1 箇所
FB-A	縁石ブロック A	片面歩車道境界（駐車場廻り）	E 22	264 m
FB-B	縁石ブロック B	同上用 切下げ	E 23	6.0 m
FB-C	縁石ブロック C	地先境界	E 24	667 m
FB-D	縁石ブロック D	乗入れ	E 25	109 m
FB-E	縁石ブロック E	両面歩車道境界	E 26	229 m
FB-F	縁石ブロック F	同上用 切下げ	E 27	13.2 m
KC-A	取合用境界コンクリート	東側道路境界線	E 34	12.4 m
MF-180(J)	メッシュフェンス（既成基礎・有）	H=1,800	E 29	97.8 m
MF-180(J)	メッシュフェンス（既成基礎・無）	H=1,800	E 28	208 m
MFM-180	メッシュフェンス門扉	W=1,500・H=1,800	E 30	1 箇所
SRW	擁壁	敷地境界線周辺	E 31	206 m
BN	ベンチ	L=1,800	E 32	9 箇所
HM(車)	横断歩道マーキング	車道部	E 14	3 箇所
HM(駐)	横断歩道マーキング	駐車場部	E 15	1 箇所
NPM	駐車禁止ゾーンマーキング	駐車場部	E 16	1 箇所
PNA	広場内禁止条項案内板	広場部	E 33	3 箇所
PSM	駐停車禁止マーク	広場 植栽部	E 35	3 箇所

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構計画平面図０２（工作物　全体）		
A３縮尺	１／５００	A１縮尺	１／２５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１３１
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



共通凡例		工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3+[南]188m3)	
	防火水槽	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期:1基、二期:2基、三期:1基	
		外灯設備 新設	別途設備工事
		各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
		既設柱 (※南側の移設済み関西電力柱含む。)	別途設備工事
		構内関西電力柱 新設	別途設備工事
		ハンドホール	別途設備工事
		埋設標 (コンクリート製)	別途設備工事
		仕切弁	別途設備工事
		散水栓	別途設備工事
		消防専用送水口(バルブユニット共)	別途設備工事
		塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
		表示ピン (左:鋳鉄製 右:樹脂製)	別途設備工事
		消火栓	別途設備工事
		量水器	別途設備工事
		汚水桝	別途設備工事

凡例

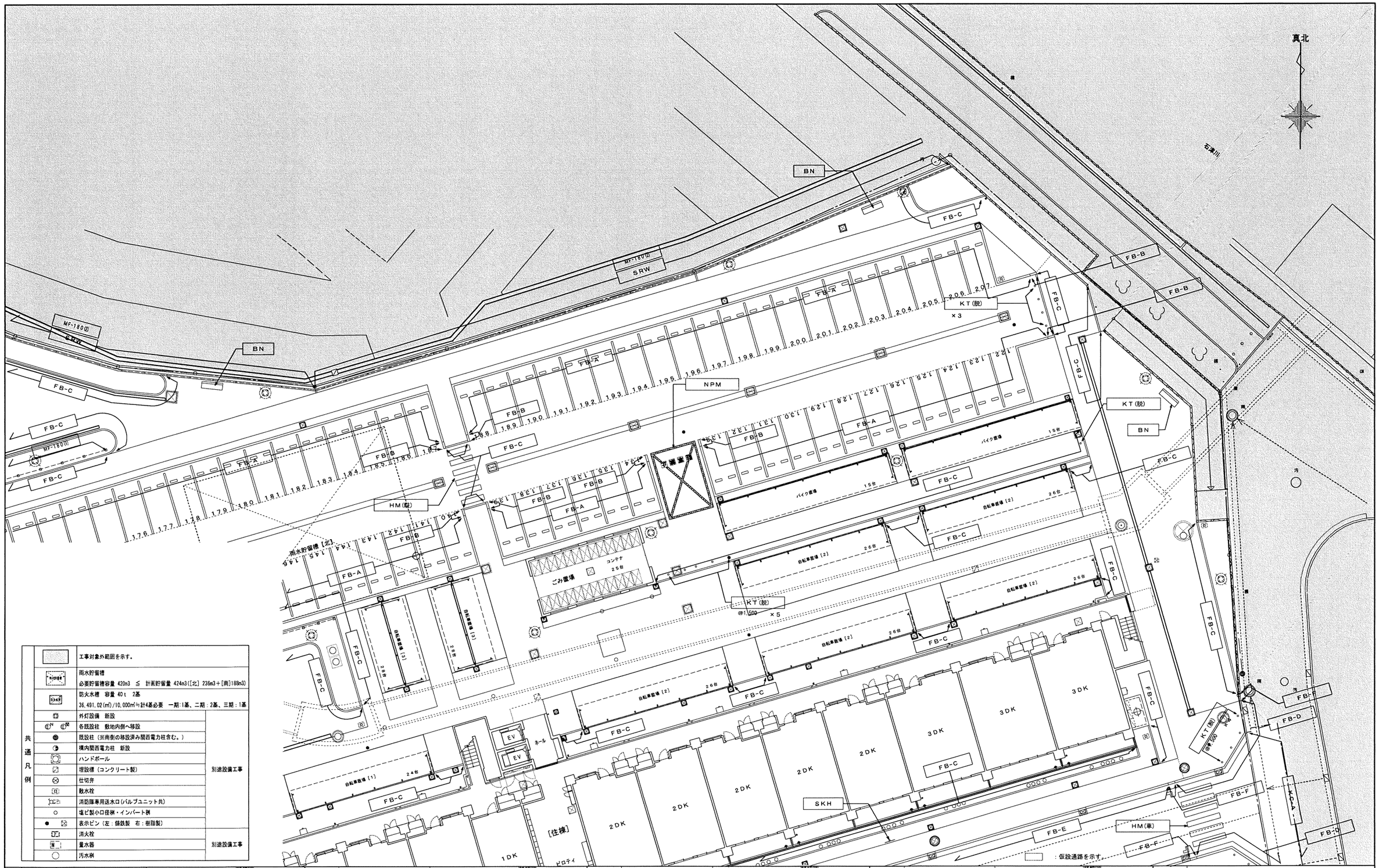
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
DM-1	団地銘板 (案内図付き)	住棟北西側部	E 11	1 箇所
TK	駐車場看板	駐車場入口部	E 12	1 箇所
KT(設)	車止めポール (脱着式)		E 14	36 箇所
HM[2]新	反射鏡 (2面) 新設		E 19	1 箇所
SKH	消防活動空地標識	住棟南側道路部	E 20	2 箇所
SSH	消防水利標識	住棟南東側部	E 21	2 箇所

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
PKK	ポンプ設備架台基礎	住棟西側部	E 22	1 箇所
FB-A	縁石ブロック A	片面歩車道境界 (駐車場廻り)	E 23	264 m
FB-B	縁石ブロック B	同上用 切下げ	E 24	6.0 m
FB-C	縁石ブロック C	地先境界	E 25	667 m
FB-D	縁石ブロック D	乗入れ	E 26	109 m
FB-E	縁石ブロック E	両面歩車道境界	E 27	229 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
FB-F	縁石ブロック F	同上用 切下げ	E 28	13.2 m
KC-A	取合用境界コンクリート	東側道路境界線	E 34	12.4 m
MF-180(I)	メッシュフェンス(既成基礎・有)	H=1,800	E 30	97.8 m
MF-180(O)	メッシュフェンス(既成基礎・無)	H=1,800	E 30	208 m
MFM-180	メッシュフェンス門扉	W=1,500・H=1,800	E 31	1 箇所
SRW	擁壁	敷地境界線周辺	E 32	206 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
BN	ベンチ	L=1,800	E 33	9 箇所
HM(車)	横断歩道マーキング	車道部	E 15	3 箇所
HM(駐)	横断歩道マーキング	駐車場部	E 16	1 箇所
NPM	駐車禁止ゾーンマーキング	駐車場部	E 17	1 箇所
PNA	広場内禁止条項案内板	広場部	E 33	3 箇所
PSM	駐停車禁止マーク	広場 植栽部	E 35	3 箇所

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構計画平面図02 (工作物 1/4)		
A3縮尺	1/300	A1縮尺	1/150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A/132
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

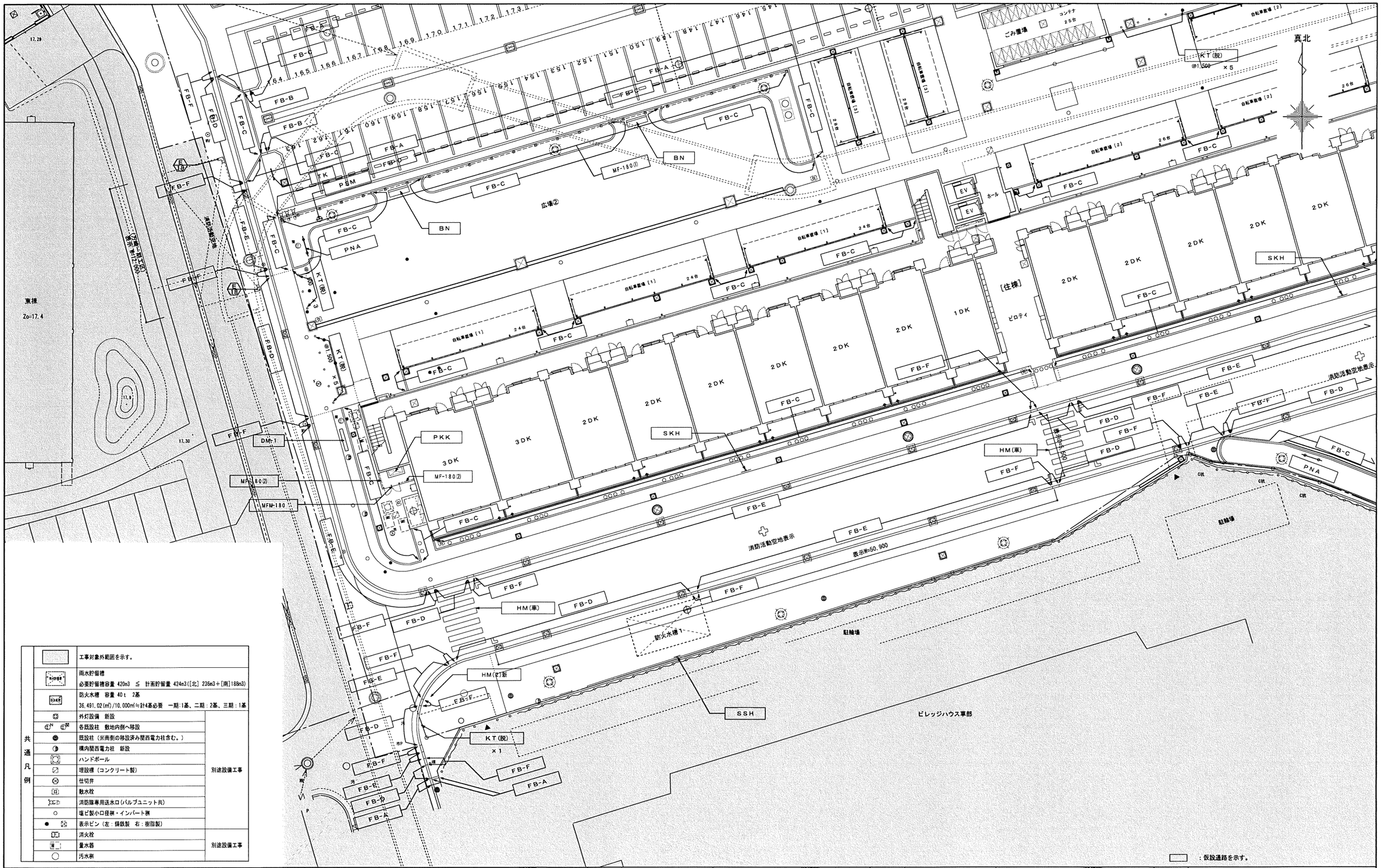


共通凡例		工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3＋[南]188m3)	
	防火水槽	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒4基必要 一期:1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯	外灯設備 新設	別途設備工事
	N 各	各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
	既	既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	別途設備工事
	関	構内関西電力柱 新設	別途設備工事
		ハンドホール	別途設備工事
		埋設標（コンクリート製）	別途設備工事
		仕切弁	別途設備工事
	H	散水栓	別途設備工事
		消防隊専用送水口(バルブユニット共)	別途設備工事
		塩ビ製小口径弁・インバート例	別途設備工事
		表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	別途設備工事
	F	消火栓	別途設備工事
	M	量水器	別途設備工事
		汚水桝	別途設備工事

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
DM-1	団地銘板（案内図付き）	住棟北西側部	E-11	1 箇所
TK	駐車場看板	駐車場入口部	E-12	1 箇所
KT(脱)	車止めポール（脱着式）		E-14	36 箇所
HM(2)新	反射鏡（2面）新設		E-19	1 箇所
SKH	消防活動空地標識	住棟南側道路部	E-20	2 箇所
SSH	消防水利標識	住棟南東側部	E-21	2 箇所
PKK	ポンプ設備架台基礎	住棟西側部	E-22	1 箇所
FB-A	縁石ブロック A	片面歩車道境界（駐車場廻り）	E-23	264 m
FB-B	縁石ブロック B	同上用 切下げ	E-24	6.0 m
FB-C	縁石ブロック C	地先境界	E-25	667 m
FB-D	縁石ブロック D	乗入れ	E-26	109 m
FB-E	縁石ブロック E	両面歩車道境界	E-27	229 m
FB-F	縁石ブロック F	同上用 切下げ	E-28	13.2 m
KC-A	取合用境界コンクリート	東側道路境界線	E-34	12.4 m
MF-180(J)	メッシュフェンス(既成基礎・有)	H=1,800	E-30	97.8 m
MF-180(J)	メッシュフェンス(既成基礎・無)	H=1,800	E-30	208 m
MFM-180	メッシュフェンス門扉	W=1,500・H=1,800	E-31	1 箇所
SRW	擁壁	敷地境界線周辺	E-32	206 m
BN	ベンチ	L=1,800	E-33	9 箇所
HM(車)	横断歩道マーキング	車道部	E-15	3 箇所
HM(駐)	横断歩道マーキング	駐車場部	E-16	1 箇所
NPM	駐車禁止ゾーンマーキング	駐車場部	E-17	1 箇所
PNA	広場内禁止条項案内板	広場部	E-33	3 箇所
PSM	駐停車禁止マーク	広場 植栽部	E-35	3 箇所

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構計画平面図02（工作物 2／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／133
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



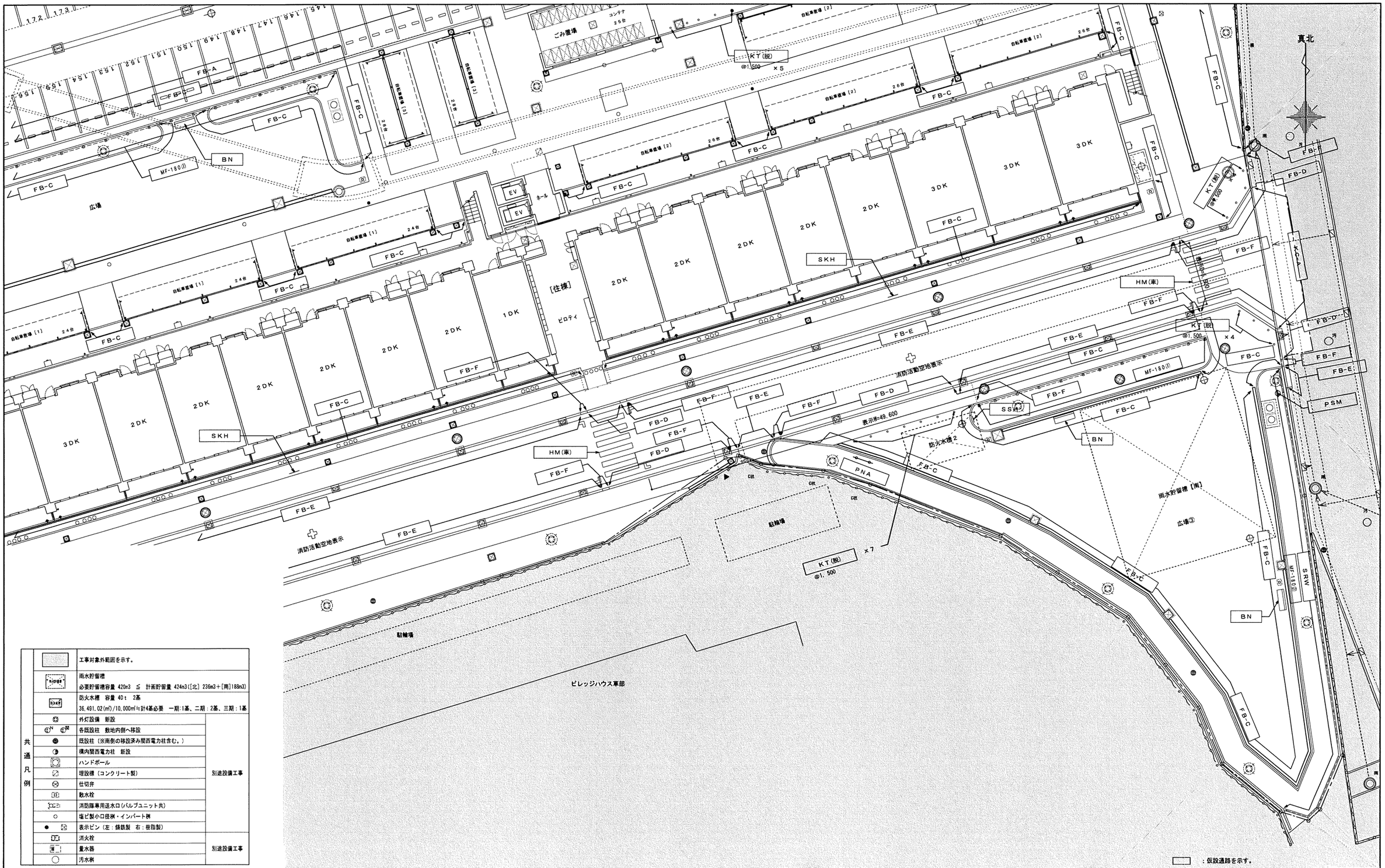
共通凡例		工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3+[南]188m3)	
	防火水槽	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期:1基、二期:2基、三期:1基	
		外灯設備 新設	別途設備工事
		各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
		既設柱 (※南側の移設済み関西電力柱含む。)	別途設備工事
		構内関西電力柱 新設	別途設備工事
		ハンドホール	別途設備工事
		埋設標(コンクリート製)	別途設備工事
		仕切弁	別途設備工事
		散水栓	別途設備工事
		消防隊専用送水口(バルブユニット共)	別途設備工事
		塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
		表示ピン (左:鋳鉄製 右:樹脂製)	別途設備工事
		消火栓	別途設備工事
		量水器	別途設備工事
		汚水桝	別途設備工事

：仮設通路を示す。

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
DM-1	団地銘板 (案内図付き)	住棟北西側部	E-11	1 箇所
TK	駐車場看板	駐車場入口部	E-12	1 箇所
KT(脱)	車止めポール (脱着式)		E-14	36 箇所
HM(2)新	反射鏡 (2面) 新設		E-19	1 箇所
SKH	消防活動空地標識	住棟南側道路部	E-20	2 箇所
SSH	消防水利標識	住棟南東側部	E-21	2 箇所
PKK	ポンプ設備架台基礎	住棟西側部	E-22	1 箇所
FB-A	縁石ブロック A	片面歩車道境界 (駐車場廻り)	E-23	264 m
FB-B	縁石ブロック B	同上用 切下げ	E-24	6.0 m
FB-C	縁石ブロック C	地先境界	E-25	667 m
FB-D	縁石ブロック D	乗入れ	E-26	109 m
FB-E	縁石ブロック E	両面歩車道境界	E-27	229 m
FB-F	縁石ブロック F	同上用 切下げ	E-28	13.2 m
KC-A	取合用境界コンクリート	東側道路境界線	E-34	12.4 m
MF-1800	メッシュフェンス(既成基礎・有)	H=1,800	E-30	97.8 m
MF-1800	メッシュフェンス(既成基礎・無)	H=1,800	E-30	208 m
MFM-180	メッシュフェンス門扉	W=1,500・H=1,800	E-31	1 箇所
SRW	擁壁	敷地境界線周辺	E-32	206 m
BN	ベンチ	L=1,800	E-33	9 箇所
HM(車)	横断歩道マーキング	車道部	E-15	3 箇所
HM(歩)	横断歩道マーキング	駐車場部	E-16	1 箇所
NPM	駐車禁止ゾーンマーキング	駐車場部	E-17	1 箇所
PNA	広場内禁止条項案内板	広場部	E-33	3 箇所
PSM	駐停車禁止マーク	広場 植栽部	E-35	3 箇所

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構レベル計画平面図02 (3／4)		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／134
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



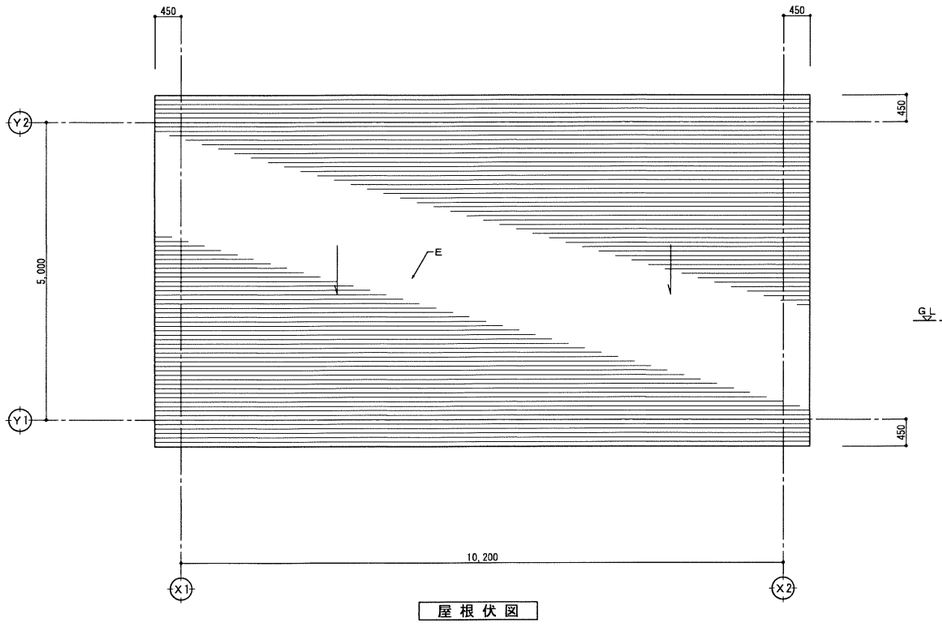
共通凡例		工事対象外範囲を示す。	
		雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3＋[南]188m3)	
		防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期:1基、二期：2基、三期：1基	
		外灯設備 新設	別途設備工事
		各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
		既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	別途設備工事
		構内関西電力柱 新設	別途設備工事
		ハンドポール	別途設備工事
		埋設標（コンクリート製）	別途設備工事
		仕切弁	別途設備工事
		散水栓	別途設備工事
		消防隊専用送水口(バルブユニット共)	別途設備工事
		塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
		表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	別途設備工事
		消火栓	別途設備工事
		量水器	別途設備工事
		汚水桝	別途設備工事

：仮設通路を示す。

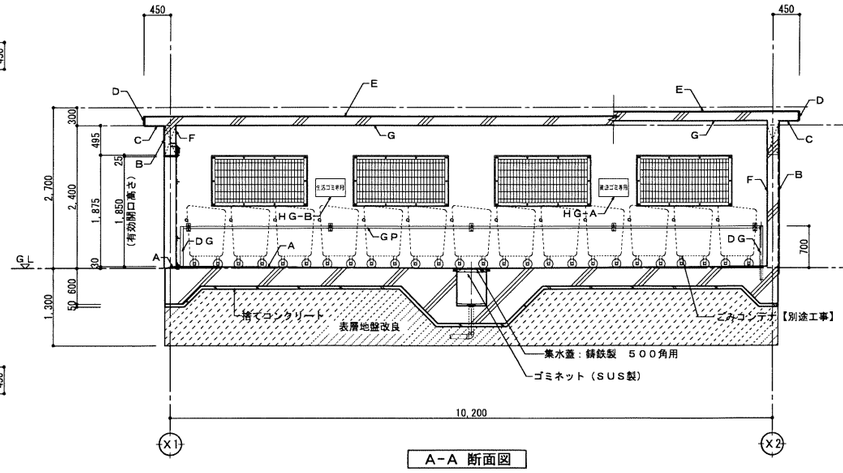
凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
DM-1	団地銘板（案内図付き）	住棟北西側部	E-11	1 箇所
TK	駐車場看板	駐車場入口部	E-12	1 箇所
KT(脱)	車止めポール（脱着式）		E-14	36 箇所
HM(2)新	反射鏡（2面）新設		E-19	1 箇所
SKH	消防活動空地標識	住棟南側道路部	E-20	2 箇所
SSH	消防水利標識	住棟南東側部	E-21	2 箇所
PKK	ポンプ設備架台基礎	住棟西側部	E-22	1 箇所
FB-A	縁石ブロック A	片面歩車道境界（駐車場廻り）	E-23	264 m
FB-B	縁石ブロック B	同上用 切下げ	E-24	6.0 m
FB-C	縁石ブロック C	地先境界	E-25	667 m
FB-D	縁石ブロック D	乗入れ	E-26	109 m
FB-E	縁石ブロック E	両面歩車道境界	E-27	229 m
FB-F	縁石ブロック F	同上用 切下げ	E-28	13.2 m
KC-A	取合用境界コンクリート	東側道路境界線	E-34	12.4 m
MF-180(I)	メッシュフェンス(既成基礎・有)	H=1,800	E-30	97.8 m
MF-180(2)	メッシュフェンス(既成基礎・無)	H=1,800	E-30	208 m
MFM-180	メッシュフェンス門扉	W=1,500・H=1,800	E-31	1 箇所
SRW	擁壁	敷地境界線周辺	E-32	206 m
BN	ベンチ	L=1,800	E-33	9 箇所
HM(車)	横断歩道マーキング	車道部	E-15	3 箇所
HM(駐)	横断歩道マーキング	駐車場部	E-16	1 箇所
NPM	駐車禁止ゾーンマーキング	駐車場部	E-17	1 箇所
PNA	広場内禁止条項案内板	広場部	E-33	3 箇所
PSM	駐停車禁止マーク	広場 植栽部	E-35	3 箇所

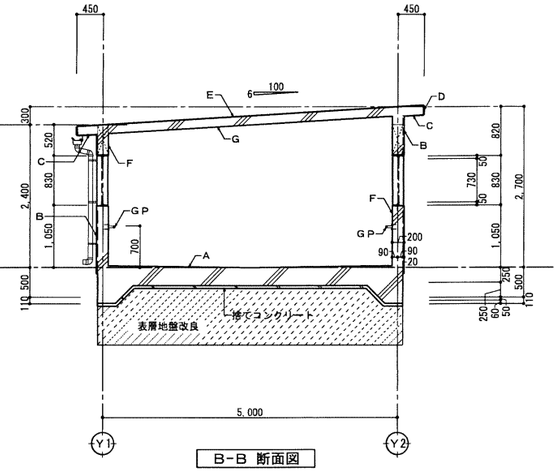
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構計画平面図02（工作物 4／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／135
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



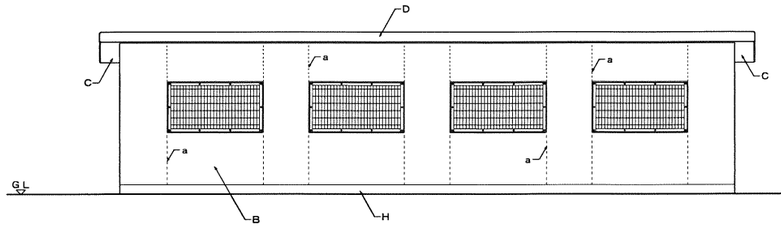
屋根伏図



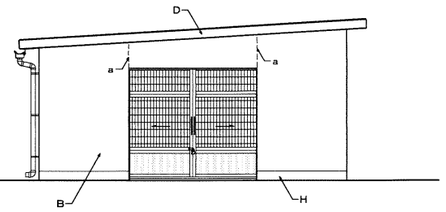
A-A 断面図



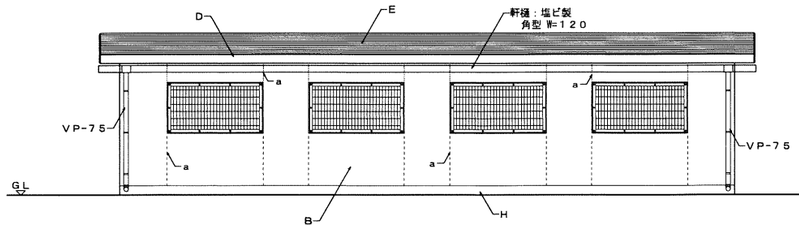
B-B 断面図



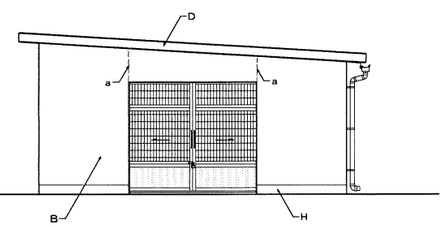
A 立面図



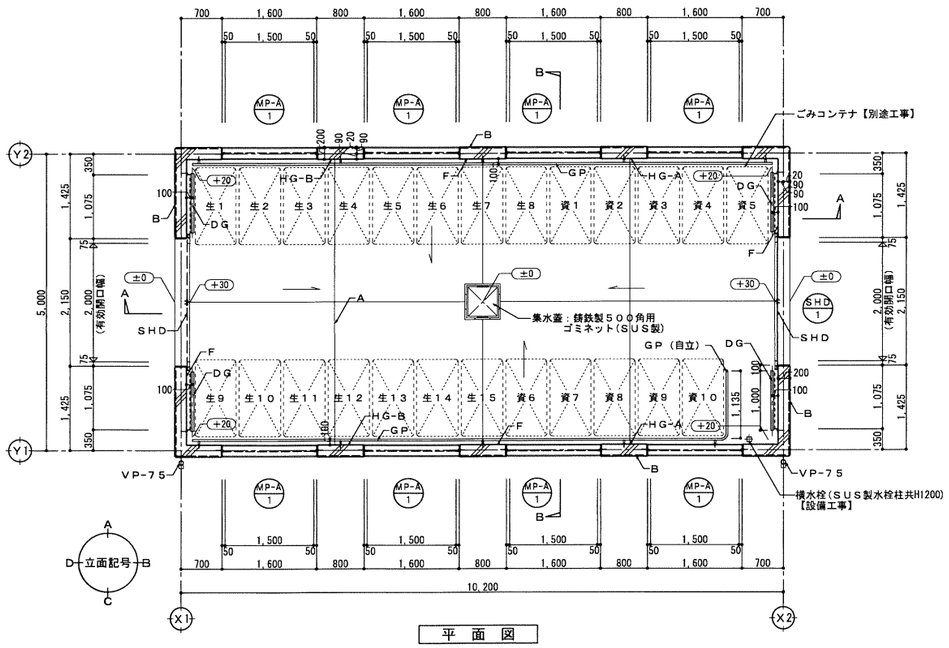
B 立面図



C 立面図



D 立面図



平面図

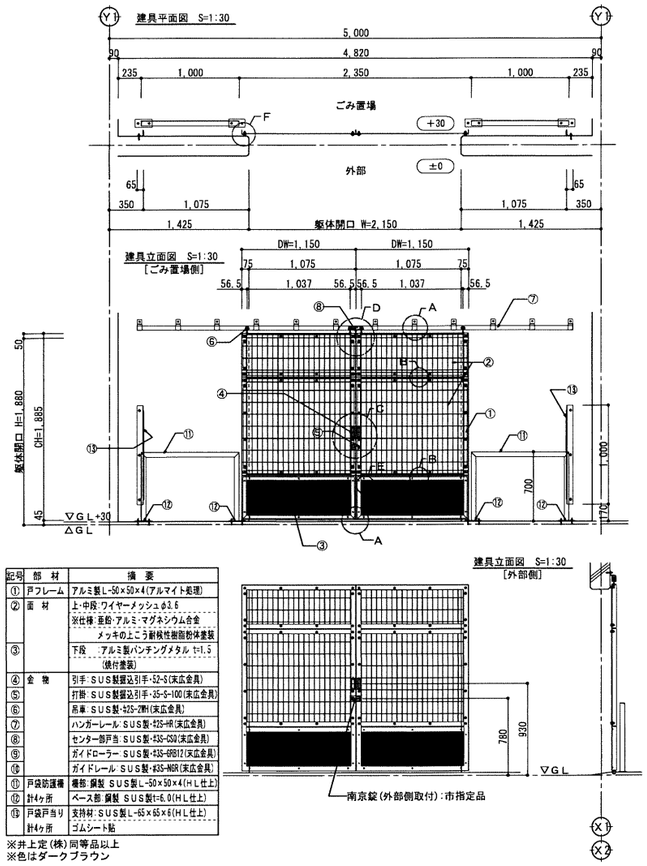
凡例	A	床	コンクリート金ゴテ押え　目地切：@２，５００以内	G	天井	コンクリート打放し素地	DP	ドアガード	G 1 建具詳細図参照	表層地盤改良	長期設計地耐力＝３０ｋＮ/m2。セメント系固化材 60kg/m3 平板載荷試験を行い、上記耐力を確認すること。 （改良下は掘削によりＧＬ-１．３m以深の支持層(粘土交じり砂)を確認の上、 現場係員と協議を行い、最終決定のこと。	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	B	外壁	コンクリート打放し仕上Ｂ種の上複層塗材Ｅ （ベージュグレー）	H	根巻り	コンクリート打放しの上複層塗材Ｅ （グレー）	GP	ガードパイプ	G 4 4-1:壁ブラケット形（SUS304）φ34.0×3.4 H=700 4-2:一部：床自立型（支柱付）			図面名称	外構詳細図（ごみ置場０１）		
	C	軒裏	コンクリート打放し仕上Ｂ種の上外装薄塗材Ｅ （ベージュグレー）	a	誘発目地	A 39 シーリング	HG-A	表示板-A	G 3 アクリル樹脂板 t=5　５００×３００（資源ゴミ専用）			A３縮尺	１／１００　１／２００	A１縮尺	１／５０　１／１００
	D	軒鼻先、ケラバ	コンクリート打放し仕上Ｂ種の上、塗膜防水 （ウレタンゴム系、Ｘ－２）（ベージュグレー）				HG-B	表示板-B	G 3 アクリル樹脂板 t=5　５００×３００（生活ゴミ専用）			堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１３６
	E	屋根	コンクリート金ゴテ押えの上、塗膜防水 （ウレタンゴム系、Ｘ－２）（ベージュグレー）	SHD 1	アルミ製ハンガー戸	G 1 建具詳細図参照（ダークブラウン）	VP-75	竪樋	塩ビ製カラーＶＰ管　φ７５			原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		
	F	内壁	コンクリート打放し素地	MP-A 1	アルミ枠窓パネル	G 1 建具詳細図参照（ダークブラウン）									

DETAIL_No. G-1

ごみ置場　建具詳細図（参考図）

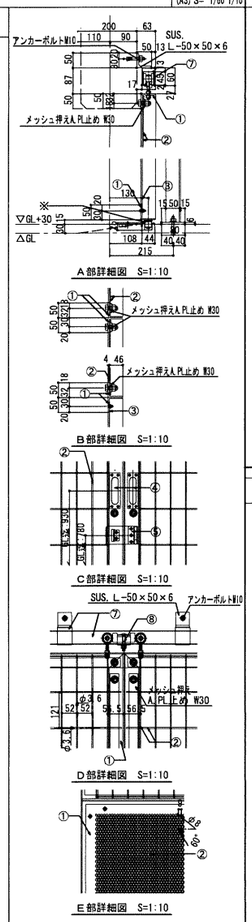
SCALE (A1) S= 1/30 1/5 (A3) S= 1/60 1/10

SHD-1　アルミ製引分けハンガー戸



記号	部材	摘要
①	戸フレーム	アルミ製L-50×50×4(アルマイト処理)
②	面材	上・中段:ワイヤーメッシュφ3.6
		※仕様:亜鉛・アルミ・マグネシウム合金メッキの上こう耐候性樹脂粉体塗装
③		下段　アルミ製パンチングメタル t=1.5(焼付塗装)
④	金物	引手:SUS製埋込引手-S2-S(末広金具)
⑤		打棒:SUS製埋込引手-S5-S-100(末広金具)
⑥		吊車:SUS製-S25-2RH(末広金具)
⑦		ハンガーレール:SUS製-K25-HR(末広金具)
⑧		センター部戸当:SUS製-K35-CS2(末広金具)
⑨		ガイドローラー SUS製-K35-GR812(末広金具)
⑩		ガイドレール:SUS製-K35-NR5R(末広金具)
⑪	戸袋防護柵	柵部:鋼製 SUS製L-50×50×4(HL仕上)
⑫	計4ヶ所	ベース部:鋼製 SUS製t=6.0(HL仕上)
⑬	戸袋戸当り 計4ヶ所	支持材:SUS製L-65×65×6(HL仕上)
		ゴムシート貼

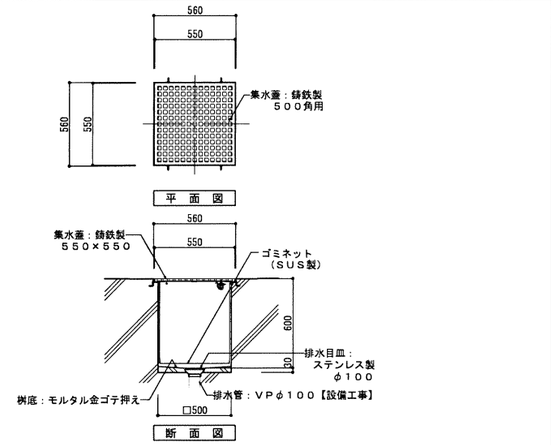
※井上定(株)同等品以上
※色はダークブラウン



DETAIL_No. G-2

集水桝廻り　詳細図

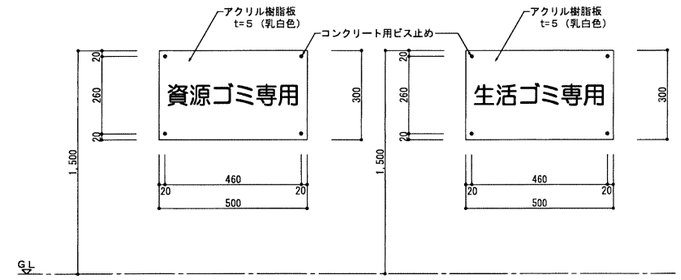
SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



DETAIL_No. G-3

表示板（HG）取付け　詳細図

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



[表示板-A（HG-A）] 2箇所

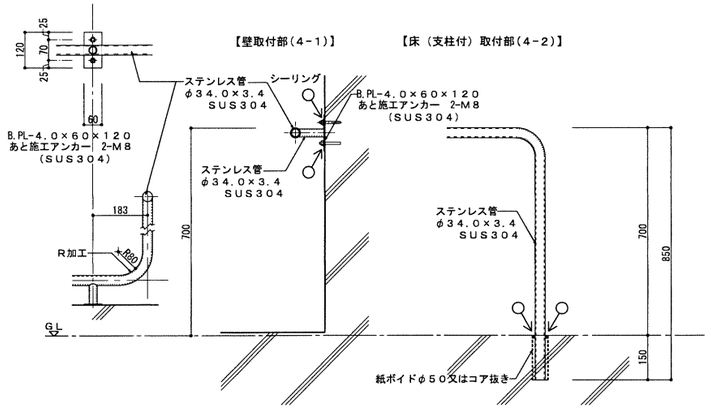
[表示板-B（HG-B）] 2箇所

※ 記載文字は監督員協議の上決定のこと。

DETAIL_No. G-4

ガードパイプ（GP）　詳細図

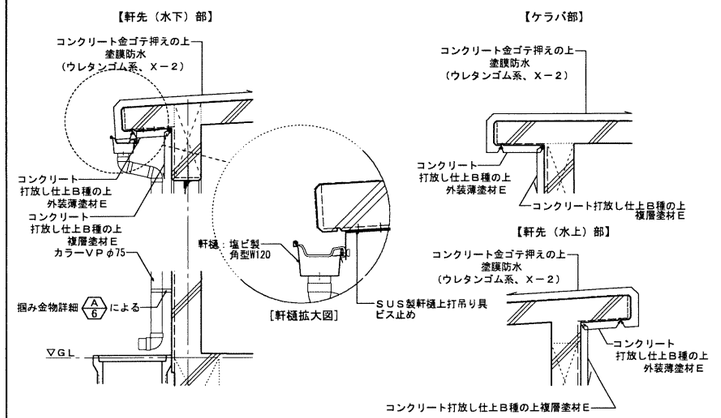
SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



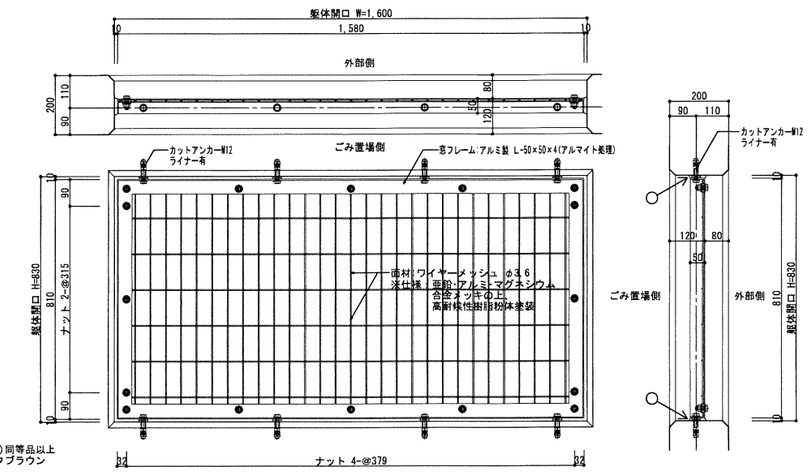
DETAIL_No. G-5

屋根防水納まり（軒先・ケラバ等）　詳細図

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



NP-A-1　アルミ枠窓パネル



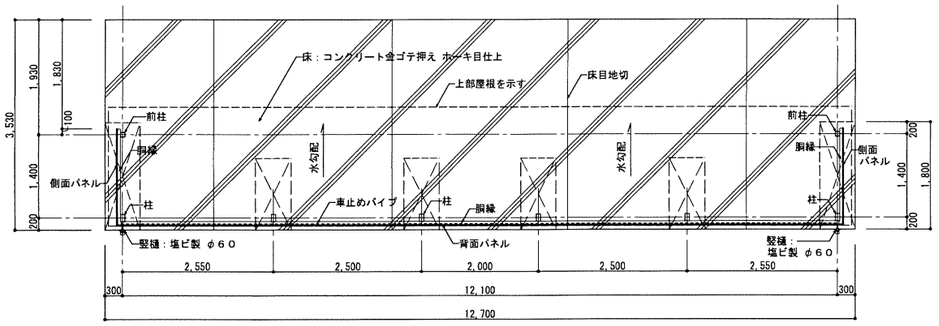
※井上定(株)同等品以上
※色はダークブラウン

注記・備考

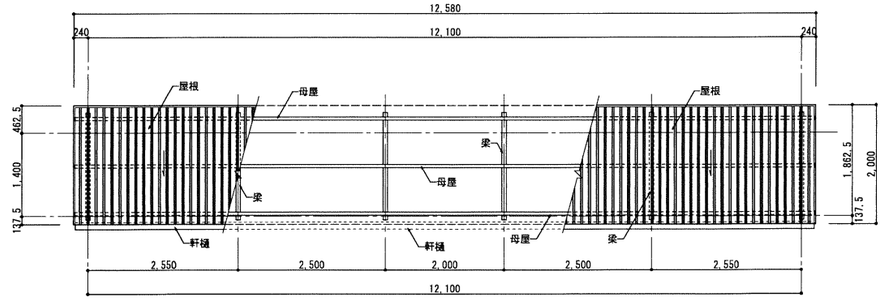
○→ : 変成シリコーン10×10を示す

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構詳細図（ごみ置場０２）		
A３縮尺	図示による	A１縮尺	図示による
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／１３７
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

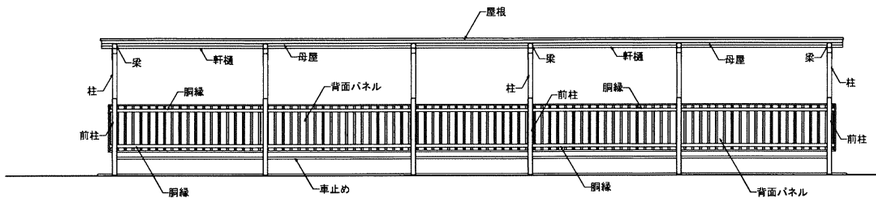
自転車置場［1］（シングル）　駐輪台数：２４台（３箇所）



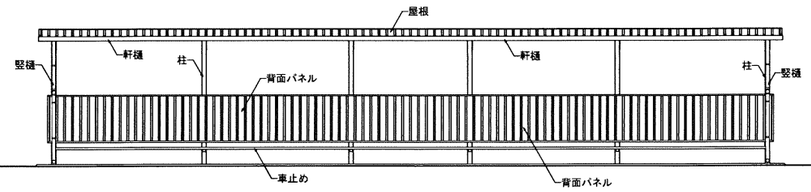
平　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



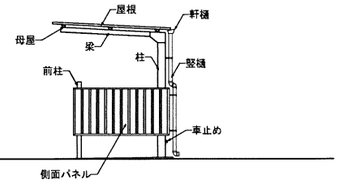
屋根伏図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



正　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

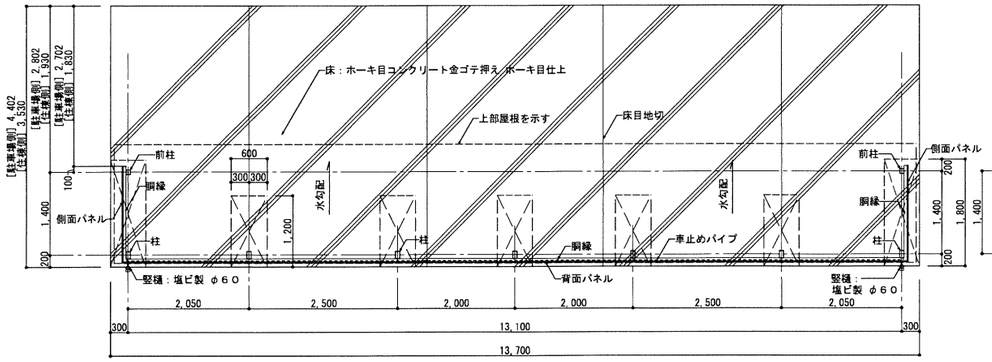


背　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

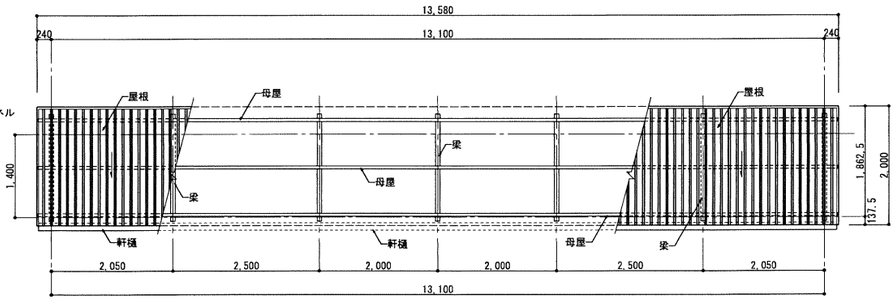


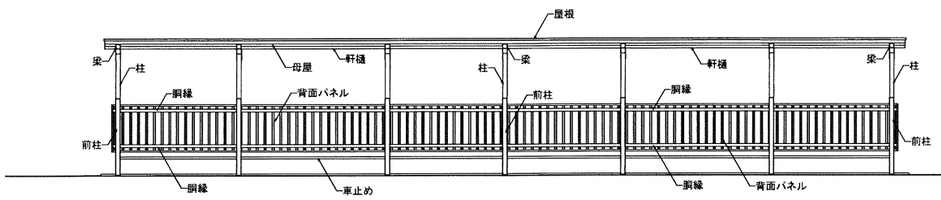
側　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

自転車置場［2］（シングル）　駐輪台数：２６台（５箇所）

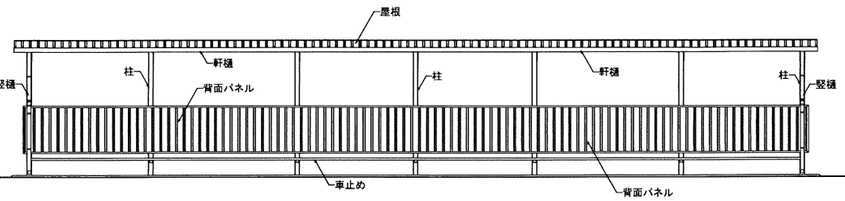


平　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

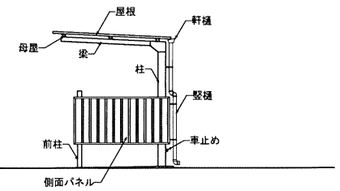




正　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



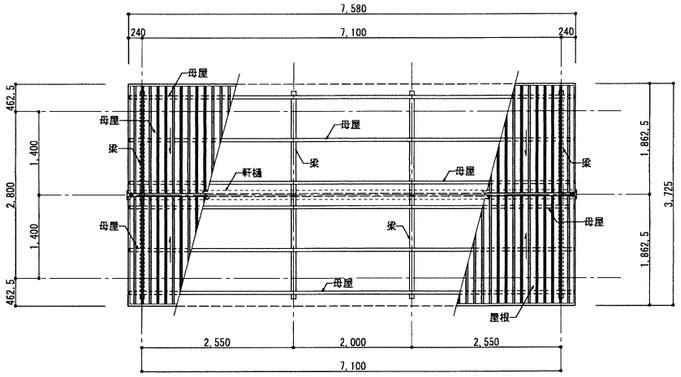
背　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



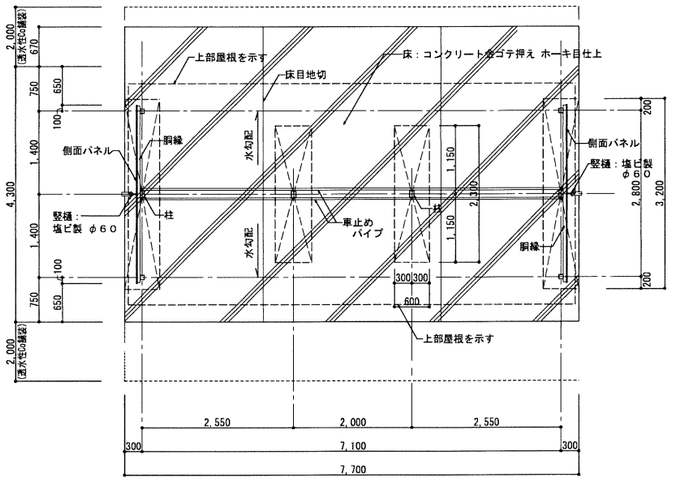
側　面　図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

部材仕様												
	柱	□-１２５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	側面パネル	角波カラー鋼板	コンクリート	設計基準強度：(基礎・土間) 呼び強度 １８N/mm²	※ 注記	上屋は：(株)ニチブレ　ルーフテリア　B-１５、B-１５Y同等品以上	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	前柱	□-７５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	背面パネル	角波カラー鋼板		スランプ値：S-１５cm			図面名称	外構詳細図（自転車置場０１）		
	梁	□-７５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	車止パイプ	ＳＵＳ３０４　φ３４	鉄筋	異形鉄筋　ＳＤ２９５Ａ（Ｄ１０～１６）、ＳＤ３４５（Ｄ１９～２５）			Ａ３縮尺	図示による	Ａ１縮尺	図示による
	母屋	□-５０×５０×１．６（高耐食性溶融めっき鋼板）	雨樋	軒樋：塩ビ製 W=７５　竪樋：塩ビ製 φ６０					堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１３８
	胴縁	□-５０×５０×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	塗装	粉体焼付塗装（ダークブラウン）					原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		
	屋根	角波サイディング t=０．４（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）	床目地切	目地切 @３，０００程度								

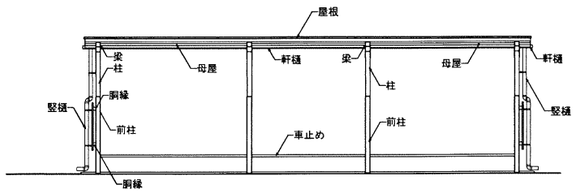
自転車置場［3］（ペア）　駐輪台数：２８台（２箇所）



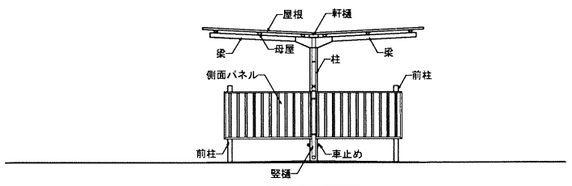
屋根伏図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



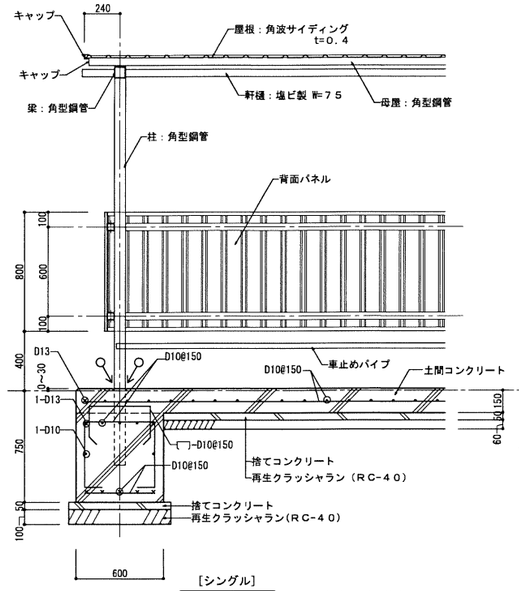
平面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



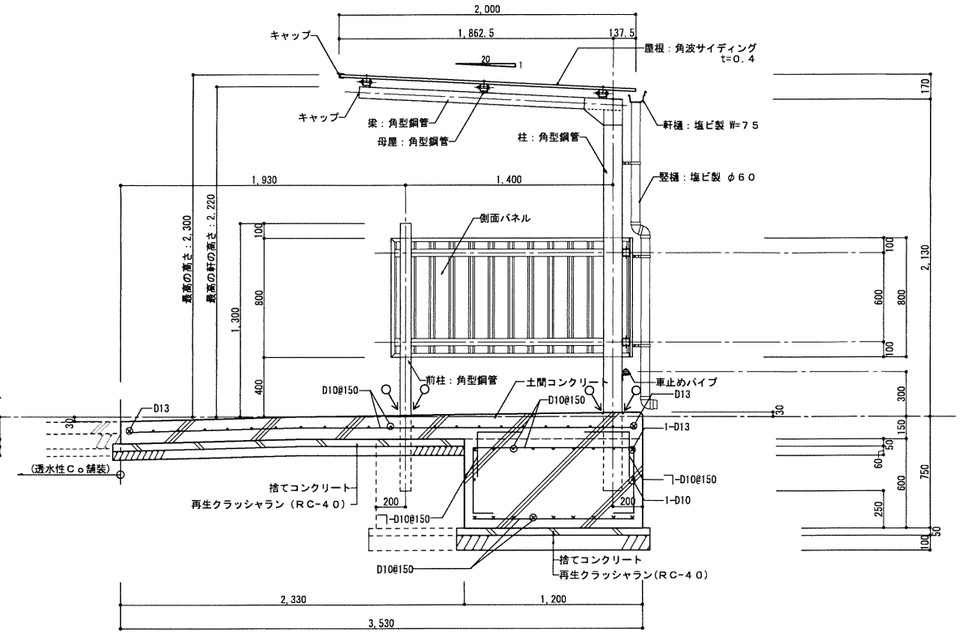
正面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

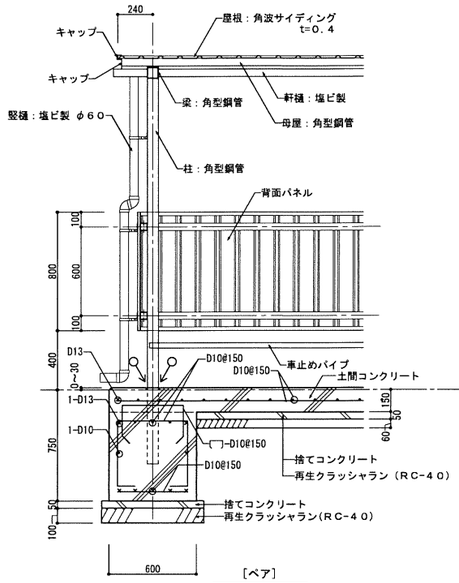


側面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

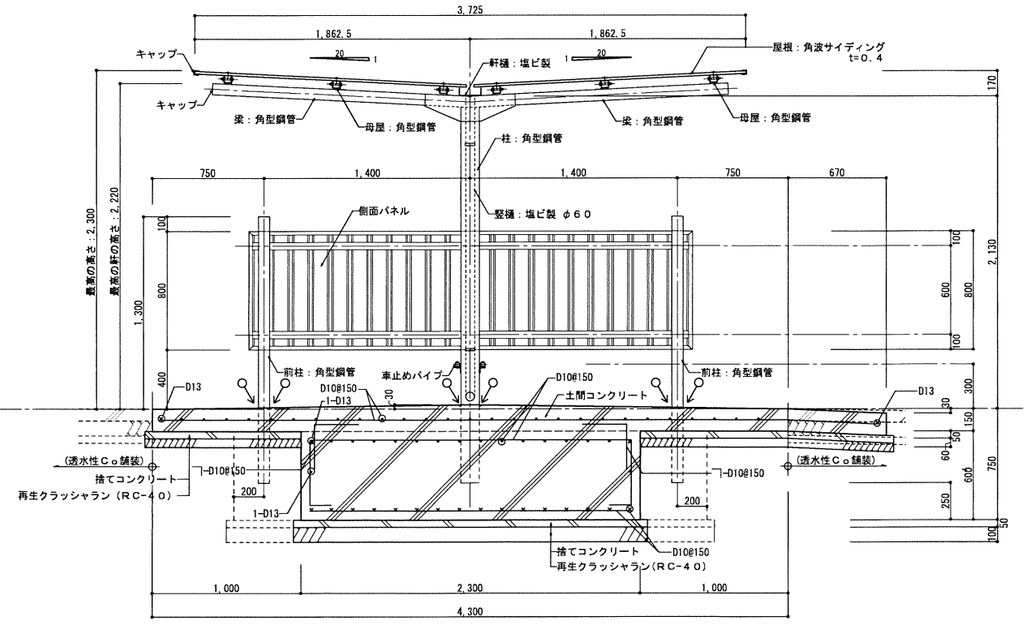


[シングル]
断面図　S=1/20(A1)・1/40(A3)



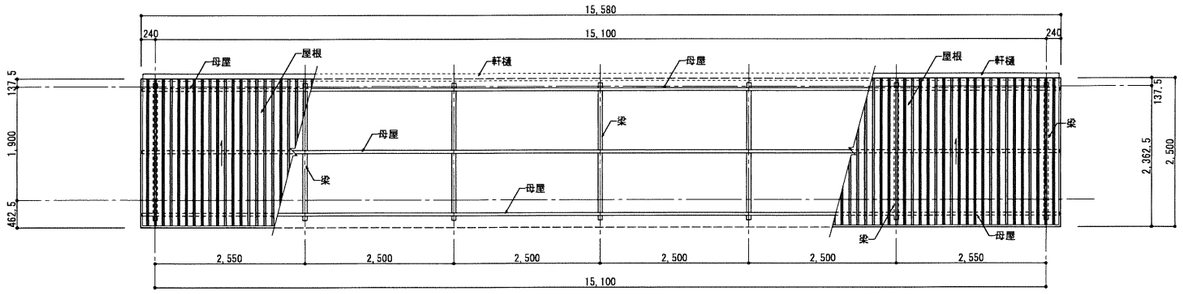


[ペア]
断面図　S=1/20(A1)・1/40(A3)

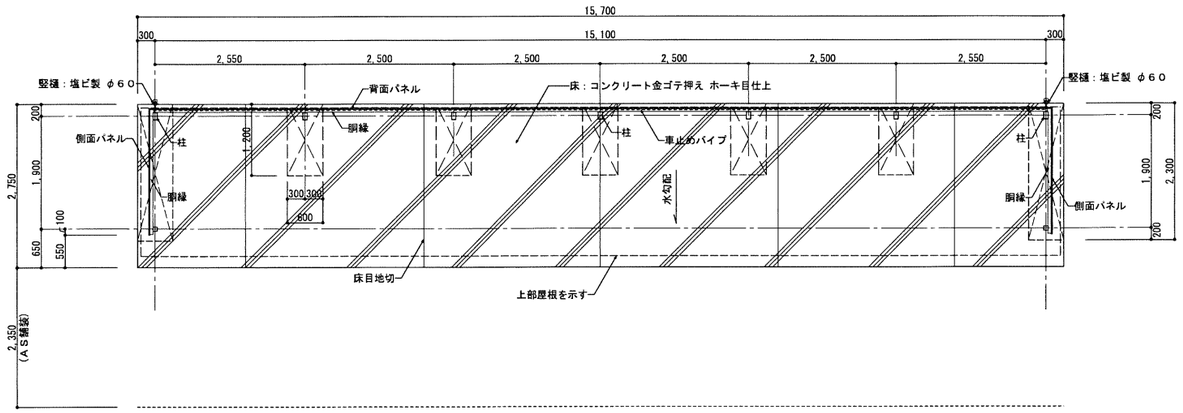


部材仕様											
	柱	□-125×75×2.3（高耐食性溶融めっき鋼板）	側面パネル	角波カラー鋼板	コンクリート	設計基準強度：(基礎・土間) 呼び強度 18N/mm²	※ 注記	上屋は：(株)ニチブレ ルーフテリア B-15、B-15Y同等品以上	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事	
	前柱	□-75×75×2.3（高耐食性溶融めっき鋼板）	背面パネル	角波カラー鋼板		スランプ値：S-15cm	○→	変成シリコーン10×10を示す	図面名称	外構詳細図（自転車置場０２）	
	梁	□-75×75×2.3（高耐食性溶融めっき鋼板）	車止パイプ	SUS304 φ34	鉄筋	異形鉄筋 SD295A（D10～16）、SD345（D19～25）			A3縮尺	図示による	A1縮尺 図示による
	母屋	□-50×50×1.6（高耐食性溶融めっき鋼板）	雨樋	軒樋：塩ビ製 W=75　竪樋：塩ビ製 φ60					堺市 建築都市局 建築部		図面番号 A／139
	胴縁	□-50×50×2.3（高耐食性溶融めっき鋼板）	塗装	粉体焼付塗装（ダークブラウン）					原寸法	0 1 5 10 15 20 25m	
	屋根	角波サイディング t=0.4（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）	床目地切	目地切 @3,000程度							

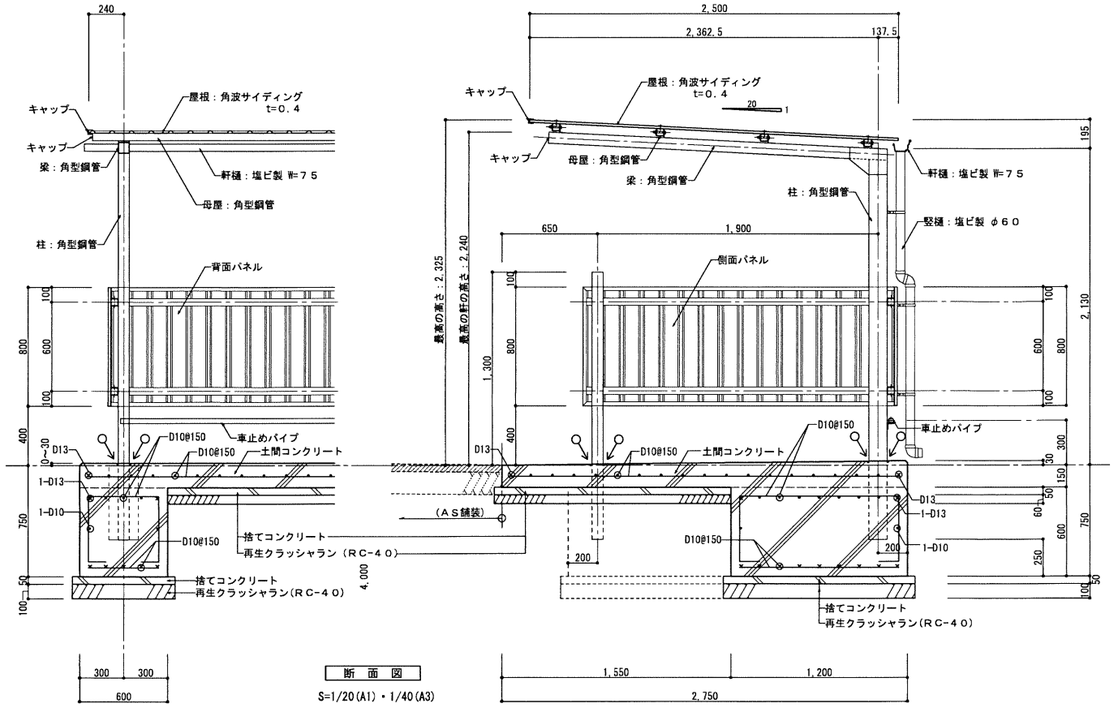
バイク置場（シングル）　駐輪台数：１５台（２箇所）



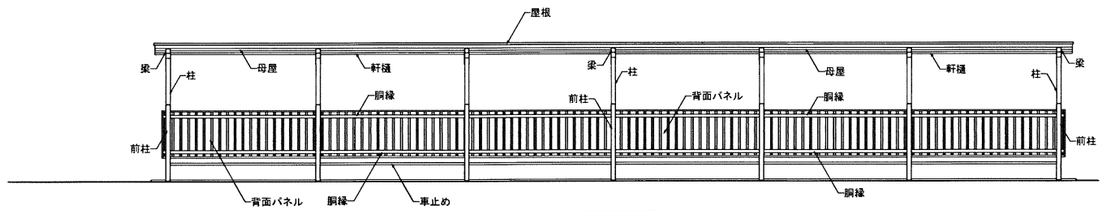
屋根伏図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



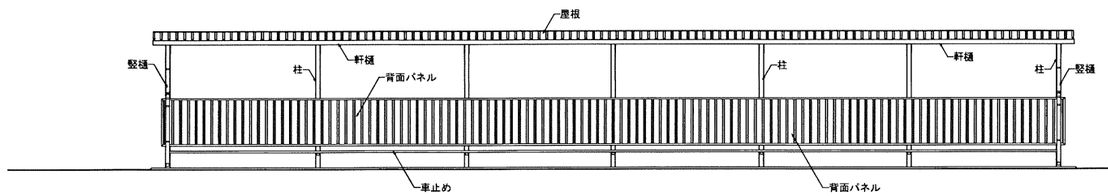
平面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



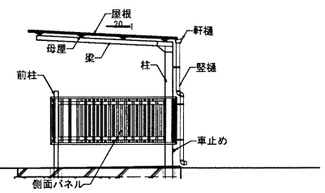
断面図
S=1/20(A1)・1/40(A3)



正面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

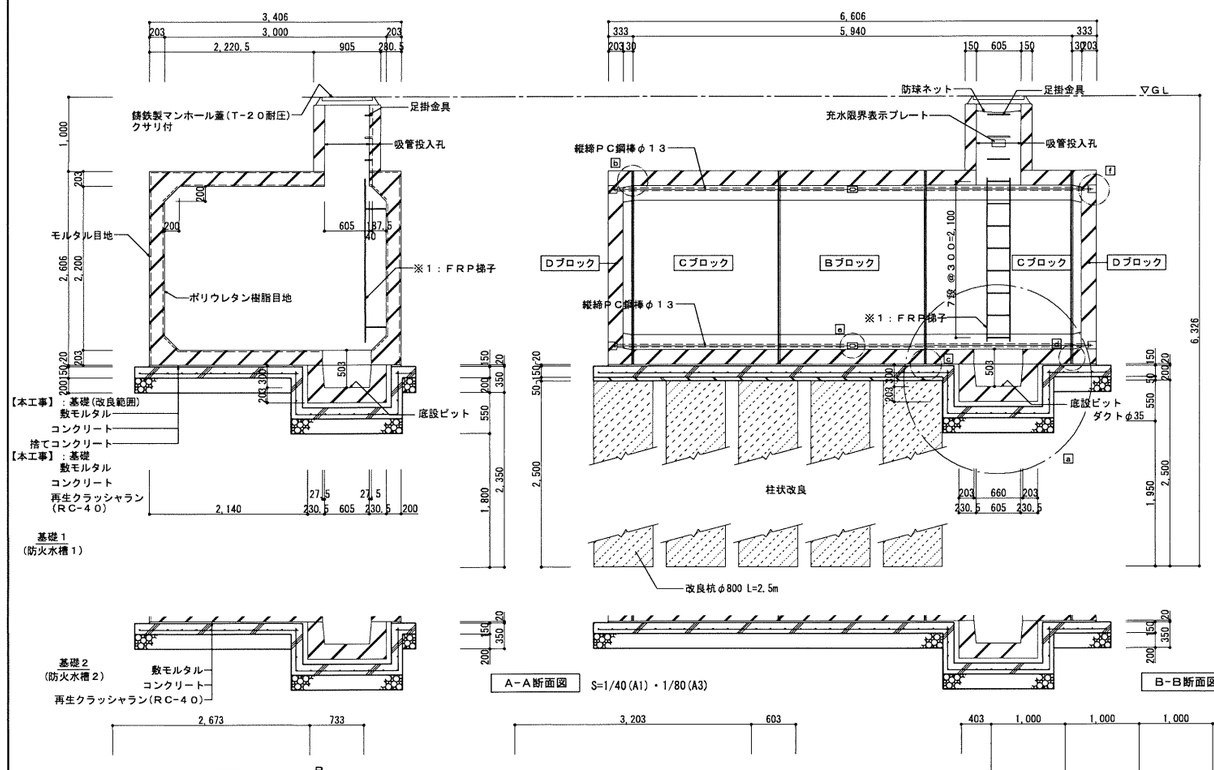


背面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)



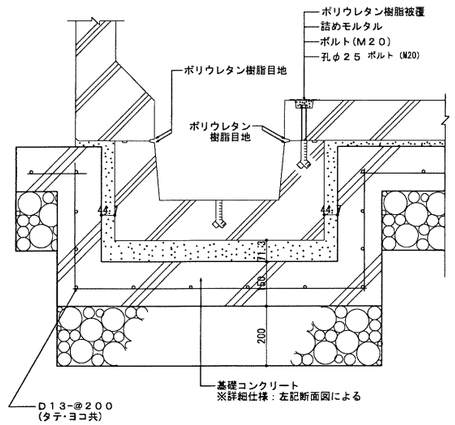
側面図　S=1/50(A1)・1/100(A3)

部材仕様	柱	□-１２５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	側面パネル	角波カラー鋼板	コンクリート	設計基準強度：(基礎・土間) 呼び強度 １８N/mm²	※ 注記	上屋は：(株)ニチブレ　ルーフテリア　B-１５同等品以上	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事	
	前柱	□-７５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	背面パネル	角波カラー鋼板		スランプ値：S-１５cm	○→	変成シリコーン10×10を示す	図面名称	外構詳細図（バイク置場）	
	梁	□-７５×７５×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	車止パイプ	ＳＵＳ３０４　φ３４	鉄筋	異形鉄筋　ＳＤ２９５Ａ（Ｄ１０～１６）、ＳＤ３４５（Ｄ１９～２５）			Ａ３縮尺	図示による	Ａ１縮尺　図示による
	母屋	□-５０×５０×１．６（高耐食性溶融めっき鋼板）	雨樋	軒樋：塩ビ製 W=７５　　竪樋：塩ビ製 φ６０					堺市　建築都市局　建築部		図面番号　Ａ／１４０
	胴縁	□-５０×５０×２．３（高耐食性溶融めっき鋼板）	塗装	粉体焼付塗装（ダークブラウン）					原寸法	0 1 5 10 15 20 25m	
	屋根	角波サイディング t=０．４（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）	床目地切	目地切 @３，０００程度							

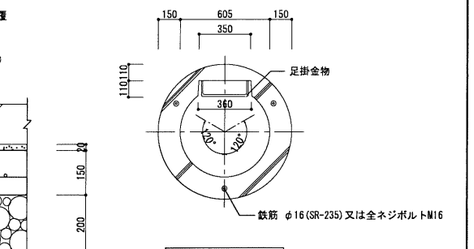


Ａ－Ａ断面図　S=1/40(A1)・1/80(A3)

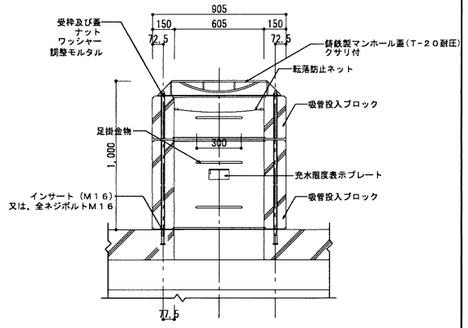
Ｂ－Ｂ断面図　S=1/40(A1)・1/80(A3)



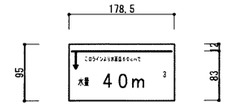
ａ部 底設ピットブロック詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)



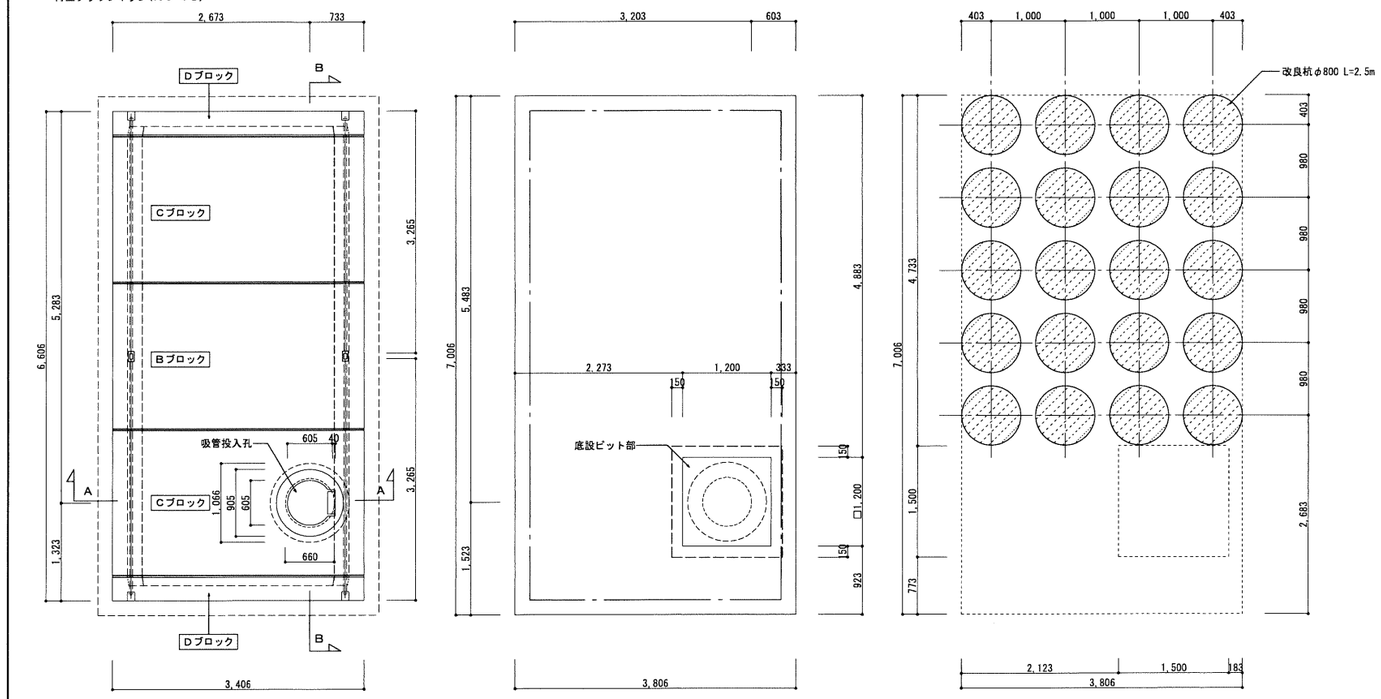
吸管投入孔平面図
S=1/20(A1)・1/40(A3)



吸管投入孔断面図
S=1/20(A1)・1/40(A3)



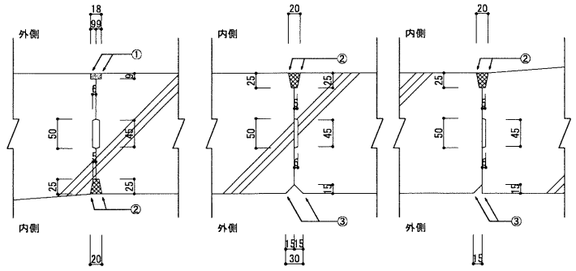
充水限度表示プレート
S=1/5(A1)・1/10(A3)



平面図　S=1/40(A1)・1/80(A3)

基礎平面図　S=1/40(A1)・1/80(A3)

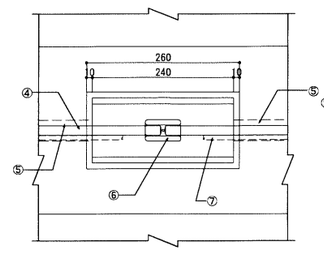
柱状改良平面図(防火水槽-1)　S=1/40(A1)・1/80(A3)



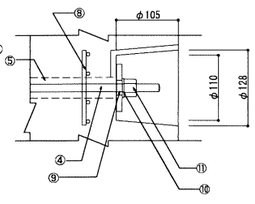
ｂ部詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)

ｃ部詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)

ｄ部詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)



ｅ部詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)



ｆ部詳細図
S=1/10(A1)・1/20(A3)

ｂ～ｆ部詳細図（凡例）

記号	名称
①	モルタル目地（頂・側壁三方共）
②	ジョイント材（25×20） ポリウレタン系樹脂目地[内部防水]
③	ジョイント材（25×20）
④	縦締ＰＣ鋼棒
⑤	ダクトφ３５
⑥	カップラー
⑦	ビニールパイプ
⑧	グリッド筋φ１０５
⑨	アンカープレート
⑩	ワッシャー
⑪	ナット

（仕様）

名称	型式
容量	４０ｔ
設置場所	Ⅱ型
荷重	Ｔ－２０
土被り	１．０ｍ
形状	横置ボックスカルバート型

※ 日本消防設備安全センターの認定品とする。
※ 図中寸法は参考とする。

注記・備考

［共通事項］ 基礎コンクリート
・ 鉄筋仕様
ＳＤ２９５Ａ Ｄ１３@２００（タテヨコ共）
・ コンクリート仕様
基礎 ： Ｆｃ－２４－１５－２０ ※砂質地盤 Ｎ値５未満…検討の末地盤改良とする。
（セメント：高炉セメントＢ種）
捨てコンクリート ： 呼－１８－１５－２０
・

地盤改良（基礎１のみ）
深層地盤改良 長期設計地耐力＝１００ｋＮ/m2。平板載荷試験を行い、上記耐力を確認すること。
改良仕様：φ８００/本、Ｆｃ＝６００ｋＮ/m2
配合量 １本＝３００ｋｇ/m3 掘削長ＧＬ-6.326m

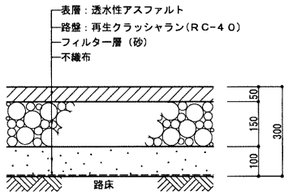
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	防火水槽（耐震貯水槽）詳細図		
Ａ３縮尺	図示による	Ａ１縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	Ａ／１４１

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m

DETAIL_No. E1 透水性アスファルト舗装

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（駐車区画　T－6耐圧）

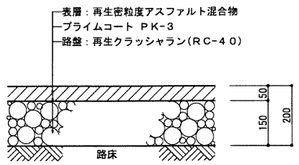


［特記事項］
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E2 アスファルト舗装 A

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（車道部　T－6耐圧）

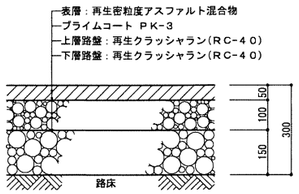


［特記事項］
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E3 アスファルト舗装 B

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（消防用通路部　T－25耐圧）

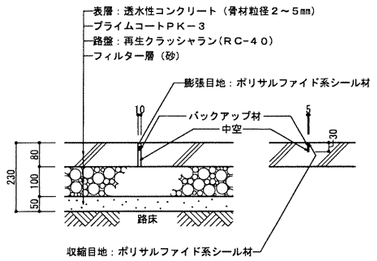


［特記事項］
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E4 透水性コンクリート舗装 A

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（歩道部）

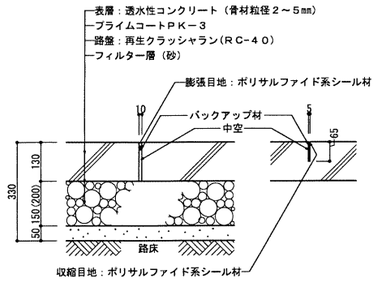


［特記事項］
・ 路床及び路盤は、ローラーを標準として転圧する。
・ 収縮目地間隔は3～5m、膨張目地間隔は30mを標準とする。
・ 舗装小口見掛り部は面取20×20とする。
・ 透水性コンクリート仕様
　引張強度：1.2N/mm² 以上（曲げ強度：2.5N/mm² 以上）
　透水係数：1.0×10⁻¹ cm/sec以上とする。
　(株)佐藤渡辺　パーミアコン 同等品以上とする

DETAIL_No. E5 透水性コンクリート舗装 B

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（車両乗入れ部　T－6耐圧）

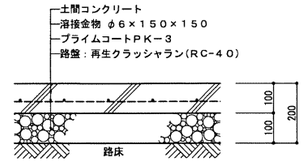


［特記事項］
・ 路床及び路盤は、ローラーを標準として転圧する。
・ 収縮目地間隔は3～5m、膨張目地間隔は30mを標準とする。
・ 舗装小口見掛り部は面取20×20とする。
・ 透水性コンクリート仕様
　引張強度：1.2N/mm² 以上（曲げ強度：2.5N/mm² 以上）
　透水係数：1.0×10⁻¹ cm/sec以上とする。
　(株)佐藤渡辺　パーミアコン 同等品以上とする
・ ()内：消防ポンプ車乗入れ部　T－20耐圧仕様を示す

DETAIL_No. E6 コンクリート舗装 A

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（歩道部）

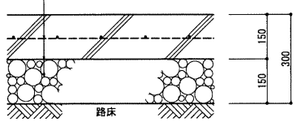


［特記事項］
・ 土間コンクリート目地は、シビ目地@3,000程度とする。
・ 舗装小口見掛り部は面取20×20とする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E7 コンクリート舗装 B

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（歩道部　T－6耐圧）

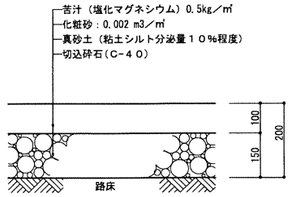


［特記事項］
・ 土間コンクリート目地は、シビ目地@3,000程度とする。
・ 舗装小口見掛り部は面取20×20とする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E8 グラウンド舗装

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（広場部　T－6耐圧）

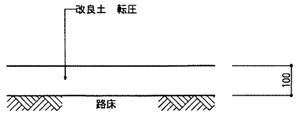


［特記事項］
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL_No. E9 整地（裸地）

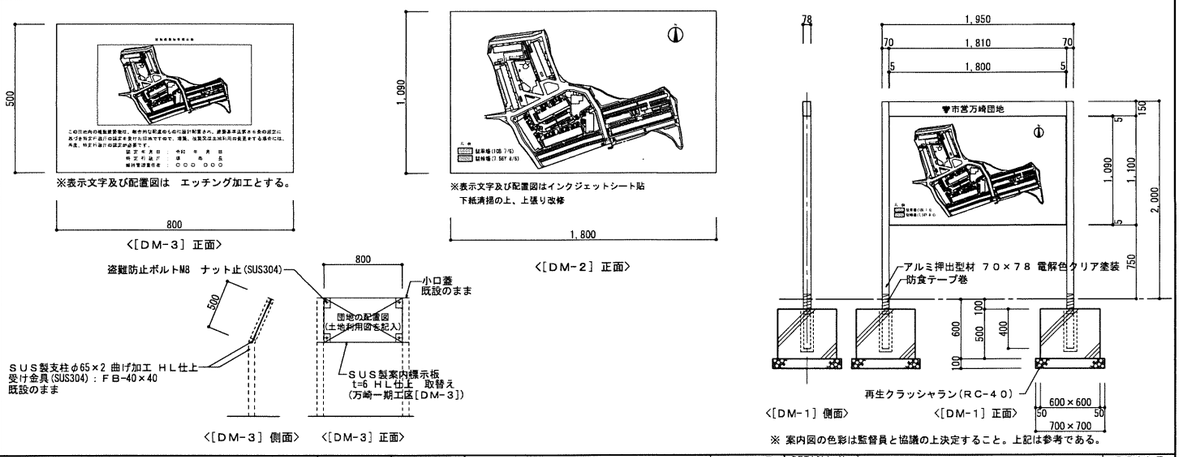
SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（一般部）



DETAIL_No. E10 ［DM］ 団地銘板（案内図付）

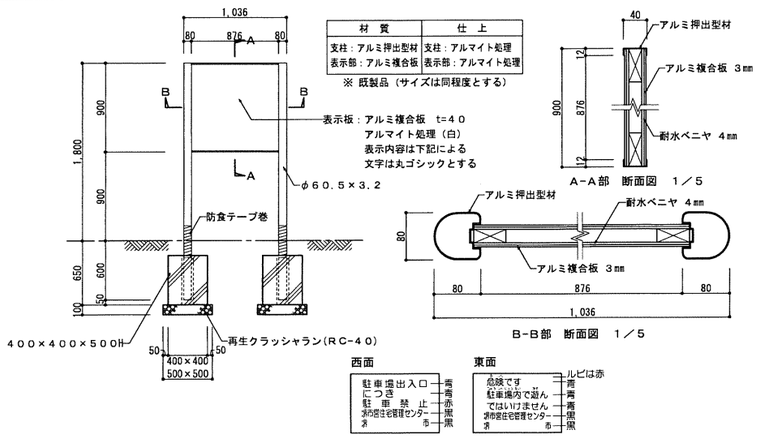
SCALE (A1) S= 1/30 (A3) S= 1/60



※ 案内図の色彩は監督員と協議の上決定すること。上記は参考である。

DETAIL_No. E11 ［TK］ 駐車場看板

SCALE (A1) S= 1/30 (A3) S= 1/60

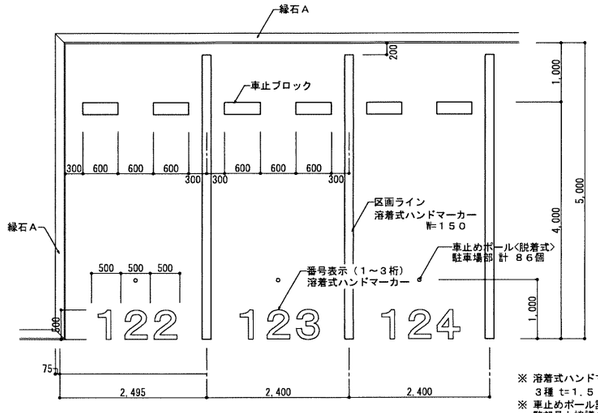


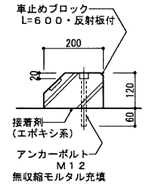
※ 既製品（サイズは同程度とする）

材質	仕上
支柱：アルミ押出型材	支柱：アルマイト処理
表示部：アルミ複合板	表示部：アルマイト処理

DETAIL_No. E12 駐車スペース

SCALE (A1) S= 1/50 (A3) S= 1/100



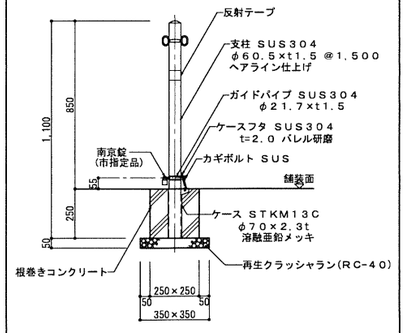


〈 車止ブロック 〉
S=1/10(A1)・A=1/20(A3)

※ 溶着式ハンドマーカー：JIS K 5665
　3種 t=1.5 実線（白）
※ 車止めポール設置位置数等は、
　監督員と協議の上決定すること。

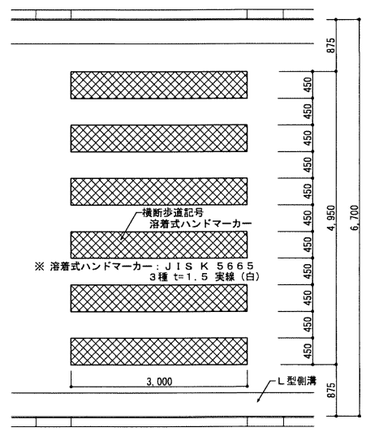
DETAIL_No. E13 ［KT(脱)］ 車止ポール（脱着式）

SCALE (A1) S= 1/15 (A3) S= 1/30



DETAIL_No. E14 横断歩道マーキング（車道部）

SCALE (A1) S= 1/50 (A3) S= 1/100



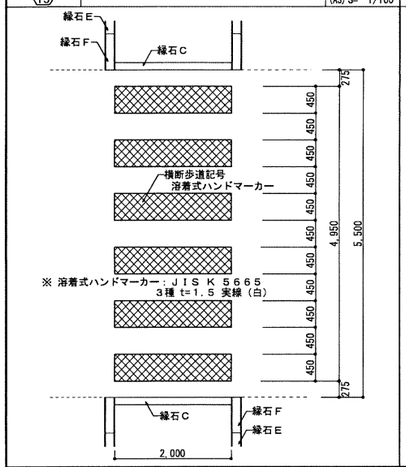
注記・備考

［共通事項］
・ 鉄筋仕様
　SD295A
・ コンクリート仕様
　呼－18－15－20

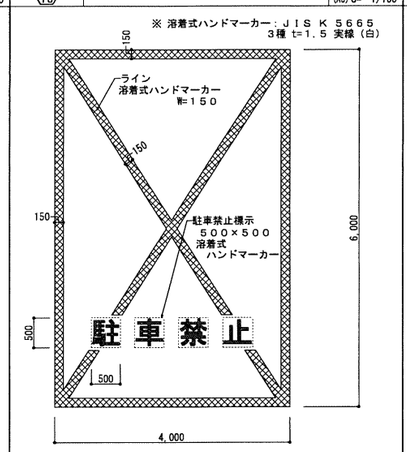
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構部分詳細図01		
A3縮尺	図示による	A1縮尺	図示による
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／142

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m

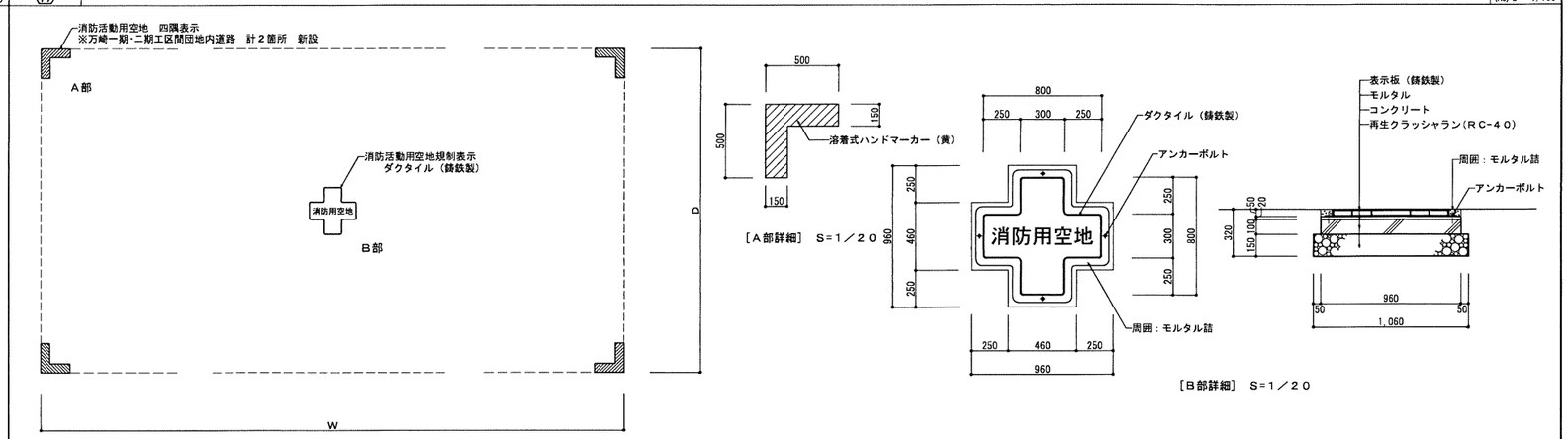
DETAILL No. E 15 横断歩道マーキング（駐車場部） SCALE (A1) S= 1/50 (A3) S= 1/100



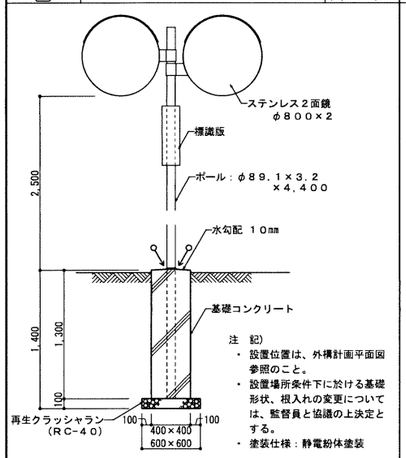
DETAILL No. E 16 駐車禁止ゾーンマーキング SCALE (A1) S= 1/50 (A3) S= 1/100



DETAILL No. E 17 消防活動空地表示 SCALE (A1) S= 1/50 (A3) S= 1/100

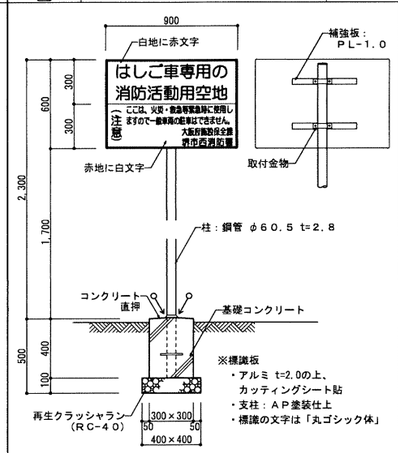


DETAILL No. E 18 ［HM(2)］ 反射鏡（２面） SCALE (A1) S= 1/30 (A3) S= 1/60

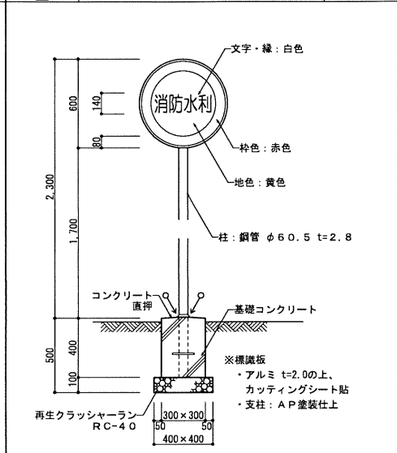


注 記）
- 設置位置は、外構計画平面図参照のこと。
- 設置場所条件下に於ける基礎形状、根入れの変更については、監督員と協議の上決定とする。
- 塗装仕様：静電粉体塗装

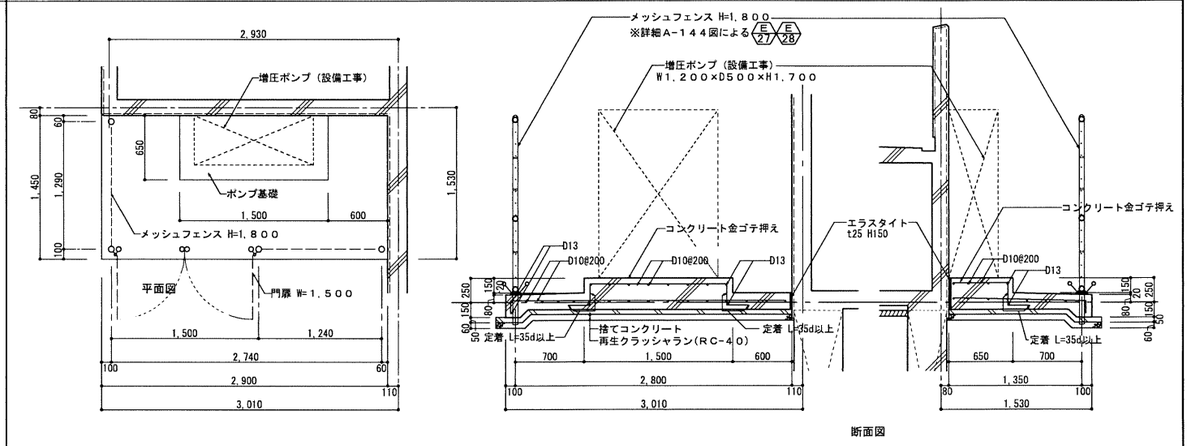
DETAILL No. E 19 ［SKH］ 消防活動空地標識 SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



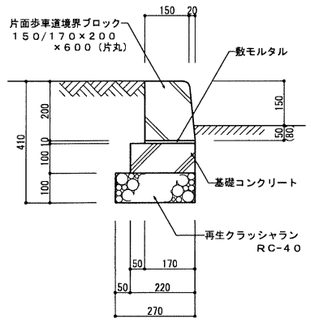
DETAILL No. E 20 ［SSH］ 消防水利標識 SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



DETAILL No. E 21 ［PKK］ ポンプ設備架台基礎 SCALE (A1) S= 1/30 (A3) S= 1/60

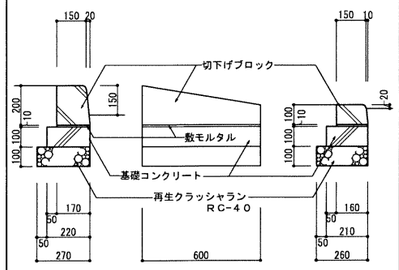


DETAILL No. E 22 ［FB-A］ 縁石ブロック A SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

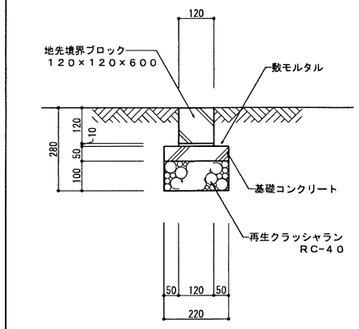


DETAILL No. E 23 ［FB-B］ 縁石ブロック B SCALE (A1) S= 1/15 (A3) S= 1/30

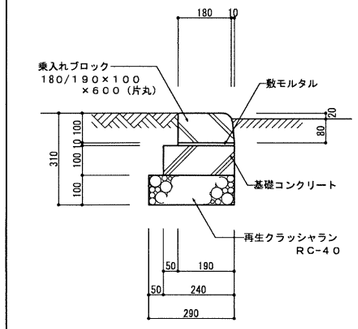
※ 切下げブロック：
（150/170×200）～（150/160×100）×600（片丸）



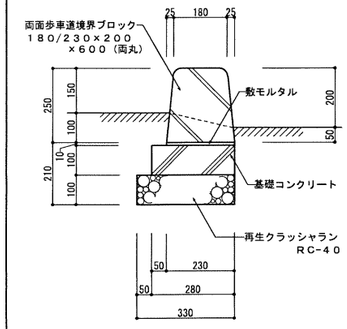
DETAILL No. E 24 ［FB-C］ 縁石ブロック C SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



DETAILL No. E 25 ［FB-D］ 縁石ブロック D SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

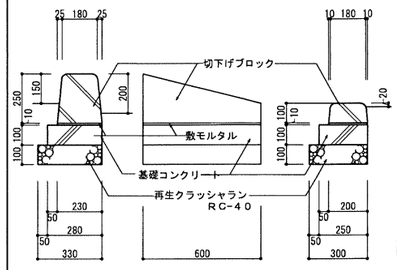


DETAILL No. E 26 ［FB-E］ 縁石ブロック E SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



DETAILL No. E 27 ［FB-F］ 縁石ブロック F SCALE (A1) S= 1/15 (A3) S= 1/30

※ 切下げブロック：
（180/230×250）～（180/200×100）×600（両丸）



注記・備考

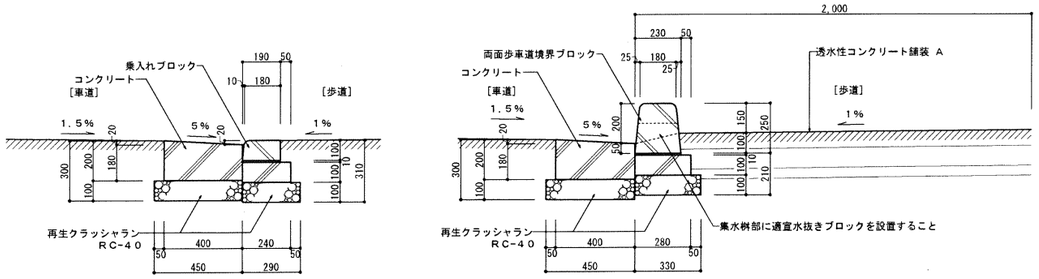
［共通事項］
- 鉄筋仕様
  SD295A
- コンクリート仕様
  呼-18-15-20

○→：変成シリコーン10×10を示す（三角シール）

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構部分詳細図０２		
A３縮尺	図示による	A１縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A ／ １４３
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

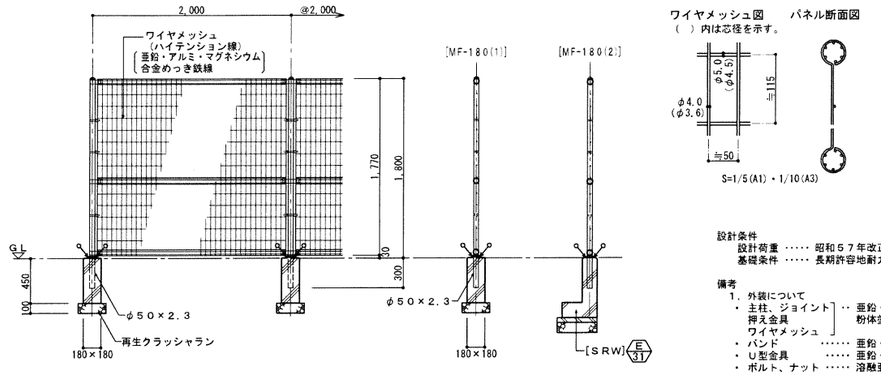
DETAILL No. E 28 歩道取合い 詳細図

SCALE (A1) S= 1/15 (A3) S= 1/30



DETAILL No. E 29 [MF-180] メッシュフェンス H=1,800 詳細図

SCALE (A1) S= 1/5 1/10 1/20 (A3) S= 1/10 1/20 1/40

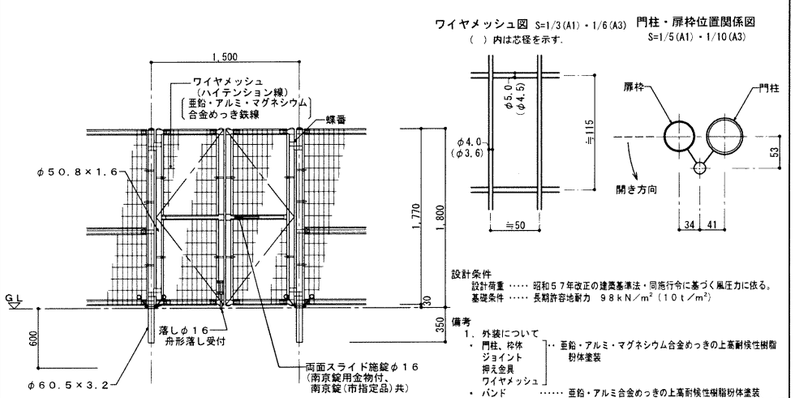


設計条件
設計荷重 …… 昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件 …… 長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装について
・主柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ …… 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バンド …… 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U型金具 …… 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット …… 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

DETAILL No. E 30 [MFM-180] メッシュフェンス W=1,500 H=1,800 詳細図

SCALE (A1) S= 1/3 1/5 1/20 (A3) S= 1/6 1/10 1/30

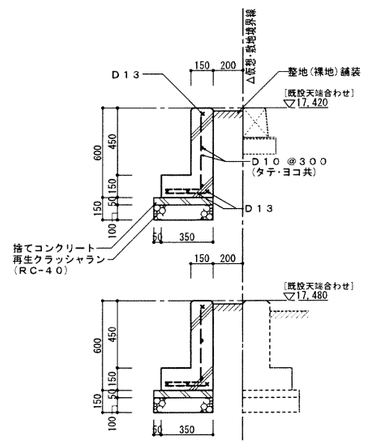


設計条件
設計荷重 …… 昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件 …… 長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装について
・門柱、枠体、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ …… 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バンド …… 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U型金具 …… 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット …… 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
2. 門扉は片側180°開きとする。

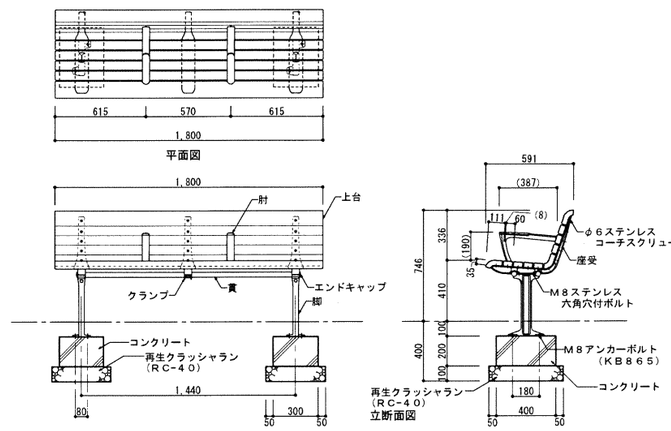
DETAILL No. E 31 [SRW] 擁壁

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



DETAILL No. E 32 [BN] ベンチ 詳細図

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



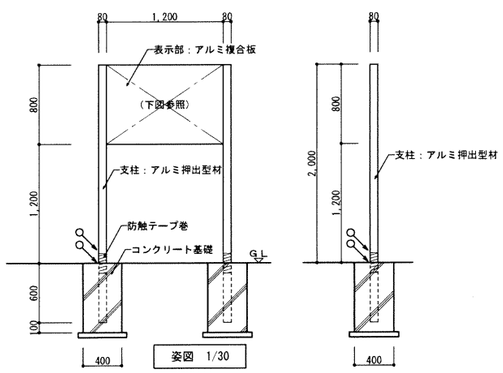
上台 : REKWOOD2 (レッド)
座受 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
貫 : φ34 アルミ押出形材 アルマイト仕上 (ブラック)
樹脂エンドキャップ付 (ブラック)
クランプ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
肘 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
AES樹脂 (レッド)
脚 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
質量 : 81kg

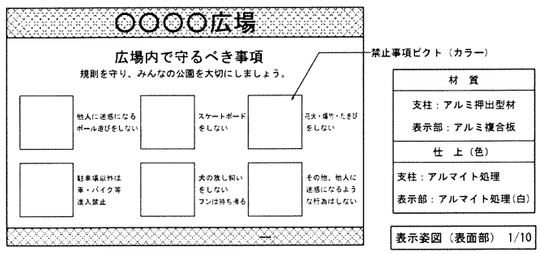
〈 ベンチ〉
(株)コトブキ
エフライン FL001A-EM-H2-CK 同等品以上

※ ISO9001認証取得企業で品質管理された製品
※ (一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品
※ (一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品

DETAILL No. E 33 広場内禁止条項案内板詳細図

SCALE (A1) S= 1/10 1/30 (A3) S= 1/20 1/60





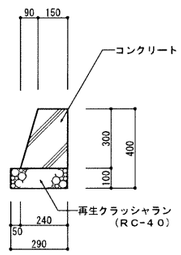
材 質
支柱 : アルミ押出型材
表示部 : アルミ複合板
仕 上 (色)
支柱 : アルミアルマイト処理
表示部 : アルミアルマイト処理(白)

表示姿図 (表面部) 1/10

※ ピクト及び記載事項は監督員協議の上決定する。

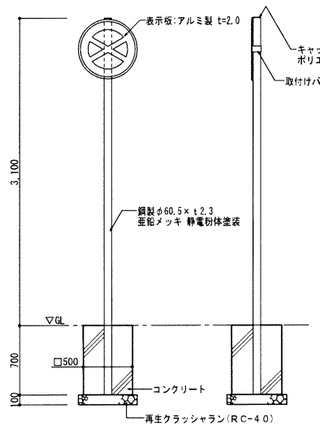
DETAILL No. E 34 [KC-A] 取合用境界コンクリート

SCALE (A1) S= 1/15 (A3) S= 1/30



DETAILL No. E 35 [PSM] 駐停車禁止マーク

SCALE (A1) S= 1/30 (A3) S= 1/60



SCALE (A1) S= (A3) S=

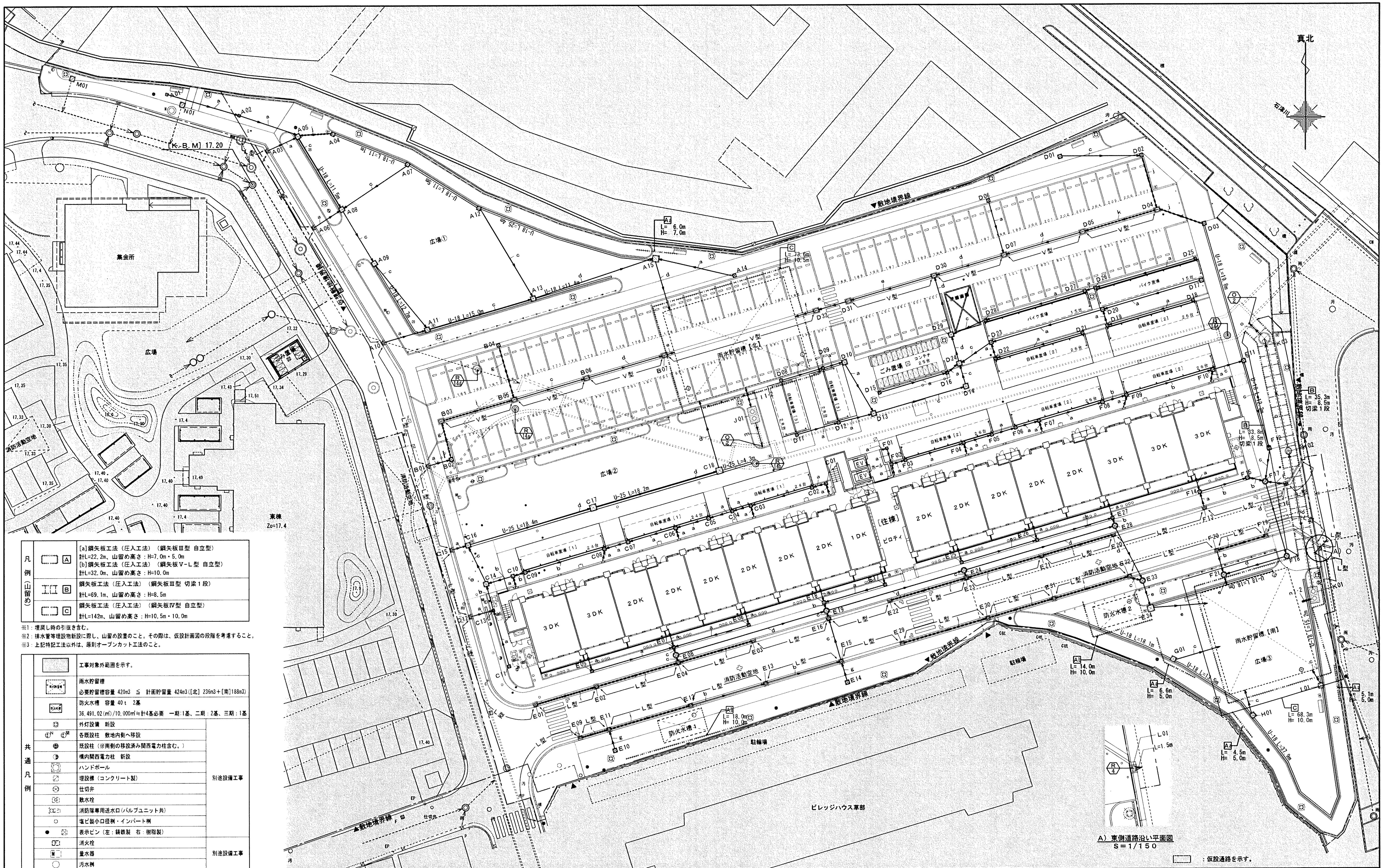
注記・備考

[共通事項]
・鉄筋仕様
SD295A
・コンクリート仕様
呼-18-15-20

○→ : 変成シリコーン10×10を示す

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構部分詳細図03		
A3縮尺	図示による	A1縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A / 144

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m



A）東側道路沿い平面図
S＝1/150

：仮設通路を示す。

凡例（山留め）

符号		内容
	A	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板V-L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m
	B	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁１段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m
	C	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：排水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

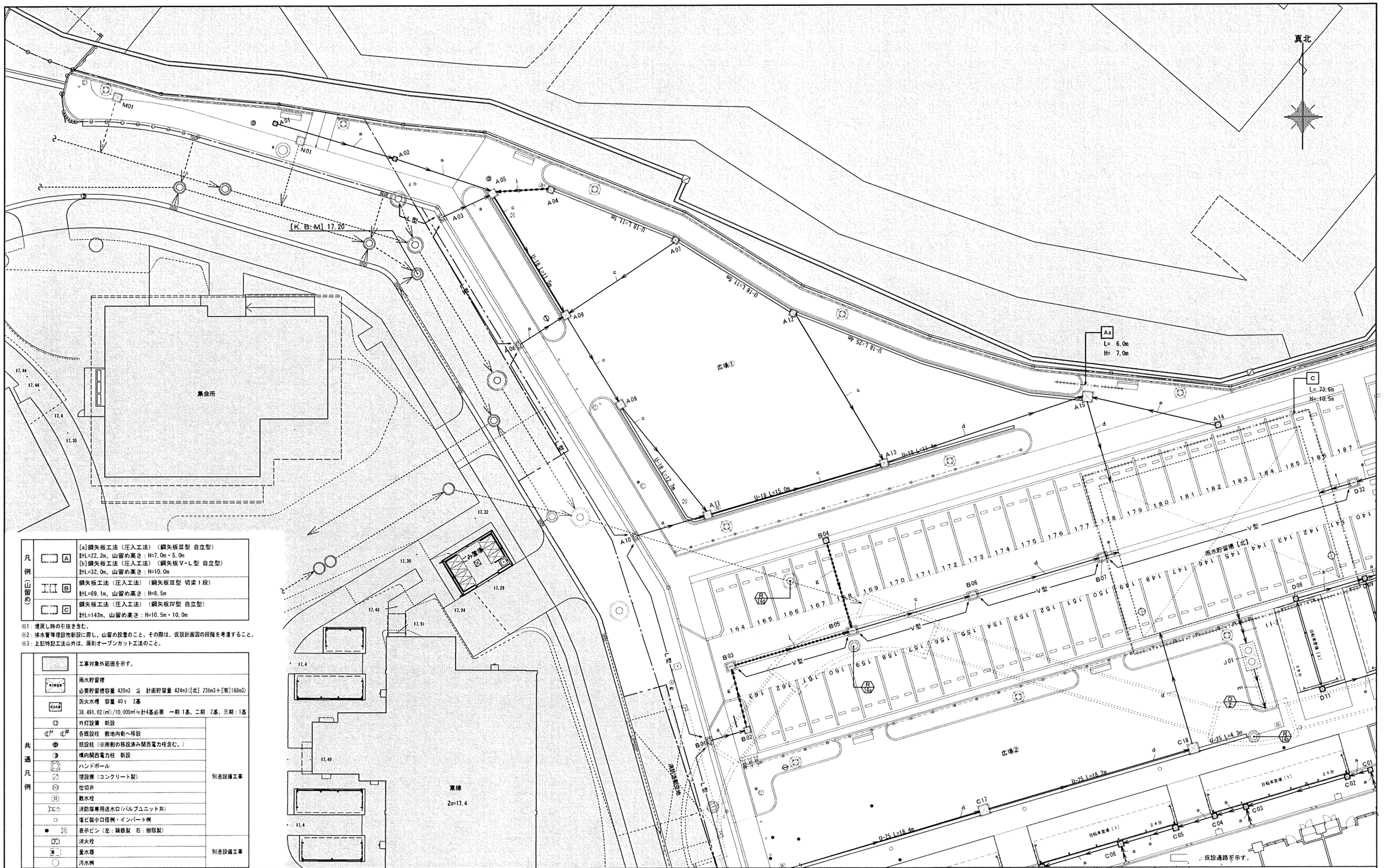
共通凡例

符号	内容	備考
	工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3（[北] 236m3＋[南]188m3）	
	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期:1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯設備 新設	別途設備工事
	各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
	既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	別途設備工事
	構内関西電力柱 新設	別途設備工事
	ハンドホール	別途設備工事
	埋設標（コンクリート製）	別途設備工事
	仕切弁	別途設備工事
	散水栓	別途設備工事
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	別途設備工事
	塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
	表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	別途設備工事
	消火栓	別途設備工事
	量水器	別途設備工事
	汚水桝	別途設備工事

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	雨水桝（D－1～12）既製品	会所リストによる。	R1	会所リストによる。
	L型側溝雨水桝(1･3)（現場打ち）	会所リストによる。	R2・4	会所リストによる。
	L型側溝雨水桝(2)（現場打ち）	会所リストによる。	R3	会所リストによる。
	V型街渠（現場打ち）	会所リストによる。	R5	会所リストによる。
	現場打ち集水桝（1）	会所リストによる。	R6	会所リストによる。
	現場打ち集水桝（2）	会所リストによる。	R7	会所リストによる。
	０号組立マンホール	会所リストによる。	R15	会所リストによる。
	１号組立マンホール	会所リストによる。	R16	会所リストによる。
	３号組立マンホール	会所リストによる。	R17	会所リストによる。
	オリフィス桝	会所リストによる。	—	会所リストによる。
U-18	U字側溝（1）	会所リストによる。	R11	216 m
U-25	U字側溝（2）	会所リストによる。	R12	40.9 m
a'	VP-φ75	—	—	0.7 m
a	VP-φ100	—	—	329 m
b	VP-φ125	—	—	96.1 m
c	VP-φ150	—	—	179 m
d	VU-φ200	—	—	209 m
e	VU-φ250	—	—	30.8 m
f	VU-φ300	—	—	3.0 m
g	VP-φ100	90°コンクリート巻	R8	25.5 m
i	VP-φ125	90°コンクリート巻	R8	90.1 m
j	VP-φ150	90°コンクリート巻	R8	39.6 m
k	VU-φ200	90°コンクリート巻	R8	10.7 m
l1･2	l1：(上)VU-φ300 l2：(下)VU-φ400	—	—	3.1 m 3.1 m
m	VU-φ450	—	—	3.7 m
n1･2	n1：(上)VU-φ300 n2：(下)VU-φ350	—	—	1.8 m 1.8 m
o	VU-φ400	—	—	37.3 m
L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	R9	328 m
V型	V型側溝（二次製品）	W=500	R10	96.8 m
—	防護コンクリート開口補強	—	O2	A-154図による。
—	雨水幹線点検人孔マンホール蓋改修	—	R14a	A-158図による。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水排水計画平面図（全体）		
A3縮尺	1／300 1／500	A1縮尺	1／150 1／250
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／145
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例		
(山留め)	A	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板V−L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m
	B	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m
	C	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：排水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例		
	工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3＋[南]188m3)	
	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯設備 新設	別途設備工事
	各既設柱 敷地内側へ移設	
	既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
	構内関西電力柱 新設	
	ハンドホール	
	埋設標（コンクリート製）	
	仕切弁	
	散水栓	
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
	塩ビ製小口径桝・インバート桝	
	表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	
	消火栓	別途設備工事
	量水器	
	汚水桝	

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	雨水桝（D−1〜12）既製品	金所リストによる。	R1	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(1・3)（現場打ち）	金所リストによる。	R4	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(2)（現場打ち）	金所リストによる。	R3	金所リストによる。
	V型街渠（現場打ち）	金所リストによる。	R5	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（1）	金所リストによる。	R6	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（2）	金所リストによる。	R7	金所リストによる。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	0号組立マンホール	金所リストによる。	R15	金所リストによる。
	1号組立マンホール	金所リストによる。	R16	金所リストによる。
	3号組立マンホール	金所リストによる。	R17	金所リストによる。
	オリフィス桝	金所リストによる。	—	金所リストによる。
U-18	U字側溝（1）	金所リストによる。	R11	216 m
U-25	U字側溝（2）	金所リストによる。	R12	40.9 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
a'	VP−φ75	—	—	0.7 m
a	VP−φ100	—	—	329 m
b	VP−φ125	—	—	96.1 m
c	VP−φ150	—	—	179 m
d	VU−φ200	—	—	209 m
e	VU−φ250	—	—	30.8 m

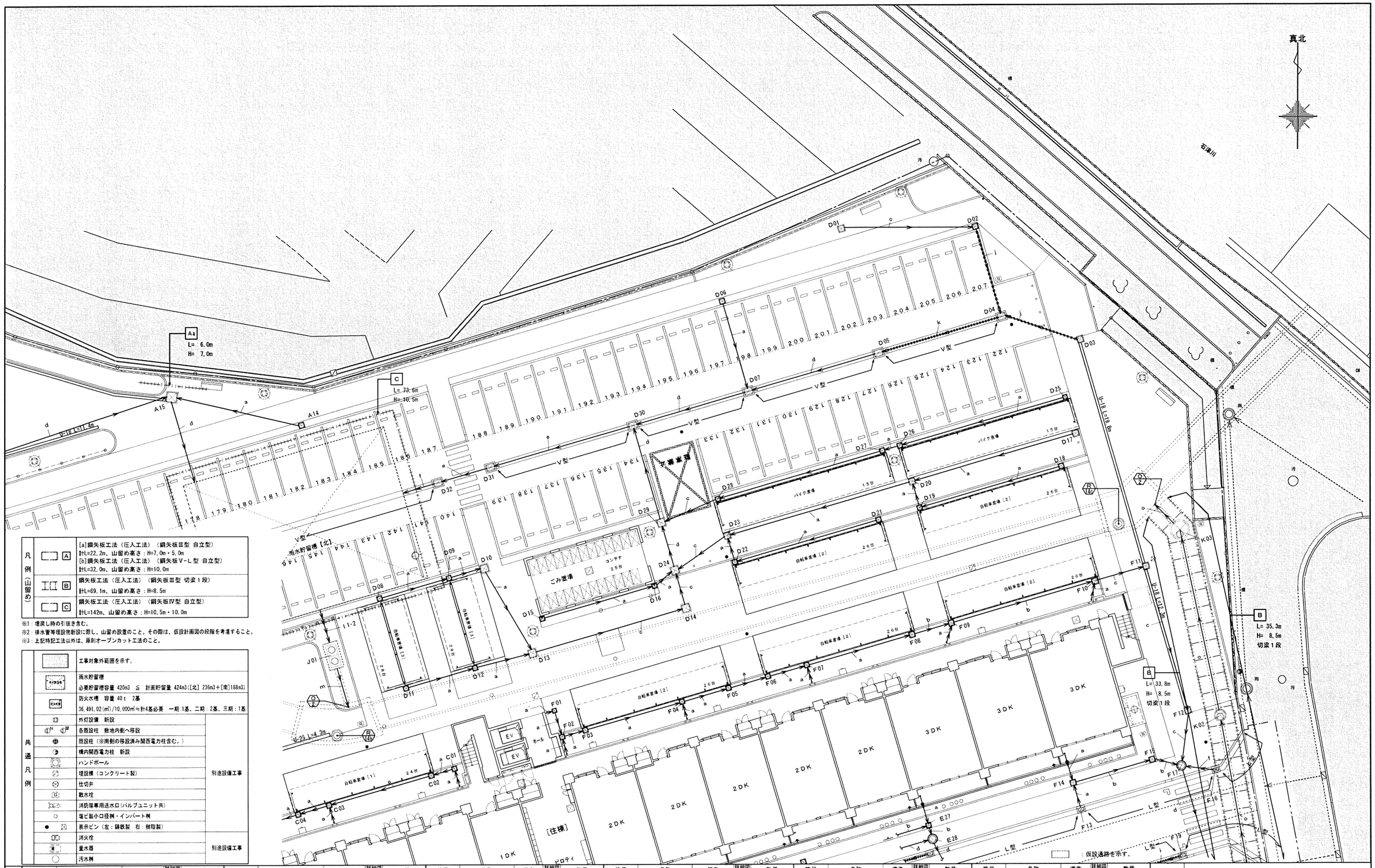
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
f	VU−φ300	—		3.0 m
g	VP−φ100	90°コンクリート巻	R8	25.5 m
i	VP−φ125	90°コンクリート巻	R8	90.1 m
j	VP−φ150	90°コンクリート巻	R8	39.6 m
k	VU−φ200	90°コンクリート巻	R8	10.7 m
l1・2	l1：(上)VU−φ300 l2：(下)VU−φ400	—	—	3.1 m 3.1

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
m	VU−φ450	—	—	3.7 m
n1・2	n1：(上)VU−φ300 n2：(下)VU−φ350	—	—	1.8 m 1.8
o	VU−φ400	—	—	37.3 m
L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	R9	328 m
V型	V型側溝（二次製品）	W=500	R10	96.8 m
—	防護コンクリート開口補強	—	R14	0

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
—	雨水幹線直接入孔 マンホール蓋改修	—	R14	A−158図による。
				A−158図による。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水排水計画平面図（1／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／146

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m



凡例			
(山留め)	A	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板V-L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m	
	B	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m	
	C	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m	

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：排水管等埋設物新設に限し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例		
	工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3（[北] 236m3＋[南]188m3）	
	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯設備 新設	別途設備工事
	各既設柱 敷地内側へ移設	
	既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
	構内関西電力柱 新設	
	ハンドホール	
	埋設標（コンクリート製）	
	仕切弁	
	散水栓	
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
	塩ビ製小口径桝・インバート桝	
	表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	
	消火栓	別途設備工事
	量水器	
	汚水桝	

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	雨水桝（D-1～12）既製品	金所リストによる。	R 1	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(1・3)（現場打ち）	金所リストによる。	R 7-2	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(2)（現場打ち）	金所リストによる。	R 3	金所リストによる。
	V型街渠（現場打ち）	金所リストによる。	R 5	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（1）	金所リストによる。	R 6	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（2）	金所リストによる。	R 7	金所リストによる。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	0号組立マンホール	金所リストによる。	R 15	金所リストによる。
	1号組立マンホール	金所リストによる。	R 16	金所リストによる。
	3号組立マンホール	金所リストによる。	R 17	金所リストによる。
	オリフィス桝	金所リストによる。	—	金所リストによる。
U-18	U字側溝（1）	金所リストによる。	R 11	216 m
U-25	U字側溝（2）	金所リストによる。	R 12	40.9 m

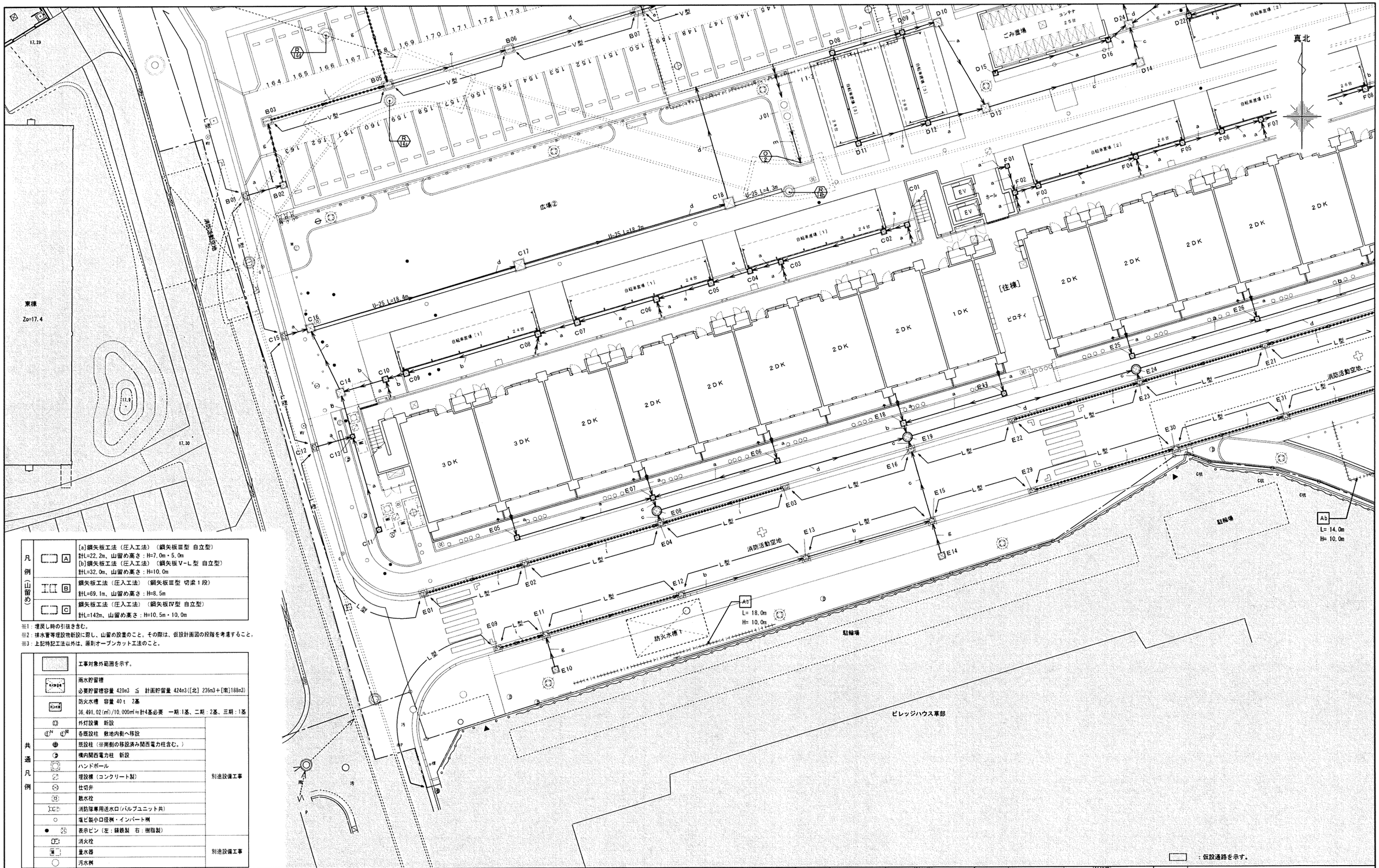
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
a'	VP-φ75	—	—	0.7 m
a	VP-φ100	—	—	329 m
b	VP-φ125	—	—	96.1 m
c	VP-φ150	—	—	179 m
d	VU-φ200	—	—	209 m
e	VU-φ250	—	—	30.8 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
f	VU-φ300	—	—	3.0 m
g	VP-φ100	90°コンクリート巻	R 8	25.5 m
i	VP-φ125	90°コンクリート巻	R 8	90.1 m
j	VP-φ150	90°コンクリート巻	R 8	39.6 m
k	VU-φ200	90°コンクリート巻	R 8	10.7 m
l1-2	l1：(上)VU-φ300 l2：(下)VU-φ400	—	—	3.1 m 3.1 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
m	VU-φ450	—	—	3.7 m
n1-2	n1：(上)VU-φ300 n2：(下)VU-φ350	—	—	1.8 m 1.8 m
o	VU-φ400	—	—	37.3 m
L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	R 9	328 m
V型	V型側溝（二次製品）	W=500	R 10	96.8 m
—	防護コンクリート蓋口補強	—	O 2	A-154図による。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
—	雨水貯補点検人孔 マンホール蓋改修	—	R 14	A-154図による。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水排水計画平面図（2／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／147
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例（山留め）

A	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板V－L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m	
B	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁１段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m	
C	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m	

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：揚水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例

	工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3＋[南]188m3)	
	防火水槽 容量 40ｔ 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯設備 新設	別途設備工事
	各戸設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
	既設柱（※隣側の移設済み関西電力柱含む。）	別途設備工事
	構内関西電力柱 新設	別途設備工事
	ハンドポール	別途設備工事
	埋設標（コンクリート製）	別途設備工事
	仕切弁	別途設備工事
	散水栓	別途設備工事
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	別途設備工事
	塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
	表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	別途設備工事
	消火栓	別途設備工事
	量水器	別途設備工事
	汚水桝	別途設備工事

凡例

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	雨水桝（D－１～１２）既製品	金所リストによる。	R 1	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(1・3)（現場打ち）	金所リストによる。	R 2	金所リストによる。
	L型側溝雨水桝(2)（現場打ち）	金所リストによる。	R 3	金所リストによる。
	V型街渠（現場打ち）	金所リストによる。	R 5	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（１）	金所リストによる。	R 6	金所リストによる。
	現場打ち集水桝（２）	金所リストによる。	R 7	金所リストによる。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	０号組立マンホール	金所リストによる。	R 15	金所リストによる。
	１号組立マンホール	金所リストによる。	R 16	金所リストによる。
	３号組立マンホール	金所リストによる。	R 17	金所リストによる。
	オリフィス桝	金所リストによる。	—	金所リストによる。
U-18	U字側溝（１）	金所リストによる。	R 11	２１６ｍ
U-25	U字側溝（２）	金所リストによる。	R 12	４０．９ｍ

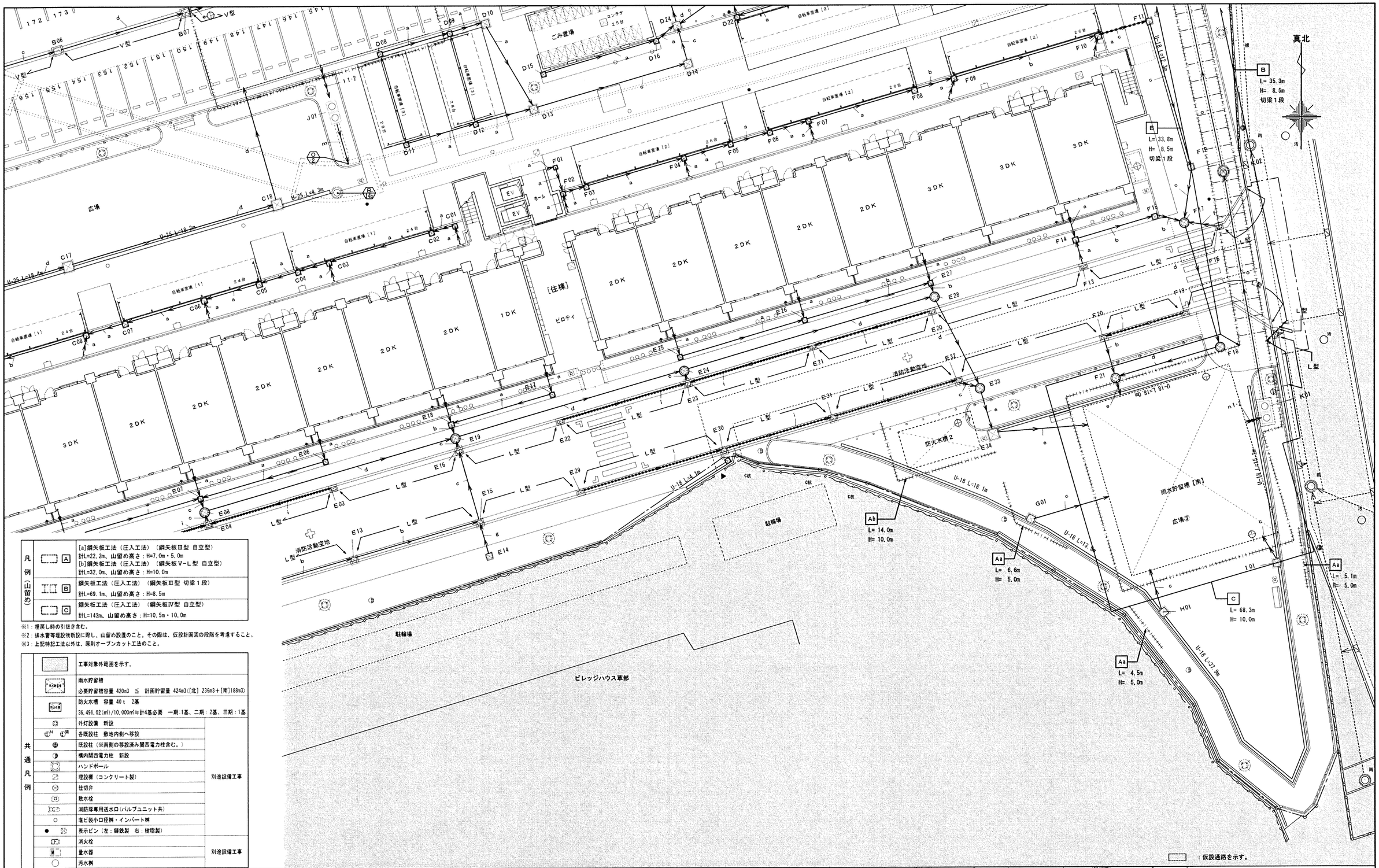
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
a'	VP-φ75	—	—	0.7 m
a	VP-φ100	—	—	329 m
b	VP-φ125	—	—	96.1 m
c	VP-φ150	—	—	179 m
d	VU-φ200	—	—	209 m
e	VU-φ250	—	—	30.8 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
f	VU-φ300	—	—	3.0 m
g	VP-φ100	90°コンクリート巻	R 8	25.5 m
i	VP-φ125	90°コンクリート巻	R 8	90.1 m
j	VP-φ150	90°コンクリート巻	R 8	39.6 m
k	VU-φ200	90°コンクリート巻	R 8	10.7 m
l1・2	l1：[上]VU-φ300 l2：[下]VU-φ400	—	—	3.1 3.1 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
m	VU-φ450	—	—	3.7 m
n1・2	n1：[上]VU-φ300 n2：[下]VU-φ350	—	—	1.8 1.8 m
o	VU-φ400	—	—	37.3 m
L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	R 9	328 m
V型	V型側溝（二次製品）	W=500	R 10	96.8 m
	防護コンクリート開口補強	—	Q 2	A-154図による。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
—	雨水幹線点検人孔 マンホール蓋改修	—	R 14	A-158図による。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水排水計画平面図（３／４）		
A３縮尺	１／３００	A１縮尺	１／１５０
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A ／ １４８
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例		
山留め	A	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板V－L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m
	B	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m
	C	鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：排水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例		
		工事対象外範囲を示す。
	雨水貯留槽	必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3（[北] 236m3＋[南]188m3）
	防火水槽	容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基
	外灯設備 新設	別途設備工事
	各既設柱 敷地内側へ移設	別途設備工事
	既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	別途設備工事
	構内関西電力柱 新設	別途設備工事
	ハンドホール	別途設備工事
	埋設標（コンクリート製）	別途設備工事
	仕切弁	別途設備工事
	散水栓	別途設備工事
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	別途設備工事
	塩ビ製小口径桝・インバート桝	別途設備工事
	表示ピン（左：鋳鉄製 右：樹脂製）	別途設備工事
	消火栓	別途設備工事
	量水器	別途設備工事
	汚水桝	別途設備工事

凡例

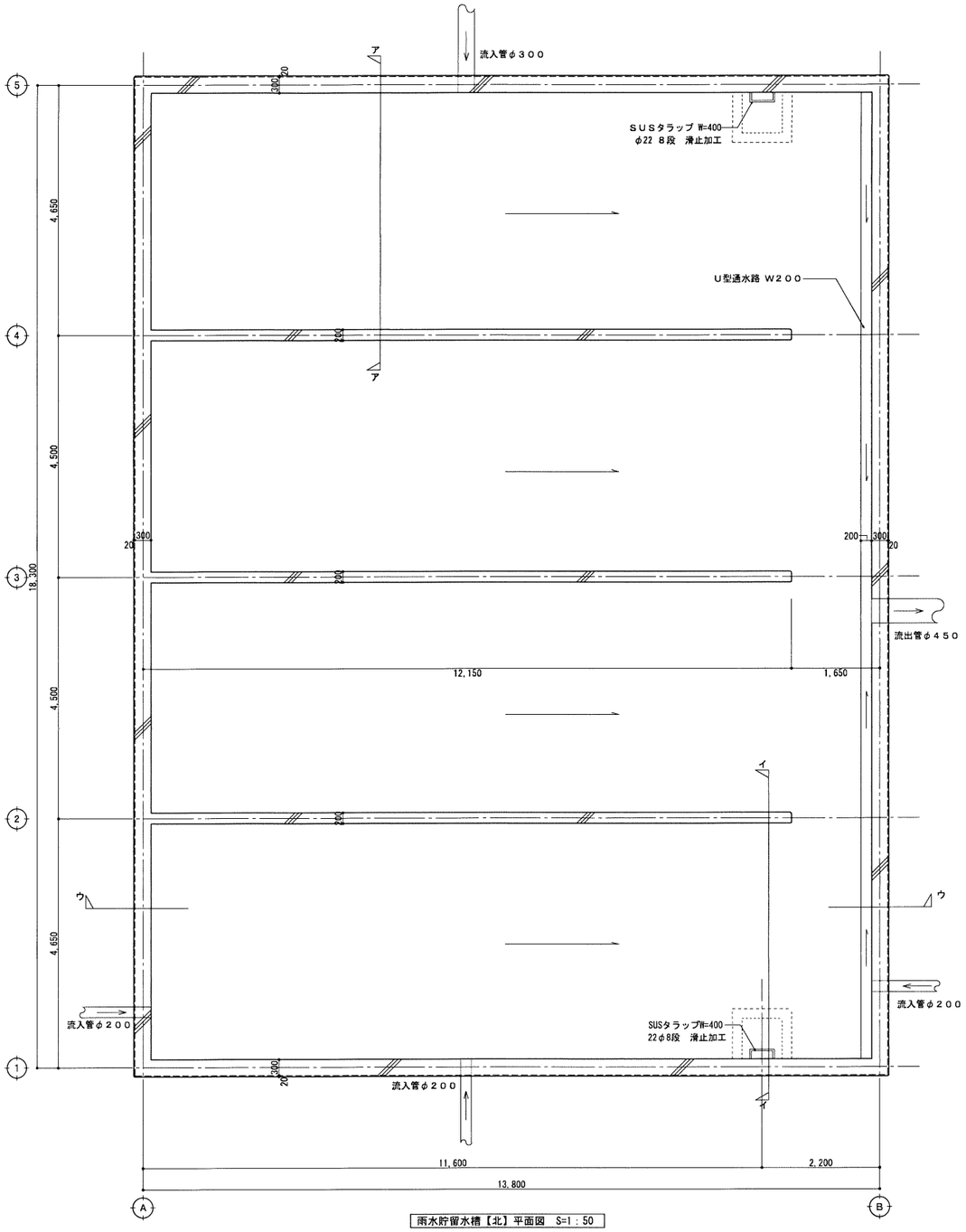
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	雨水桝（D－1～12）既製品	金所リストによる。	R/1	
	L型側溝雨水桝(1・3)（現場打ち）	金所リストによる。	R/4	
	L型側溝雨水桝(2)（現場打ち）	金所リストによる。	R/5	
	V型街渠（現場打ち）	金所リストによる。	R/6	
	現場打ち集水桝（1）	金所リストによる。	R/7	
	現場打ち集水桝（2）	金所リストによる。	R/7	
	0号組立マンホール	金所リストによる。	R/15	
	1号組立マンホール	金所リストによる。	R/16	
	3号組立マンホール	金所リストによる。	R/17	
	オリフィス桝	金所リストによる。	—	
U-18	U字側溝（1）	金所リストによる。	R/1	216 m
U-25	U字側溝（2）	金所リストによる。	R/2	40.9 m

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
a'	VP－φ75	—	—	0.7 m
a	VP－φ100	—	—	329 m
b	VP－φ125	—	—	96.1 m
c	VP－φ150	—	—	179 m
d	VU－φ200	—	—	209 m
e	VU－φ250	—	—	30.8 m
f	VP－φ100	90°コンクリート巻	R/8	25.5 m
g	VP－φ100	90°コンクリート巻	R/8	90.1 m
i	VP－φ125	90°コンクリート巻	R/8	39.6 m
j	VP－φ150	90°コンクリート巻	R/8	10.7 m
k	VU－φ200	90°コンクリート巻	R/8	3.1 m 3.1 m
l1・2	l1：(上)VU－φ300 l2：(下)VU－φ400	—	—	

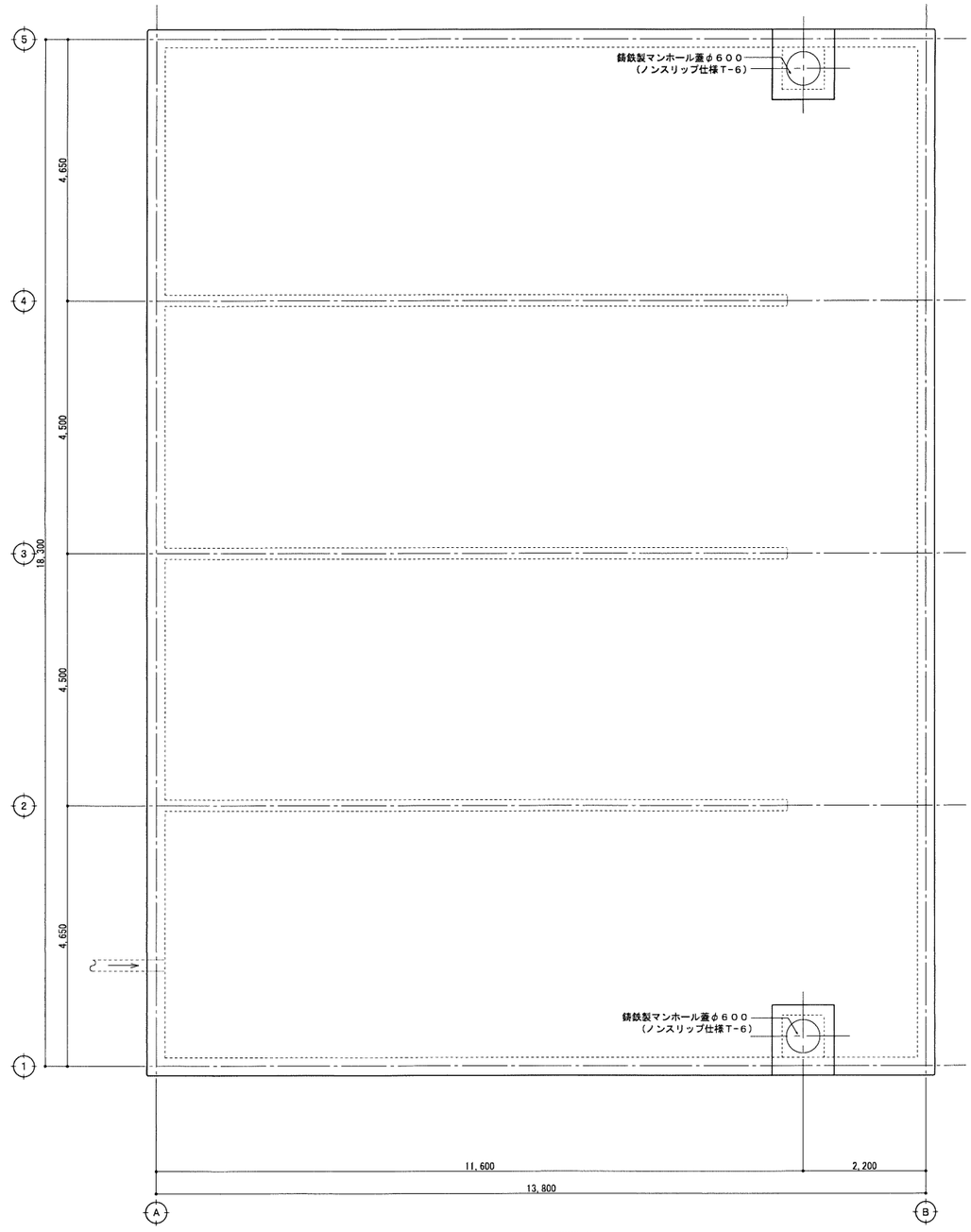
符号	名称	備考	詳細図No.	数量
	3.0 m			
m	VU－φ450	—	—	3.7 m
n1・2	n1：(上)VU－φ300 n2：(下)VU－φ350	—	—	1.8 m 1.8 m
o	VU－φ400	—	—	37.3 m
L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	R/9	328 m
V型	V型側溝（二次製品）	W=500	R/10	96.8 m
—	防護コンクリート開口補強	—	Q/2	A-154図による。

符号	名称	備考	詳細図No.	数量
—	雨水貯留点検人孔 マンホール蓋改修	—	R/14	A-158図による。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水排水計画平面図（4／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／149
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



雨水貯留水槽【北】平面図 S=1：50

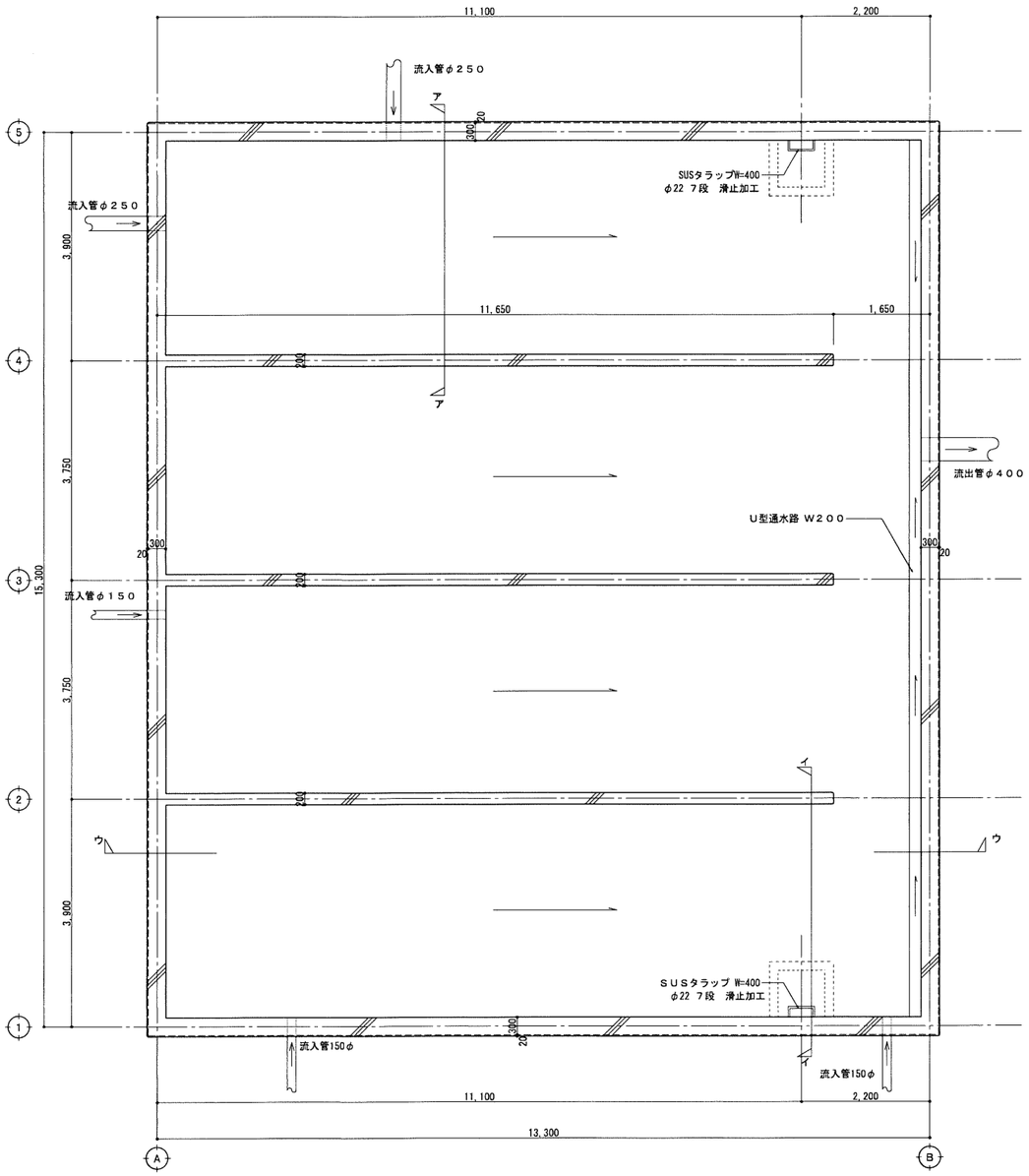


雨水貯留水槽【北】上部平面図 S=1：50

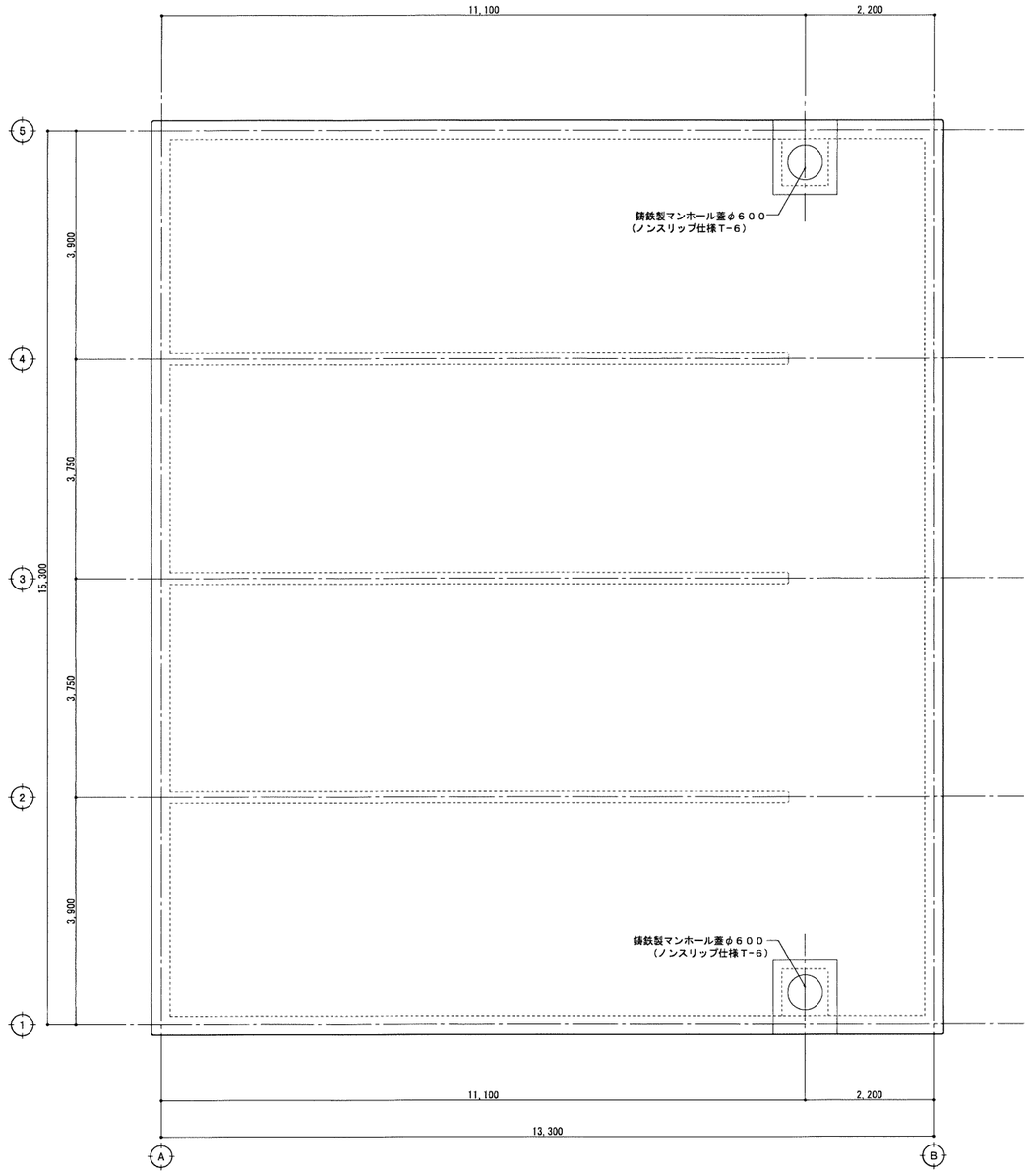
注記・備考

1．内部壁 Ｗ２００ タテ Ｄ１６-@１５０、ヨコ Ｄ１３-@１５０
2．コンクリート及び鉄筋の仕様は以下による。
・躯体 ： Ｆｃ-２４-１５-２０（セメント：高炉セメントＢ種）
・捨コンクリート： 呼１８-１５-２０
・鉄筋 ： ＳＤ２９５Ａ（Ｄ１６以下）、ＳＤ３４５（Ｄ２２）

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水貯留水槽【北】平面図		
Ａ３縮尺	１／１００	Ａ１縮尺	１／５０
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	Ａ／１５０
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



雨水貯留水槽【南】平面図 S=1：50



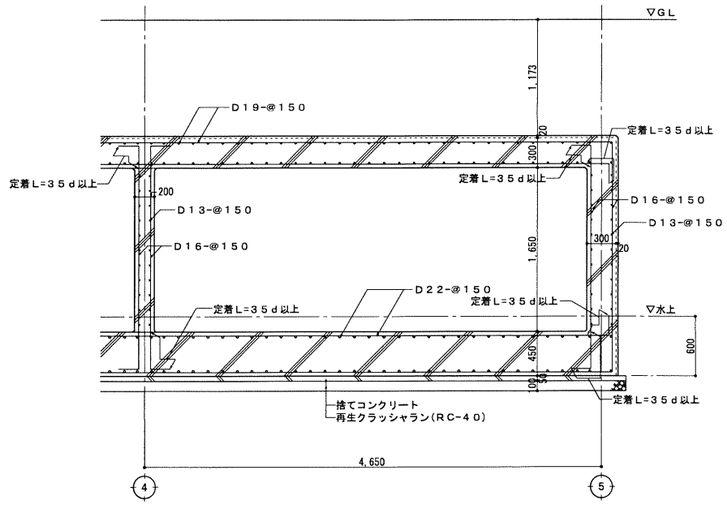
雨水貯留水槽【南】上部平面図 S=1：50

注記・備考

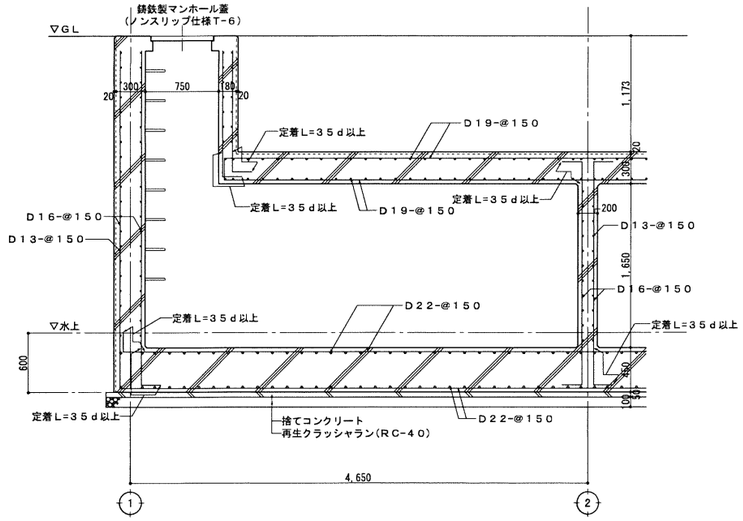
1. 内部壁 W２００ タテ D１６-@１５０、ヨコ D１３-@１５０
2. コンクリート及び鉄筋の仕様は以下による。
・躯体 ： Fc-２４-１５-２０(セメント：高炉セメントB種)
・捨コンクリート： 呼１８-１５-２０
・鉄筋 ： SD２９５A(D１６以下)、SD３４５(D２２)

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水貯留水槽【南】平面図		
A３縮尺	１／１００	A１縮尺	１／５０
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A ／ １５１
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

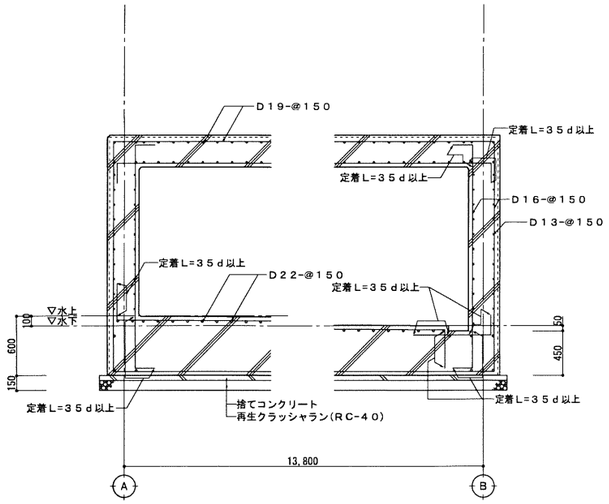
雨水貯留水槽【北】　断面詳細図



雨水貯留水槽【北】ア部断面詳細図　S=1：30

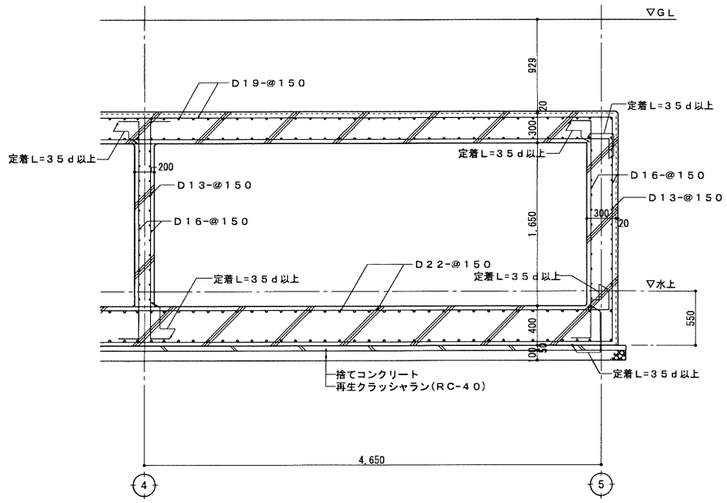


雨水貯留水槽【北】イ部断面詳細図　S=1：30

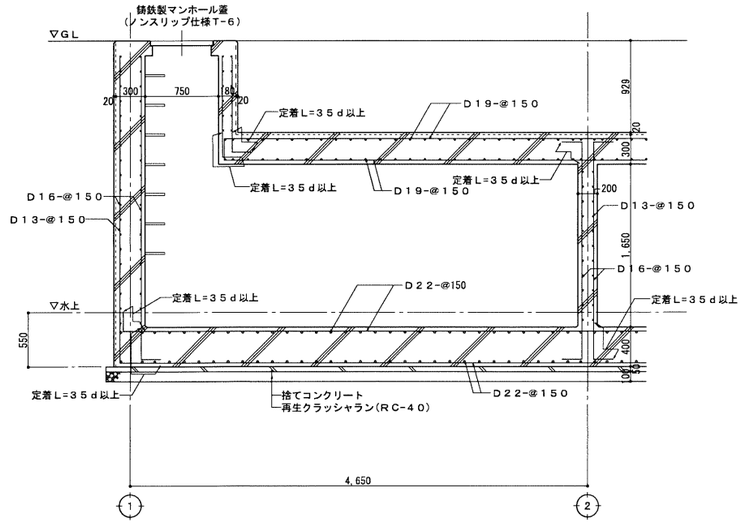


雨水貯留水槽【北】ウ部断面詳細図　S=1：30

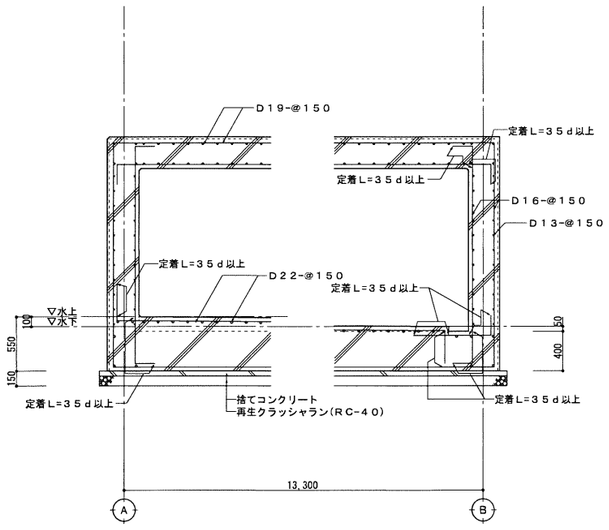
雨水貯留水槽【南】　断面詳細図



雨水貯留水槽【南】ア部断面詳細図　S=1：30



雨水貯留水槽【南】イ部断面詳細図　S=1：30

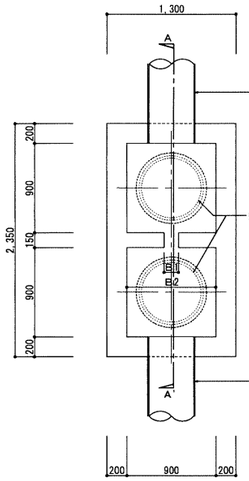


雨水貯留水槽【南】ウ部断面詳細図　S=1：30

注記・備考

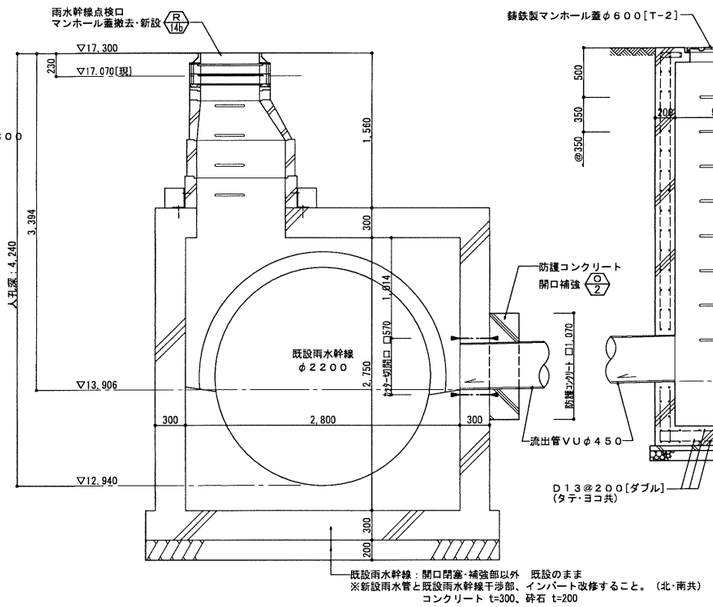
1. 内部壁　W200　タテ D16-@150、ヨコ D13-@150
2. コンクリート及び鉄筋の仕様は以下による。
・躯体　：　Fc-24-15-20(セメント：高炉セメントB種)
・捨コンクリート：　呼18-15-20
・鉄筋　：　SD295A(D16以下)、SD345(D22)

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	雨水貯留水槽【北・南】断面詳細図		
A3縮尺	1／60	A1縮尺	1／30
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／152
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



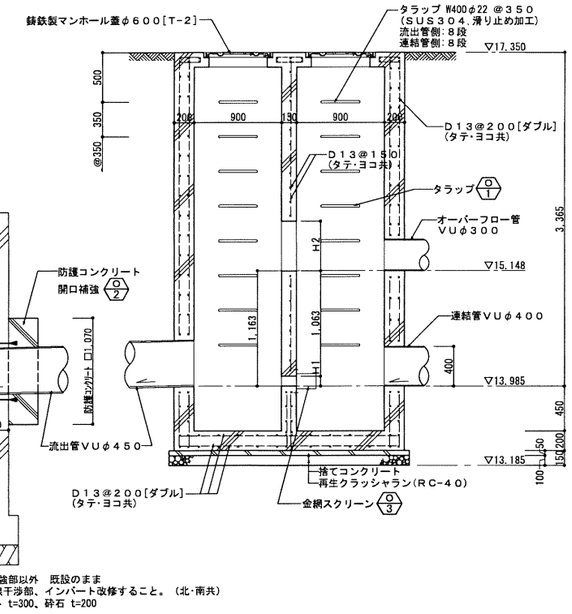
オリフィス会所平面図　S=1:30

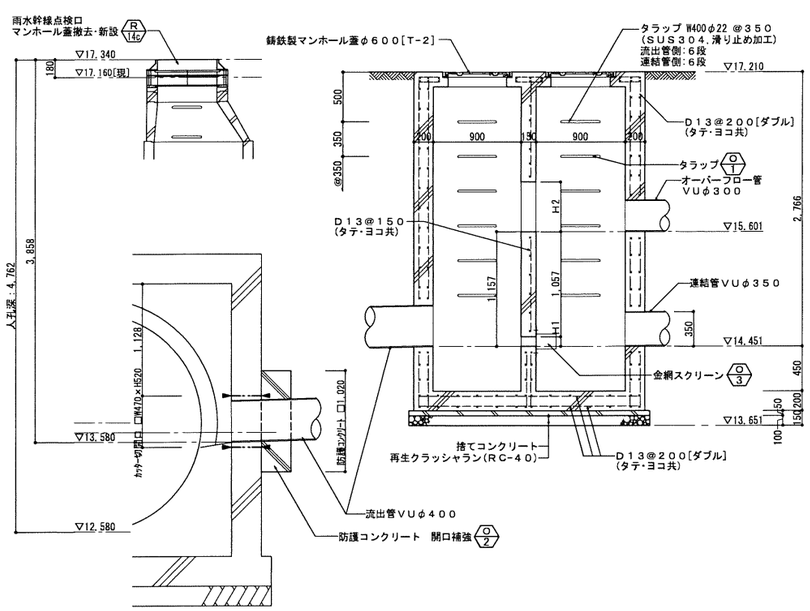
	開口（北）		開口（南）	
名　称	B1(mm)	H1(mm)	B1(mm)	H1(mm)
オリフィス	150	100	150	100
名　称	B2(mm)	H2(mm)	B2(mm)	H2(mm)
越　流	900	500	900	500



A-A'会所断面詳細図　S=1:30

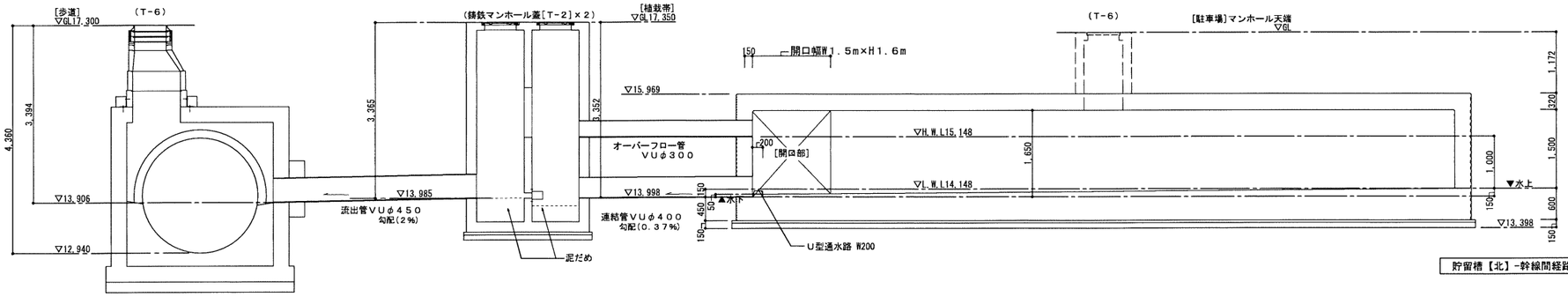
オリフィス桝ー貯留槽【北】側



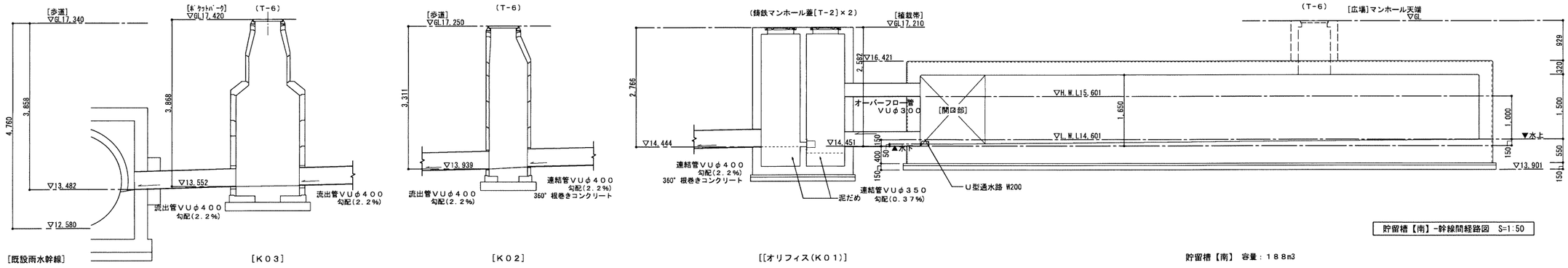


A-A'断面詳細図　S=1:30

オリフィス桝ー貯留槽【南】側



貯留槽【北】-幹線間経路図　S=1:50



貯留槽【南】-幹線間経路図　S=1:50

注記・備考

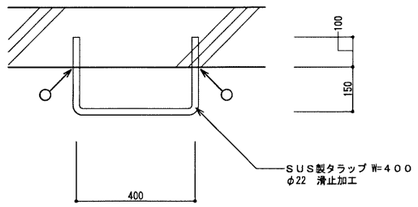
[共通事項]
- 鉄筋仕様
  SD295A
- コンクリート仕様
  躯体　：　Fc-24-15-20(セメント：高炉セメントB種)
  捨てコンクリート　：　呼-18-15-20

[凡　例]
- ▽17.350　：各計画レベルを示す
- ▽17.160[現]　：現況レベルを示す
- (T-2)　：マンホール耐荷重種別を示す
- R 2K　：詳細図参照
- ：カッター切りを示す
- ：変成シリコーン

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	オリフィス桝詳細図01、経路図		
A3縮尺	図示による	A1縮尺	図示による
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／153
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

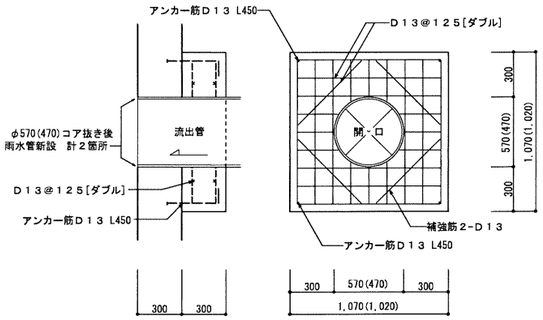
DETAILL No. 1 タラップ

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



DETAILL No. 2 防護コンクリート開口補強（参考図）

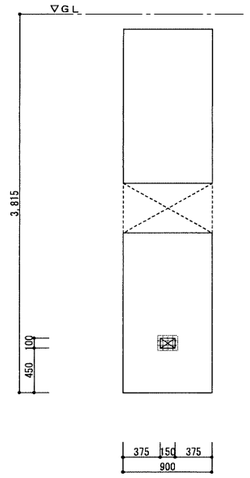
SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



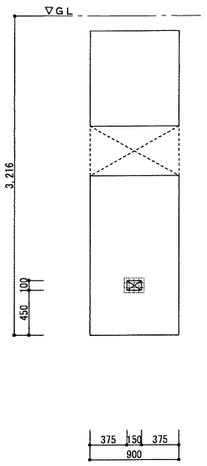
※()内:φ400を示す

DETAILL No. 3 金網スクリーン

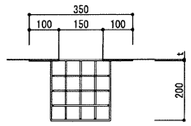
SCALE (A1) S= 1:5 1/10 1,30 (A3) S= 1/10 1/20 1/60



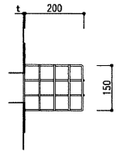
オリフィス桝開口図【北】 S=1:30



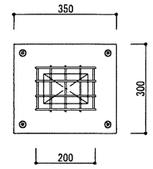
オリフィス桝開口図【南】 S=1:30



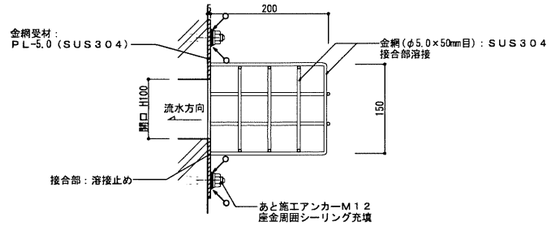
金網平面図 S=1:10



金網側面図 S=1:10



金網正面図 S=1:10



金網断面詳細図 S=1:5

※金網スクリーン 網忠金網(株)同等品以上

注記・備考

［凡 例］
○→ ：変成シリコーン

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	オリフィス桝詳細図０２		
Ａ３縮尺	図示による	Ａ１縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	Ａ ／ １５４
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

会所リスト

系統	桝番号	桝間 No.	桝天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	桝底高 (m)	桝深さ(H) (m)	桝底-管底 (m)	桝 仕 様	桝 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	桝間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	ディテール番号 仕様	備 考
Ⓐ	A01		17.080	—	16.760	16.550	0.420	0.100	雨水桝(D-1)[既製品] □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	A02	A01 → A02	17.065	16.654	16.640	16.465	0.600	0.175	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	11.416	1/100	R1	
	A03		17.086	—	16.586	16.486	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	
	A04		17.200	—	16.750	16.600	0.600	0.150	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	A05	A02 A03 → A05 A04	17.123	16.548 16.541 16.703	16.448	16.223	0.900	0.225	現場打ち集水桝(1) □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ100 VPφ100 VPφ150	VPφ150	9.120 4.785 5.264	1/100 1/100 1/100	R6	A04 流入管：根巻補強 90°
	A06		17.120	—	16.620	16.520	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	A07		17.215	—	16.765	16.615	0.600	0.150	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝]
	A08	A05 A06 → A08 A07	17.180	16.324 16.575 16.654	16.310	16.130	1.050	0.180	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,050	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150 VPφ100 VPφ150	VPφ150	12.337 4.750 11.925	1/100 1/100 1/100	R6	
	A09	A08 → A09	17.200	16.218	16.205	16.000	1.200	0.205	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	9.139	1/100	R6	
	A10		17.173	—	16.673	16.573	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	A11	A09 A10 → A11	17.250	16.088 16.756	16.070	15.900	1.350	0.170	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1,350	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150 VPφ100	VPφ150	12.308 6.633	1/100 1/100	R7	
	A12		17.230	—	16.780	16.630	0.600	0.150	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝]
	A13	A11 A12 → A13	17.250	15.910 16.626	15.900	15.750	1.500	0.150	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1,500	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150 VPφ150	VUφ200	16.000 15.325	1/100 1/100	R7	
	A14		17.265	—	16.875	16.775	0.490	0.100	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	A15	A13 A14 → A15	17.250	15.713 16.757	15.703	14.450	1.800	1.000	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1,800	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VUφ200 VPφ100	VUφ200	18.690 11.719	1/100 1/100	R7	
	貯留槽[北]	A15 → 貯留槽[北]	17.140	15.303	—	14.147	2.993	—	コンクリート打放し	—		HPφ200	—	7.737	1/100	—
Ⓑ	B01		17.221	—	16.781	16.621	0.600	0.160	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	B02	B01 → B02	17.355	16.749	16.735	16.535	0.820	0.200	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ150	3.530	1/100	R1	流出管：根巻補強 90°
	B03	B02 → B03	17.230	16.678	16.668	16.480	0.750	0.188	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H750	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VPφ150	VPφ150	5.612	1/100	R5	流出管：根巻補強 90°
	B04		17.357	—	16.967	16.867	0.490	0.100	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ150	—	—	R1	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	B05	B03 B04 → B05	17.202	16.558 16.885	16.452	16.302	0.900	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H900	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VPφ150 VPφ150	VPφ150	11.000 8.165	1/100 1/100	R5	A03・A04 流入管：根巻補強 90°
	B06	B05 → B06	17.173	16.342	16.273	16.123	1.050	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,050	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VPφ150	VUφ200	10.997	1/100	R5	
	B07	B06 → B07	17.143	16.155	15.793	15.643	1.500	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,500	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ200	VUφ250	11.745	1/100	R5	
	貯留槽[北]	B07 → 貯留槽[北]	17.140	15.293	—	14.147	2.993	—	コンクリート打放し	—	VUφ250	—	7.737	1/100	—	
Ⓒ	C01	竪樋 → C01	17.365	17.000	16.990	16.765	0.600	0.225	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋			—	—	R1	[第1桝]
	C02	C01 → C02	17.365	16.968	16.958	16.765	0.600	0.193	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	2.130	1/100	R1	
	C03	C02 竪樋 → C03	17.365	16.865 17.000	16.855	16.675	0.690	0.180	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	9.270 —	1/100 —	R1	
	C04	C03 → C04	17.365	16.826	16.815	16.675	0.690	0.140	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	2.830	1/100	R1	
	C05	C04 → C05	17.365	16.779	16.765	16.545	0.820	0.220	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	3.579	1/100	R1	
	C06	C05 竪樋 → C06	17.365	16.715 17.000	16.705	16.545	0.820	0.160	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	4.990 —	1/100 —	R1	
	C07	C06 → C07	17.365	16.633	16.623	16.485	0.880	0.138	雨水桝(D-8)[既製品] □450×450×H880	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.150	1/100	R1	
	C08	C07 竪樋 → C08	17.365	16.587 17.000	16.577	16.365	1.000	0.212	雨水桝(D-10)[既製品] □500×500×H1,000	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	3.559 —	1/100 —	R1	
	C09	C08 → C09	17.365	16.456	16.446	16.265	1.100	0.181	雨水桝(D-12)[既製品] □600×600×H1,100	コンクリート蓋	VPφ125	VPφ125	12.020	1/100	R1	
	C10	C09 竪樋 → C10	17.365	16.427 17.000	16.417	16.265	1.100	0.152	雨水桝(D-12)[既製品] □600×600×H1,100	コンクリート蓋	VPφ125 VPφ100	VPφ125	1.969 —	1/100 —	R1	
	C11		17.318	—	16.918	16.718	0.600	0.200	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	C12		17.236	—	16.776	16.636	0.600	0.140	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	C13	C11 C12 → C13	17.318	16.833 16.741	16.728	16.628	0.690	0.100	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	8.441 3.443	1/100 1/100	R1	
	C14	C10 C13 → C14	17.400	16.376 16.688	16.366	16.200	1.200	0.166	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125 VPφ125	VPφ150	4.047 3.954	1/100 1/100	R6	
	C15		17.236	—	16.736	16.636	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	C16	C14 C15 → C16	17.300	16.309 16.715	16.293	16.100	1.200	0.193	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150 VPφ100	VUφ200	6.202 2.446	1/100 1/100	R7	
	C17	C16 → C17	17.300	16.109	16.090	15.800	1.500	0.290	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1,500	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VUφ200	VUφ200	19.021	1/100	R7	
	C18	C17 → C18	17.300	15.907	15.885	15.650	1.650	0.235	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1,650	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VUφ200	VUφ200	19.021	1/100	R5	
	貯留槽[北]	C18 → 貯留槽[北]	17.140	15.300	—	14.147	2.993		コンクリート打放し	—	VUφ200	—	10.642	1/100	—	
Ⓓ	D01		17.150	—	16.743	16.550	0.600	0.193	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-2](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝]
	D02	D01 → D02	17.105	16.625	16.615	16.415	0.690	0.200	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ150	VPφ150	11.727	1/100	R1	流出管：根巻補強 90°
	D03		17.120	—	16.670	16.520	0.600	0.150	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	D04	D02 D03 → D04	16.953	16.533 16.597	16.353	16.203	0.750	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H750	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VPφ150 VPφ150	VUφ200	8.199	1/100	R5	流出入管：根巻補強 90°

会所リスト

系統	桝番号	桝間 No.	桝天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	桝底高 (m)	桝深さ(H) (m)	桝底-管底 (m)	桝 仕 様	桝 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	桝間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	ディテール番号 仕様	備 考
	D05	D04 → D05	16.980	16.240	16.230	16.080	0.900	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H900	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ200	VUφ200	11.288	1/100	R5	流入管：根巻補強 90°
	D06		17.166	—	16.676	16.476	0.690	0.200	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D07	D05 D06 → D07	17.011	16.111 16.594	16.061	15.811	1.200	0.250	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,200	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ200 VPφ100	VUφ200	11.830 8.199	1/100 1/100	R5	
	D08		17.320	—	17.020	16.830	0.490	0.190	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D09	D08 → D09	17.320	16.957	16.947	16.830	0.490	0.117	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	R1	
	D10	D09 → D10	17.330	16.915	16.880	16.730	0.600	0.150	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-2](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ100	VPφ100	3.145	1/100	R6	
	D11		17.265	—	16.965	16.775	0.490	0.190	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D12	D11 → D12	17.265	16.902	16.892	16.775	0.490	0.117	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	R1	
	D13	D10 D12 → D13	17.290	16.793 16.840	16.690	16.540	0.750	0.150	現場打ち集水桝(1) □600×600×H750	鋼製グレーチング蓋[T-2](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ100 VPφ100	VPφ150	8.669 5.168	1/100 1/100	R6	
	D14	D13 → D14	17.290	16.550	16.515	16.365	0.900	0.150	現場打ち集水桝(1) □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋[T-2](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	13.971	1/100	R6	
	D15		17.300	—	16.822	16.610	0.690	0.212	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D16	D15 → D16	17.300	16.720	16.710	16.610	0.690	0.258	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	10.200	1/100	R1	
	D17		17.350	—	17.000	16.750	0.600	0.250	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R6	[第1桝]
	D18		17.365	—	17.045	16.945	0.420	0.100	雨水桝(D-1)[既製品] □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D19	D18 → D19	17.365	16.915	16.905	16.765	0.600	0.140	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	12.945	1/100	R1	
	D20	D17 D19 → D20	17.350	16.850 16.880	16.840	16.600	0.750	0.240	現場打ち集水桝(1) □600×600×H750	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ100 VPφ100	VPφ100	14.930 2.430	1/100 1/100	R6	
	D21		17.365	—	17.045	16.945	0.420	0.100	雨水桝(D-1)[既製品] □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D22	D21 → D22	17.365	16.914	16.904	16.765	0.600	0.139	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	13.075	1/100	R1	
	D23	D20 D22 → D23	17.350	16.671 16.879	16.661	16.450	0.900	0.211	現場打ち集水桝(1) □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ100 VPφ100	VPφ150	16.830 2.430	1/100 1/100	R6	
	D24	D14 D16 → D24 D23	17.380	16.480 16.687 16.605	16.470	16.180	1.200	0.290	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150 VPφ100 VPφ150	VUφ200	3.439 2.290 5.546	1/100 1/100 1/100	R6	
	D25		17.365	—	17.025	16.875	0.490	0.150	雨水桝(D-3)[既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	D26	D25 → D26	17.365	16.949	16.910	16.675	0.690	0.235	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.550	1/100	R1	
	D27	D26 → D27	17.365	16.834	16.824	16.675	0.690	0.149	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.550	1/100	R1	
	D28	D27 → D28	17.365	16.808	16.798	16.675	0.690	0.123	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ150	1.600	1/100	R1	
	D29	D24 D28 → D29	17.350	16.429 16.743	16.419	16.150	1.200	0.290	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ200 VPφ150	VUφ200	4.065 5.405	1/100 1/100	R6	
	D30	D07 D29 → D30	17.038	15.955 16.327	15.788	15.538	1.500	0.250	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,500	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ200 VUφ200	VUφ200	10.593 9.120	1/100 1/100	R5	
	D31	D30 → D31	17.072	15.658	15.572	15.422	1.650	0.150	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,650	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ250	VUφ250	12.971	1/100	R5	
	D32	D31 → D32	17.084	15.523	15.513	15.284	1.800	0.229	V型街渠桝(現場打ち) □650×500×H1,800	鋳鉄製V形グレーチング蓋[T-6]	VUφ250	VUφ300	4.840	1/100	R5	
	貯留槽[北]	D32 → 貯留槽[北]	17.140	15.206	—	14.147	2.993		コンクリート打放し	—	VUφ300	—	7.737	1/100	—	
Ⓔ	E01		17.246	—	16.796	16.646	0.600	0.150	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R3	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E02	E01 → E02	17.256	16.703	16.693	16.506	0.750	0.187	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	9.256	1/100	R3	流出入管：根巻補強 90°
	E03		17.281	—	16.681	16.531	0.750	0.150	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E04	E02 E03 → E04	17.269	16.570 16.567	16.560	16.369	0.900	0.191	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H900	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125 VPφ125	VPφ150	12.300 11.400	1/100 1/100	R3	流入管：根巻補強 90°
	E05	竪樋 → E05	17.338	16.885	16.798	16.648	0.690	0.150	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	—	—	R1	
	E06	竪樋 → E06	17.363	16.885	16.823	16.673	0.690	0.150	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	—	—	R1	
	E07	E05 E06 → E07 竪樋	17.351	16.675 16.709 16.885	16.665	16.531	0.820	0.134	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100 VPφ100	VPφ150	12.300 11.400 —	1/100 1/100 —	R1	
	E08	E04 E07 → E08	17.326	16.548 16.653	16.538	16.238	1.088	0.300	0号組立マンホール φ750×H1,040~1,180	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VPφ150 VPφ150	VUφ200	1.180 1.175	1/100 1/100	R15	
	E09		17.251	—	16.786	16.651	0.600	0.135	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E10		17.295	—	16.945	16.695	0.600	0.250	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R6	[第1桝]
	E11	E09 E10 → E11	17.256	16.742 16.913	16.732	16.506	0.750	0.226	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125 VPφ100	VPφ125	4.356 3.150	1/100 1/100	R3	A09 流出入管：根巻補強 90° A10 流出管：根巻補強 90°
	E12	E11 → E12	17.269	16.609	16.599	16.369	0.900	0.205	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H900	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	12.300	1/100	R3	流入管：根巻補強 90°
	E13	E12 → E13	17.281	16.485	16.473	16.231	1.050	0.242	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H1,050	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	11.400	1/100	R3	
	E14		17.315	—	16.965	16.715	0.600	0.250	現場打ち集水桝(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R6	[第1桝]
	E15	E13 E14 → E15	17.294	16.359 16.933	16.349	16.094	1.200	0.255	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125 VPφ100	VPφ150	11.400 3.150	1/100 1/100	R3	
	E16	E15 → E16	17.294	16.285	16.274	16.094	1.200	0.180	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H1,200	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	6.400	1/100	R3	
	E17	竪樋 → E17	17.386	16.885	16.875	16.696	0.690	0.179	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	—	—	R1	
	E18	E17 竪樋 → E18	17.376	16.782 16.885	16.772	16.556	0.820	0.216	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	9.220 —	1/100 —	R1	
	E19	E08 E16 → E19 E18	17.353	16.310 16.262 16.760	16.252	15.952	1.401	0.300	0号組立マンホール φ750×H1,340~1,480	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ200 VPφ150 VPφ125	VUφ200	22.800 1.180 1.175	1/100 1/100 1/100	R15	
	E20		17.220	—	16.725	16.620	0.600	0.105	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E21	E20 → E21	17.252	16.616	16.602	16.502	0.750	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ・細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ 125	10.809	1/100	R2	流出入管：根巻補強 90°

凡例

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	会所リスト-1		
A3縮尺	—	A1縮尺	—
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A / 155

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m

会所リスト

系統	桝番号	桝間 No.	桝天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	桝底高 (m)	桝深さ(H) (m)	桝底-管底 (m)	桝 仕 様	桝 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	桝間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	ディテール番号 仕様	備 考
Ⓔ	E22		17.304	—	16.804	16.704	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E23	E21 → E23 E22	17.286	16.488 16.688	16.471	16.236	1.050	0.235	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H1.050	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ125 VPφ125	VPφ150	11.400 11.580	1/100 1/100	R3	流入管：根巻補強 90°
	E24	E19 E23 → E24	17.345	16.044 16.459	16.034	15.734	1.611	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.490～1.630	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ200 VPφ150	VUφ200	20.800 1.180	1/100 1/100	R15	
	E25	竪桝 → E25	17.368	16.885	16.875	16.678	0.690	0.197	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	E26	E25 竪桝 → E26	17.334	16.761 16.885	16.751	16.644	0.690	0.107	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	11.400 —	1/100 —	R1	
	E27	E26 竪桝 → E27	17.300	16.637 16.885	16.627	16.480	0.820	0.147	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	11.400 —	1/100 —	R1	
	E28	E24 E27 → E28	17.278	15.806 16.615	15.796	15.496	1.782	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.640～1.780	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ200 VPφ125	VUφ200	22.800 1.175	1/100 1/100	R15	
	E29		17.304	—	16.824	16.704	0.600	0.120	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	E30	E29 → E30	17.282	16.701	16.691	16.532	0.750	0.159	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	12.300	1/100	R3	流出入管：根巻補強 90°
	E31	E30 → E31	17.252	16.591	16.552	16.352	0.900	0.200	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H900	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	9.980	1/100	R2	流出入管：根巻補強 90°
	E32	E31 → E32	17.220	16.441	16.424	16.320	0.900	0.104	L型側溝雨水桝(2)(現場打ち) □400×450×H900	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ150	10.810	1/100	R3	流入管：根巻補強 90°
	E33	E28 E32 → E33	17.276	15.706 16.404	15.696	15.396	1.880	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.790～1.930	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ200 VPφ150	VUφ250	8.908 2.528	1/100 1/100	R15	
	E34	E33 → E34	17.200	15.654	15.644	15.400	1.800	0.244	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1.800	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VUφ250	VUφ250	4.144	1/100	R7	
	貯留槽[南]	E34 → 貯留槽[南]	17.350	15.564	—	14.601	2.749		コンクリート打放し	—	VUφ250	—	3.289	1/100	—	
Ⓕ	F01	竪桝 → F01	17.365	17.000	16.990	16.765	0.600	0.225	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ 75	VPφ100	—	—	R1	[第1桝]
	F02	F01 → F02	17.365	16.966	16.956	16.765	0.600	0.191	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	2.395	1/100	R1	
	F03	F02 竪桝 → F03	17.365	16.940 17.000	16.930	16.765	0.600	0.165	雨水桝(D-2)[既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	1.555 —	1/100 —	R1	
	F04	F03 竪桝 → F04	17.365	16.841 17.000	16.831	16.675	0.690	0.156	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	8.820 —	1/100 —	R1	
	F05	F04 → F05	17.365	16.788	16.778	16.675	0.690	0.103	雨水桝(D-4)[既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	4.280	1/100	R1	
	F06	F05 → F06	17.365	16.742	16.732	16.545	0.820	0.187	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	3.600	1/100	R1	
	F07	F06 竪桝 → F07	17.365	16.696 17.000	16.686	16.545	0.820	0.141	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	3.520 —	1/100 —	R1	
	F08	F07 → F08	17.365	16.590	16.580	16.365	1.000	0.215	雨水桝(D-10)[既製品] □500×500×H1.000	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ125	9.580	1/100	R1	
	F09	F08 竪桝 → F09	17.365	16.544 17.000	16.534	16.365	1.000	0.169	雨水桝(D-10)[既製品] □500×500×H1.000	コンクリート蓋	VPφ125 VPφ100	VPφ125	3.600 —	1/100 —	R1	
	F10	F09 竪桝 → F10	17.365	16.404 17.000	16.394	16.265	1.100	0.129	雨水桝(D-12)[既製品] □600×600×H1.100	コンクリート蓋	VPφ125 VPφ100	VPφ150	13.000 —	1/100 —	R1	
	F11	F10 → F11	17.394	16.347	16.337	15.894	1.500	0.443	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1.500	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	4.659	1/100	R7	
	F12	F11 → F12	17.250	16.202	16.192	15.750	1.500	0.442	現場打ち集水桝(2) □800×800×H1.500	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	13.450	1/100	R7	
	F13		17.180	—	16.680	16.580	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	F14	F13 竪桝 → F14	17.262	16.656 16.885	16.646	16.442	0.820	0.204	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	2.355 —	1/100 —	R1	
	F15	F14 → F15	17.241	16.574	16.564	16.421	0.820	0.143	雨水桝(D-6)[既製品] □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ125	VPφ125	7.174	1/100	R1	
	F16		17.144	—	16.644	16.544	0.600	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R2	[第1桝]
	F17	F12 F15 → F17 F16	17.212	16.145 16.537 16.613	16.132	15.832	1.380	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.340～1.480	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VPφ150 VPφ125 VPφ100	VUφ200	4.626 2.670 3.016	1/100 1/100 1/100	R15	
	F18	F17 → F18	17.220	16.019	16.005	15.705	1.515	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.490～1.630	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ200	VUφ200	11.260	1/100	R15	
	F19		17.158	—	16.698	16.558	0.600	0.140	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ125	—	—	R2	[第1桝] 流出管：根巻補強 90°
	F20	F19 → F20	17.180	16.623	16.530	16.430	0.750	0.100	L型側溝雨水桝(1)(現場打ち) □400×300×H750	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	VPφ125	VPφ125	7.441	1/100	R2	流入管：根巻補強 90°
	F21	F18 F20 → F21	17.210	15.909 16.493	15.850	15.550	1.660	0.300	O号組立マンホール φ750×H1.640～1.780	鋳鉄製マンホール蓋[T-2]	VUφ200 VPφ125	VUφ250	9.545 3.680	1/100 1/100	R15	
	貯留槽[南]	F21 → 貯留槽[南]	17.350	15.832	—	14.601	2.749		コンクリート打放し	—	VUφ250	—	1.765	1/100	—	
Ⓖ	G01		17.200	—	16.300	16.040	1.200	0.300	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1.200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R7	[第1桝]
	貯留槽[南]	G01 → 貯留槽[南]	17.350	15.800	—	14.601	2.749		コンクリート打放し	—	VPφ150	—	6.196	1/100	—	
Ⓗ	H01		17.240	—	16.340	16.040	1.200	0.300	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1.200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R7	[第1桝]
	貯留槽[南]	H01 → 貯留槽[南]	17.350	15.750	—	14.601	2.749		コンクリート打放し	—	VPφ150	—	3.706	1/100	—	
Ⓘ	I01		17.200	—	16.300	16.000	1.200	1.000	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1.200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R7	[第1桝]
	貯留槽[南]	I01 → 貯留槽[南]	17.350	15.750	—	14.601	2.749		コンクリート打放し	—	VPφ150	—	2.296	1/100	—	

会所リスト

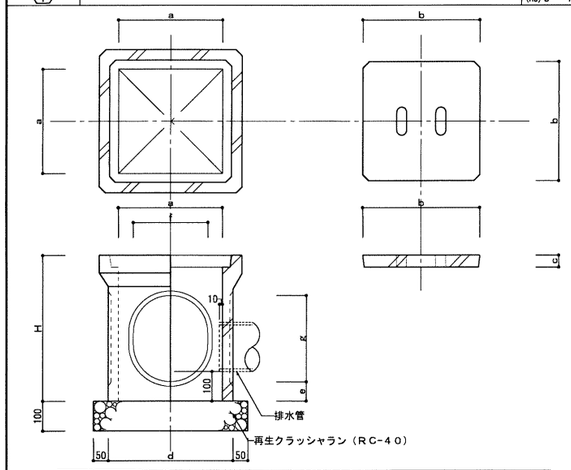
系統	桝番号	桝間 No.	桝天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	桝底高 (m)	桝深さ(H) (m)	桝底-管底 (m)	桝 仕 様	桝 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	桝間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	ディテール番号 仕様	備 考
Ⓙ	貯留槽[北]		17.140	—	13.998	14.148	3.142		コンクリート打放し	鋳鉄製マンホール蓋[T-6]×2	—	VUφ300 VUφ400	—	—	A-150	
	J01	貯留槽[北] → J01[オリフィス]	17.350	13.985	13.535	13.630	3.815	0.450	コンクリート打放し	鋳鉄製マンホール蓋[T-2]×2	VUφ300 VUφ400	VUφ450	3.205	0.37/100	A-153	
	既設雨水幹線	J01[オリフィス] → 既設雨水幹線	17.300	13.906	—	12.940	4.360	—		鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ450	—	3.726	2/100	—	
Ⓚ	貯留槽[南]		17.350	—	14.451	14.601	2.899		コンクリート打放し	鋳鉄製マンホール蓋[T-6]×2	—	VUφ300 VUφ350	—	—	A-151	
	K01	貯留槽[南] → K01[オリフィス]	17.210	14.444	14.444	13.994	3.216	0.450	コンクリート打放し	鋳鉄製マンホール蓋[T-2]×2	VUφ300 VUφ350	VUφ400	2.647	0.37/100	A-153	
	K02	K01[オリフィス] → K02	17.250	13.989	13.939	13.639	3.611	0.300	1号組立マンホール φ900×H3.440～3.580	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ400	VUφ400	20.659	2.2/100	R6	
	K03	K02 → K03	17.420	13.572	13.552	13.182	4.238	0.370	3号組立マンホール φ1500×H4.140～4.280	鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ400	VUφ400	16.642	2.2/100	R7	
	既設雨水幹線	K03 → 既設雨水幹線	17.340	13.482	—	12.580	4.760	—		鋳鉄製マンホール蓋[T-6] t50(ノンスリップ仕様)	VUφ400	—	3.097	2.2/100	—	
Ⓛ	L01		17.201	—	16.236	16.186	1.015	0.050	L型側溝雨水桝(3)(二次製品) □340×300×H1.015	鋼製グレーチング蓋[T-25](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R4	[第1桝]
	既設管		17.263	15.460	—	—	—	—	—	—	VPφ150	HPφ1100	1.500	1/100	—	
Ⓜ	M01		17.010	—	15.910	15.810	1.200	0.150	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1.200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝]
	既設管		17.150	14.950	—	—	—	—	—	—	VPφ150	HPφ 700	—	—	—	
Ⓝ	N01		17.110	—	16.010	15.910	1.200	0.150	現場打ち集水桝(1) □600×600×H1.200	鋼製グレーチング蓋[T-6](溶融亜鉛メッキ-細目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R6	[第1桝]
	既設管		17.150	14.950	—	—	—	—	—	—	VPφ150	HPφ 700	—	—	—	

凡例

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	会所リスト-2		
A3縮尺	—	A1縮尺	—
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A／156
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

DETAIL No. R1 雨水桝（D−1～D−6）（既製品・参考図）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



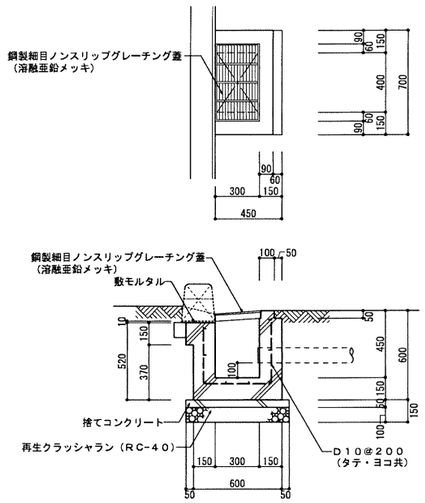
雨水桝符号	a	b	c	d	e	f	g	H
D−1	300	350	35	360	65	200	230	420
D−2					105			600
D−3	350	400	40	420	65	250	290	490
D−4					80			690
~~D−5~~	400	450	50	480	~~80~~	310	360	~~580~~
D−6					75			820
~~D−7~~	450	500	100	540	~~80~~	360	420	~~680~~
D−8					85			880
~~D−9~~	500	550	~~100~~	600	100	~~400~~	~~450~~	~~750~~
D−10			110			330	380	1000
~~D−11~~	600	650	100	~~710~~	140	~~400~~	~~460~~	~~820~~
D−12				720		340	400	1100

・ 泥溜は、最小値１００mmとする。

DETAIL No. R2 L型側溝雨水桝（1）（現場打ち）

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

（T−２５耐圧）

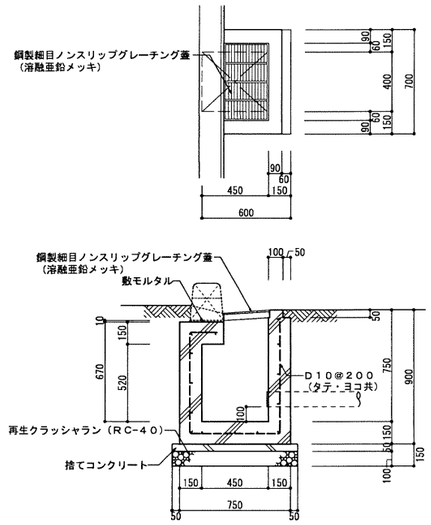


[特記事項]
・ 泥溜は、最小値１００mmとする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R3 L型側溝雨水桝（2）（現場打ち）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（T−２５耐圧）

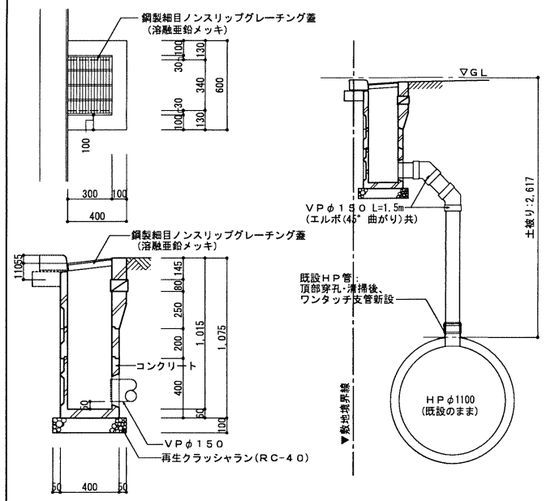


[特記事項]
・ 泥溜は、最小値１００mmとする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R4 L型側溝雨水桝（3）（二次製品）

SCALE (A1) S= 1/20 1/30 (A3) S= 1/40 1/60

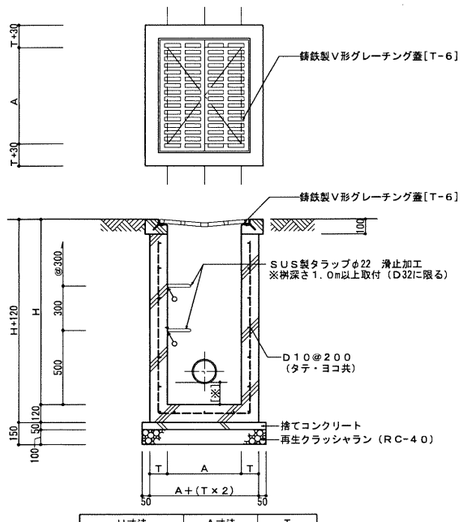
（東側道路部　T−２５耐圧）



[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R5 V型街渠桝（現場打ち）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

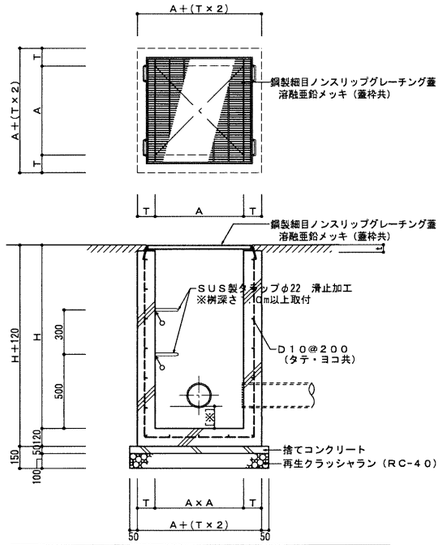


H寸法	A寸法	T
600<H≦1,200	650×500	120
600<H		

[特記事項]
・ 泥溜は、最小値１５０mm～最大値３００mmとする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R6 現場打ち集水桝（1）

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

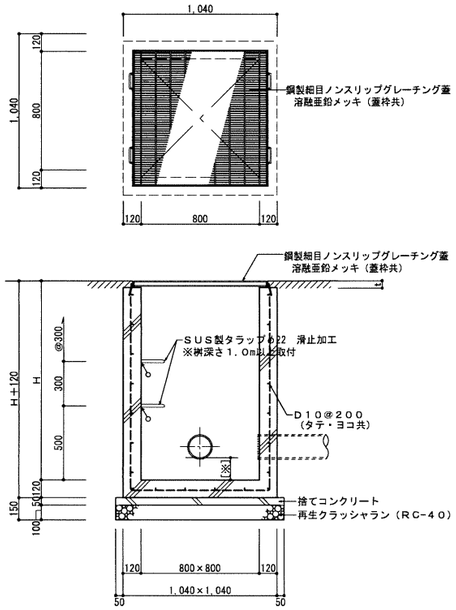


記号	H寸法	A×B	T
ろ	H≦600	450×450	100
は	600<H≦1,200	600×600	120

[特記事項]
・ [※]：泥溜は、最小値１５０mm～最大値３００mmとする。
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R7 現場打ち集水桝（2）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

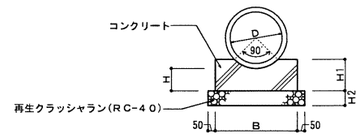


[特記事項]
・ [※]：泥溜は、最小値１５０mm～最大値３００mmとする。
　H＞1,200の桝とする。（H≦1,200の場合は、現場打ち集水桝（1）による。）
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAIL No. R8 管類基礎工（根巻き補強・参考図）

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

[コンクリート基礎工（90°）]



（単位：mm）

D	B	H	H1	H2
φ100	300	100	115	100
φ125	325	100	120	100
φ150	350	100	125	100
φ200	400	100	130	100
φ400	550	151	220	150

[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

注記・備考

[共通事項]
・ 鉄筋仕様（現場打ち）
　SD295A
・ コンクリート仕様（現場打ち）
　呼−18−15−20

：四周シーリング(変成シリコン)

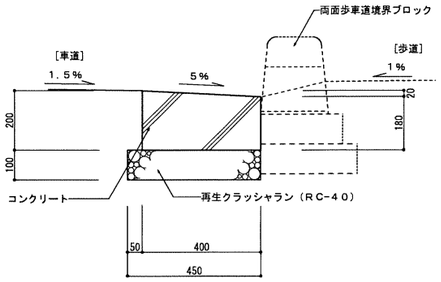
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構（雨水排水）詳細図０１		
A３縮尺	図示による	A１縮尺	図示による
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／１５７

原寸法 0 1 5 10 15 20 25m

DETAILL No. R 9

L型側溝（現場打ち）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

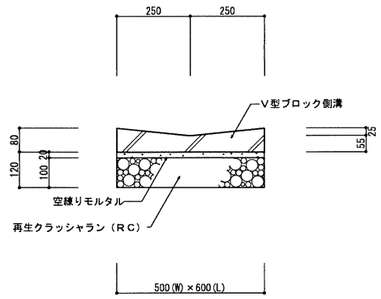


[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAILL No. R 10

V字側溝

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20



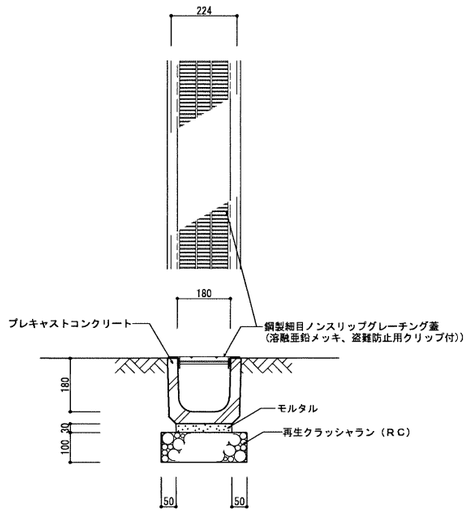
[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAILL No. R 11

U字側溝（1）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（T-6耐圧）



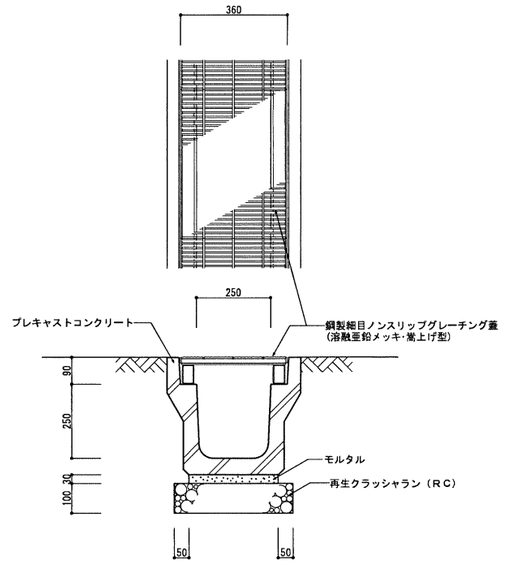
[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAILL No. R 12

U字側溝（2）

SCALE (A1) S= 1/10 (A3) S= 1/20

（T-6耐圧）



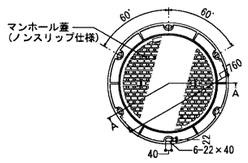
[特記事項]
・ 路盤下締固めを行い、平坦にすること。

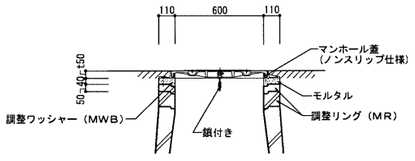
DETAILL No. R 13

組立マンホール蓋（ノンスリップ仕様）（参考図）

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

（T-6耐圧）





※マンホール蓋は同等品とすること。
・使用箇所：歩道部
※調整リング等の施工方法は、 参考「全国ユニホール工業会 施工マニュアル」に準じる。

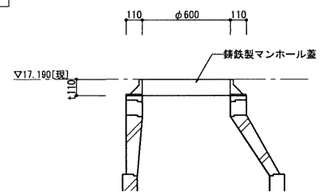
DETAILL No. R 14

雨水幹線点検人孔マンホール蓋改修

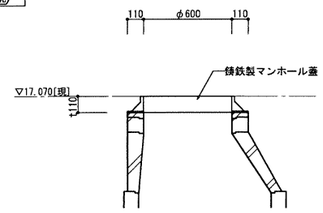
SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

撤去

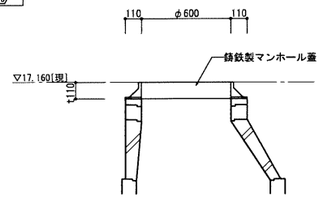
No. R 14a



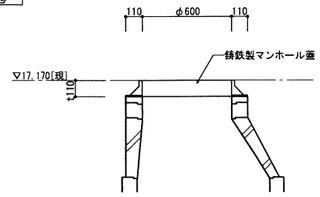
No. R 14b



No. R 14c

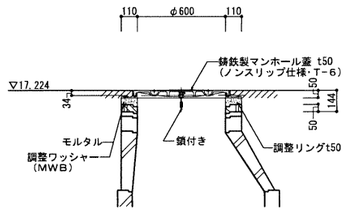


No. R 14d

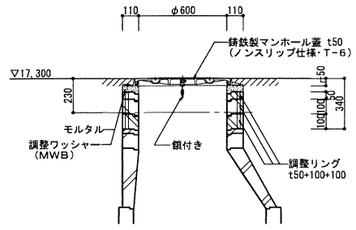


新設

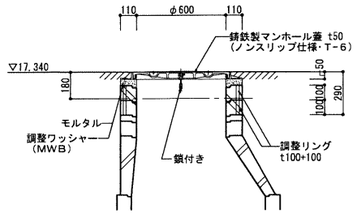
No. R 14a



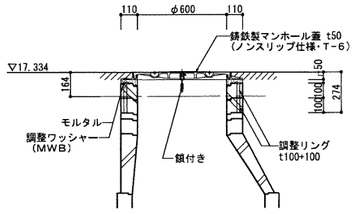
No. R 14b



No. R 14c



No. R 14d



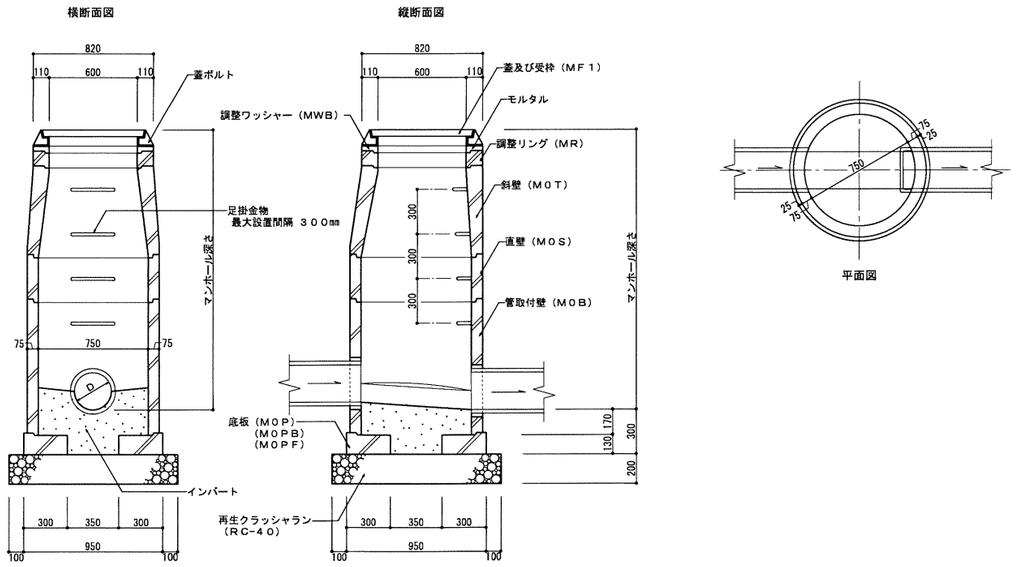
注記・備考

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構（雨水排水）詳細図０２		
A３縮尺	図示による	A１縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A ／ １５８
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

DETAILL No. R T5

0号組立マンホール

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

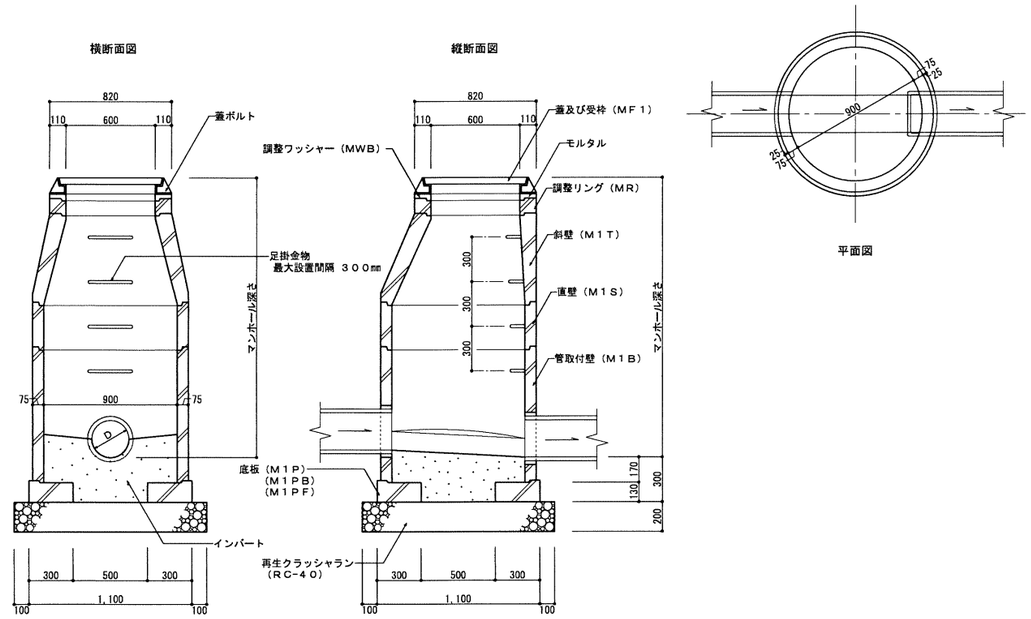


[特記事項]
・路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAILL No. R T6

1号組立マンホール

SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40

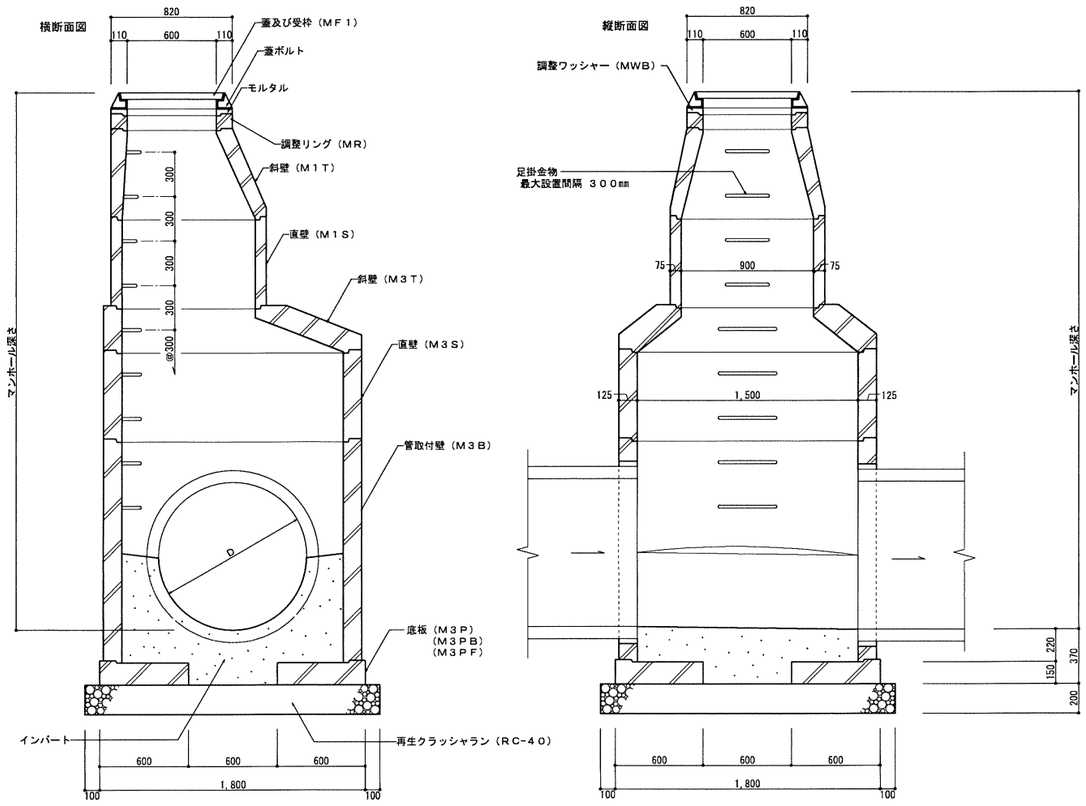


[特記事項]
・路盤下締固めを行い、平坦にすること。

DETAILL No. R T7

3号組立マンホール

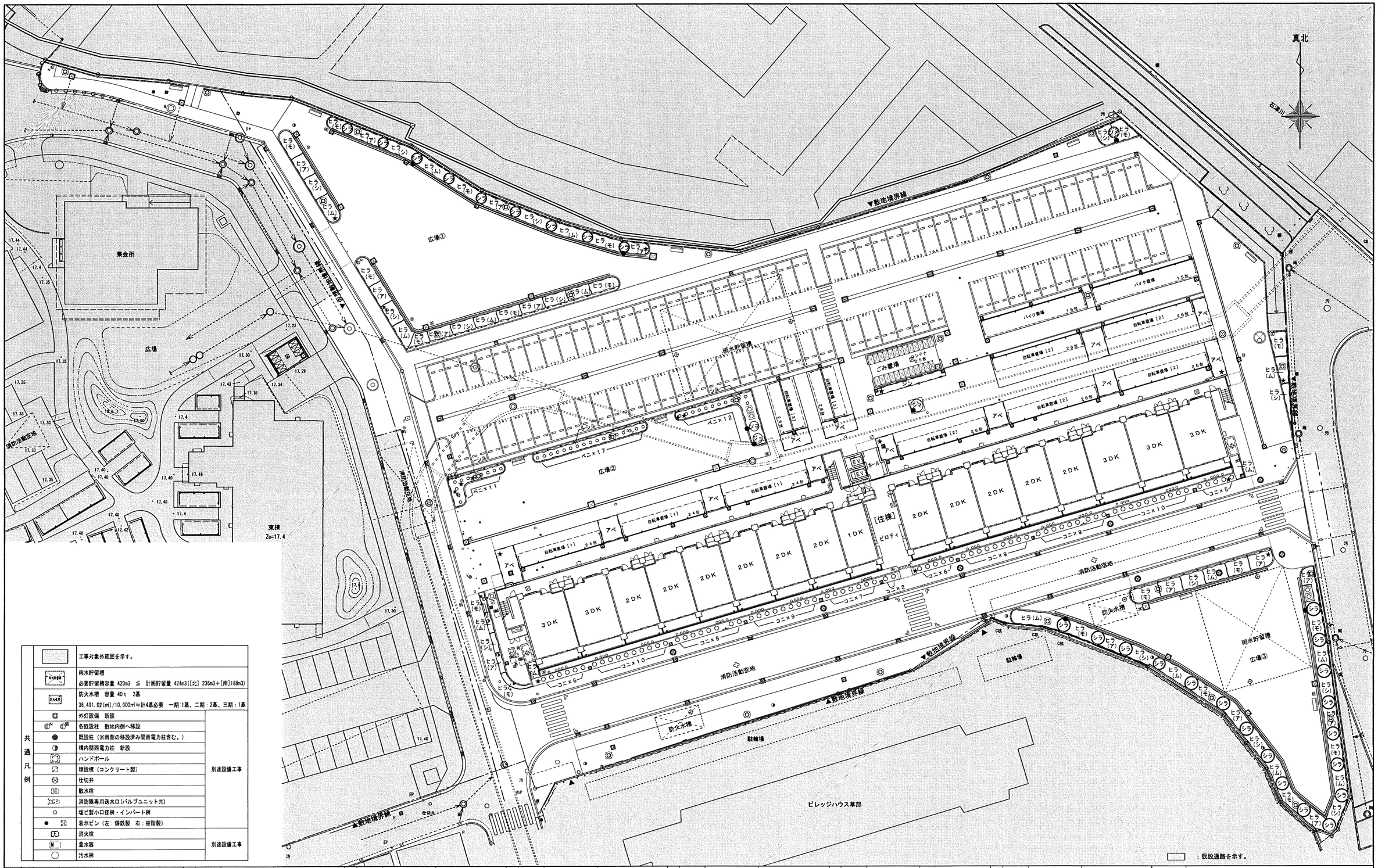
SCALE (A1) S= 1/20 (A3) S= 1/40



[特記事項]
・路盤下締固めを行い、平坦にすること。

注記・備考

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	外構（雨水排水）詳細図０３		
Ａ３縮尺	図示による	Ａ１縮尺	図示による
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	Ａ／１５９
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



共通凡例

	工事対象外範囲を示す。
雨水貯留槽	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m3 ≦ 計画貯留量 424m3([北] 236m3+[南]188m3)
防火水槽	防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(㎡)/10,000㎡≒計4基必要 一期:1基、二期:2基、三期:1基
外灯設備	外灯設備 新設 (別途設備工事)
外	各既設柱 敷地内側へ移設 (別途設備工事)
	既設柱 (※雨側の移設済み関西電力柱含む。) (別途設備工事)
	構内関西電力柱 新設 (別途設備工事)
	ハンドポール (別途設備工事)
	埋設標 (コンクリート製) (別途設備工事)
	仕切弁 (別途設備工事)
	散水栓 (別途設備工事)
	消防隊専用送水口(バルブユニット共) (別途設備工事)
	塩ビ製小口径桝・インバート桝 (別途設備工事)
	表示ピン (左:鋳鉄製 右:樹脂製) (別途設備工事)
	消火栓 (別途設備工事)
	量水器 (別途設備工事)
	汚水桝 (別途設備工事)

凡例

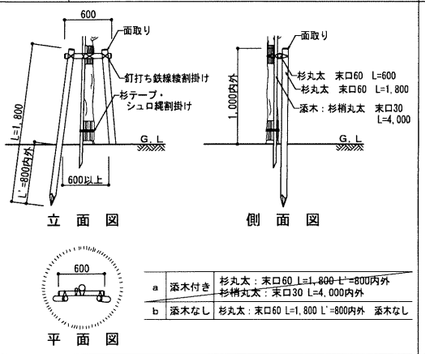
種別	記号	樹名	樹高×幹回り×葉張
高木(常緑)	シマ	シマトネリコ	3.5m×0.21m×1.0m
	ジョ	常緑ヤマボウシ	3.5m×0.18m×1.0m
	シラ	シラカシ	3.5m×0.18m×1.0m
高木(落葉)	ソメ	ソメイヨシノ	3.5m×0.15m×1.2m
中木(常緑)	コニ	コニファー シルバースター	1.5m× —m×0.5m
	ソヨ	ソヨゴ	2.0m× —m×0.6m
	ベニ	ベニカナメモチ	1.0m× —m×0.2m
低木(常緑)	シル	シルバープリベッド	0.5m× —m× —m
	ジン	ジンチョウゲ	0.5m× —m×0.4m
	ヒラ(ア)	ヒラドツツジ(赤色)	0.4m× —m×0.4m
	ヒラ(シ)	ヒラドツツジ(白色)	0.4m× —m×0.4m
	ヒラ(モ)	ヒラドツツジ(桃色)	0.4m× —m×0.4m
	ヒラ(ム)	ヒラドツツジ(紫色)	0.4m× —m×0.4m
低木(常緑)	アベ	アベリア	0.5m× —m×0.3m
	●	樹名板A(吊下げ型)	
	★	樹名板B(立看板型)	

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	植栽計画図01(植栽図)		
A3縮尺	1/500	A1縮尺	1/250
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	A/160
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

数　量　表

種別	記号	樹 種（樹名）	樹高（m）	幹回り（m）	枝・葉張（m）	支柱	客土（m³）	基盤種別	数量 樹木	数量 樹名板	単位	備 考
高木（常緑）	シマ	シマトネリコ	3.5	0.21	1.0	A-b	0.330	C種	1	1(A)	本	
	ジョ	常緑ヤマボウシ	3.5	0.18	1.0	A-b	0.209	C種	1	1(A)	本	
	シラ	シラカシ	3.5	0.18	1.0	A-b	0.209	C種	27	4(A)	本	
高木（落葉）	ソメ	ソメイヨシノ	3.5	0.15	1.2	A-b	0.209	C種	1	1(A)	本	
中木（常緑）	コニ	コニファー シルバースター	1.5	－	0.5	H	0.077	C種	81	3(B)	本	
	ソヨ	ソヨゴ	2.0	－	0.6	A-b	0.111	C種	1	1(A)	本	
	ベニ	ベニカナメモチ	1.0	－	0.2	H	0.049	C種	40	2(B)	本	
低木（常緑）	シル	シルバープリベッド	0.5	－	－	－	0.026	C種	495	2(B)	本	9本／m²
	ジン	ジンチョウゲ	0.5	－	0.4	－	0.026	C種	36	1(B)	本	4本／m²
	ヒラ(ア)	ヒラドツツジ（赤色）	0.4	－	0.4	－	0.020	C種	339	4(B)	本	4本／m²
	ヒラ(シ)	ヒラドツツジ（白色）	0.4	－	0.4	－	0.020	C種	318		本	4本／m²
	ヒラ(モ)	ヒラドツツジ（桃色）	0.4	－	0.4	－	0.020	C種	427		本	4本／m²
	ヒラ(ム)	ヒラドツツジ（紫色）	0.4	－	0.4	－	0.020	C種	386		本	4本／m²
	アベ	アベリア	0.5	－	0.3	－	0.026	C種	1,043	3(B)	本	9本／m²
施設	●	樹名板A（吊下げ型）								8	箇所	
	★	樹名板B（立看板型）								15	箇所	

A　二脚鳥居支柱（添木あり・添木なし）

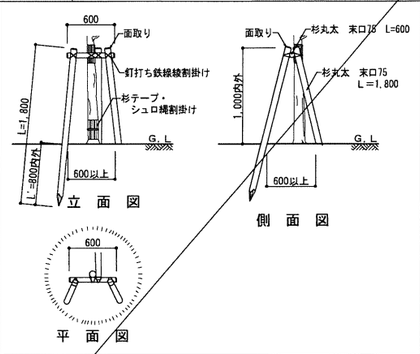


a	添木付き	杉丸太：末口60 L=1,800 L'=800内外 杉樹丸太：末口30 L=4,000内外
b	添木なし	杉丸太：末口60 L=1,800 L'=800内外　添木なし

[材料仕様]
- 杉丸太は末口75mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 丸太相互の取付は釘止めを行い、鉄線線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周20cm以上30cm未満の樹木に適用する。　・中木：樹高250cm以上の樹木に適用する。

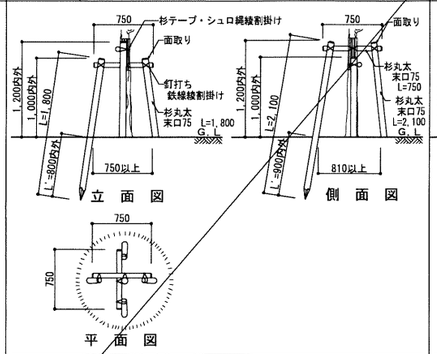
B　三脚鳥居支柱



[材料仕様]
- 杉丸太は末口75mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 丸太相互の取付は釘止めを行い、鉄線線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周30cm以上60cm未満の樹木に適用する。

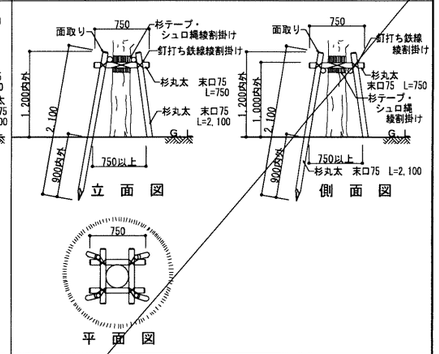
C　十字鳥居支柱



[材料仕様]
- 杉丸太は末口75mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 丸太相互の取付は釘止めを行い、鉄線線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周30cm以上60cm未満の樹木に適用する。

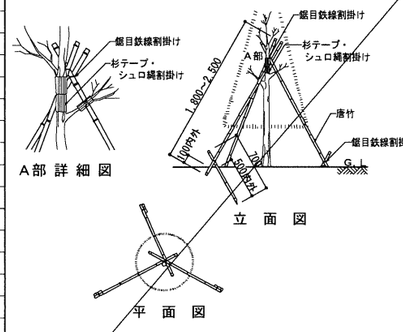
D　二脚鳥居組合せ支柱



[材料仕様]
- 杉丸太は末口75mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 丸太相互の取付は釘止めを行い、鉄線線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周40cm以上75cm未満の樹木に適用する。

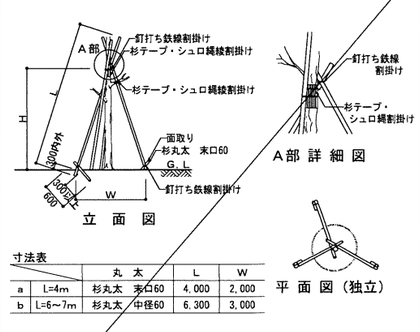
E　八つ掛支柱（三脚・竹）



[材料仕様]
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 唐竹は末口25mm内外とし、原則として２箇所以上の幹又は枝に結束する。
- 唐竹相互の結束は、２本ずつ２箇所以上とし、結束部分にのこぎり目を入れ、鉄線割掛けとし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周20cm未満の樹木に適用する。　・中木：樹高100cm以上の樹木に適用する。

F　八つ掛支柱（丸太）



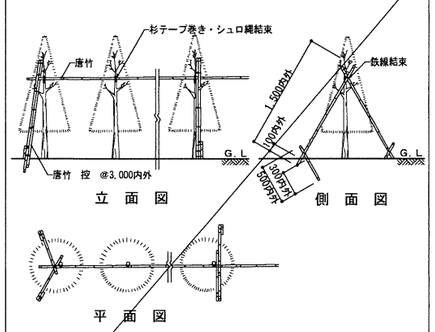
寸法表

		丸太	L	W
a	L=4m	杉丸太　末口60	4,000	2,000
b	L=6～7m	杉丸太　中径60	6,300	3,000

[材料仕様]
- 杉丸太は末口60mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 丸太相互の取付は２本ずつ２箇所以上とし、釘止めを行い、鉄線線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 高木：幹周20cm以上35cm未満の樹木に適用する。

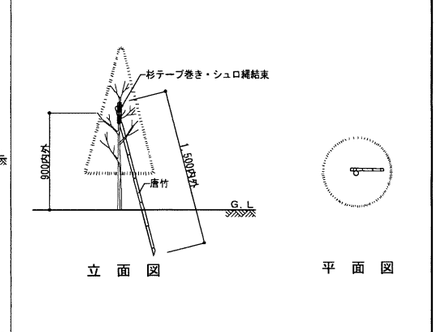
G　布掛け支柱（竹）



[材料仕様]
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 唐竹は末口25mm内外とする。
- 唐竹相互の結束は、２本ずつ２箇所以上とし、結束部分にのこぎり目を入れ、鉄線割掛けとし、２本どり３回巻き以上とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 中木：樹高100cm以上の樹木に適用する。

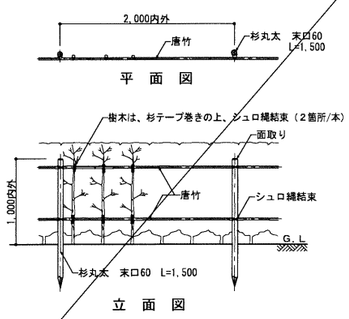
H　添え柱形支柱（一本形・竹）



[材料仕様]
- 鉄線は亜鉛めっき鉄線 #18以上のものを使用する。
- 唐竹は末口25mm内外とする。
- 鉄線端部は支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、２本どり３回巻きを標準とする。

[特記事項]（適用条件）
- 中木：樹高100cm以上の樹木に適用する。

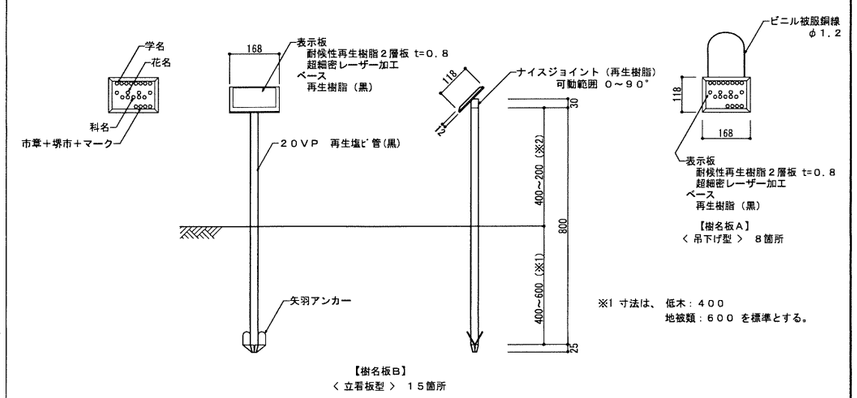
I　生垣形支柱



[材料仕様]
- 杉丸太は末口60mm以上とし、面取りを行い、防腐処理を行う。
- 唐竹は末口25mm内外とし、取付位置は特記による。また、唐竹は、きりもみの上、柱に釘止め、シュロ縄線掛けの上割掛け結束とし、２本どり３回巻きとする。
- 樹木と支柱の結束はシュロ縄線掛けとし、１本どり３回巻きを標準とする。

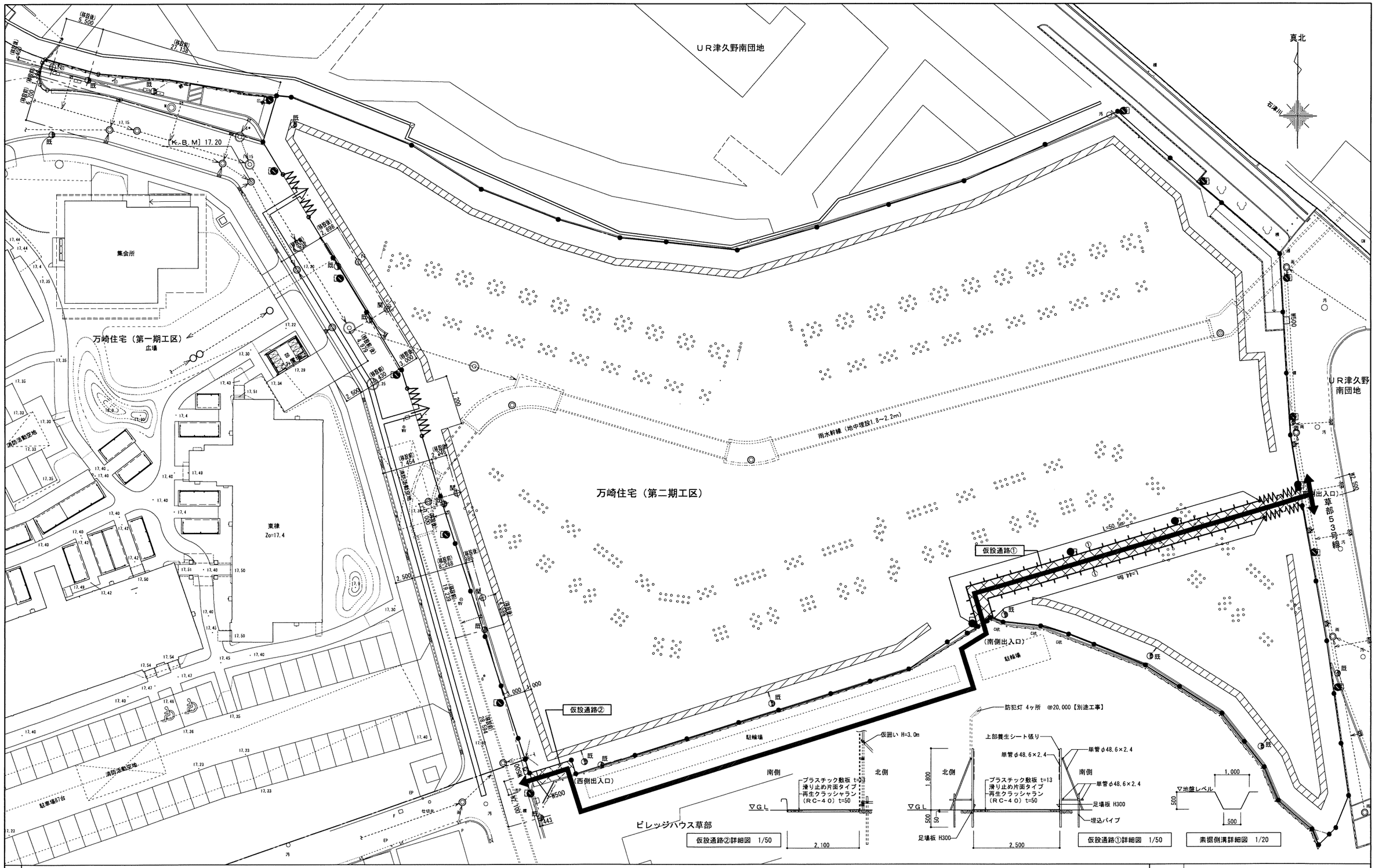
[特記事項]（適用条件）
- 中木：樹高100cm以上の樹木に適用する。

JP　樹　名　板



注記・備考

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	植栽計画図02（数量表・支柱図）		
A3縮尺	—	A1縮尺	—
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／161
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

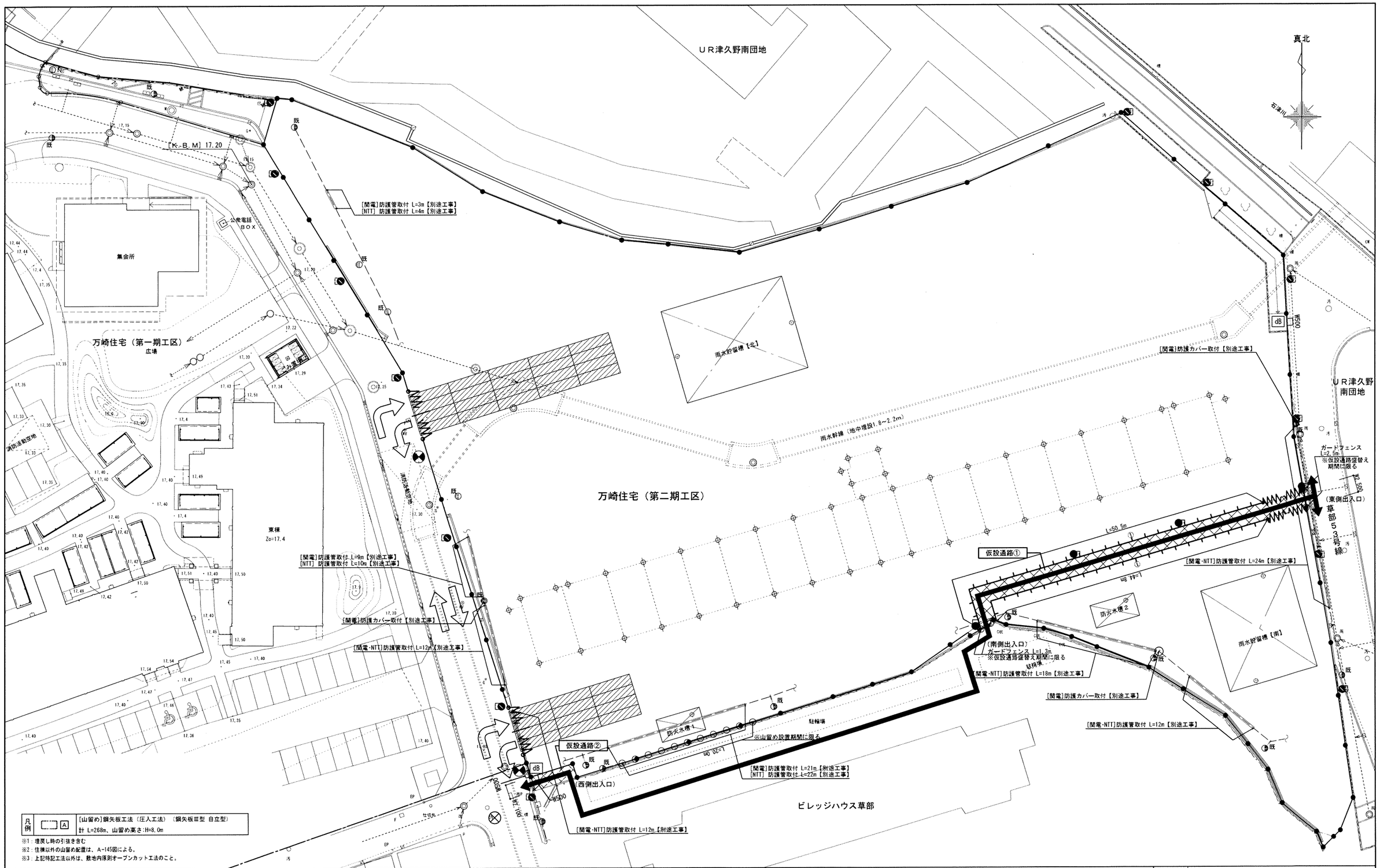


共通凡例

- 仮囲い：万能鋼板 H=3.0m L=487m（既存）
- パネルゲート（W7.2m×H4.5m）計2箇所（既存）
- 素掘側溝 W:1.0m×H0.5m L=387m（既存）
- 杭撤去跡/貧調合セメントミルク充填（既存）
- 工事車両通行経路
- 安全巡視員（常駐）計７人
- 安全巡視員（スポット）計50人
- 防犯灯（既存）
- 防犯灯 計4箇所（既存）【別途工事】
- W500 クリアパネル H=3.0m 計3箇所（既存）
- 仮設通路① 計137㎡（既存）
- 仮設通路② 計13.3㎡（既存）
- ① 仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m（既存）
- パネルキャスターゲート（W6.3m×H2.0m）計2箇所（既存）
- 仮設通路歩行者経路
- ■設備凡例
- 既 既設電力柱を示す
- 関 移設対象関西電力柱及びＮＴＴ柱を示す

【特記事項】
・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	［参考］仮設計画図（ＳＴＥＰ０ 本工事前）		
Ａ３縮尺	１／５００ １／４０、１／１００	Ａ１縮尺	１／２５０ １／２０、１／５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１６２
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



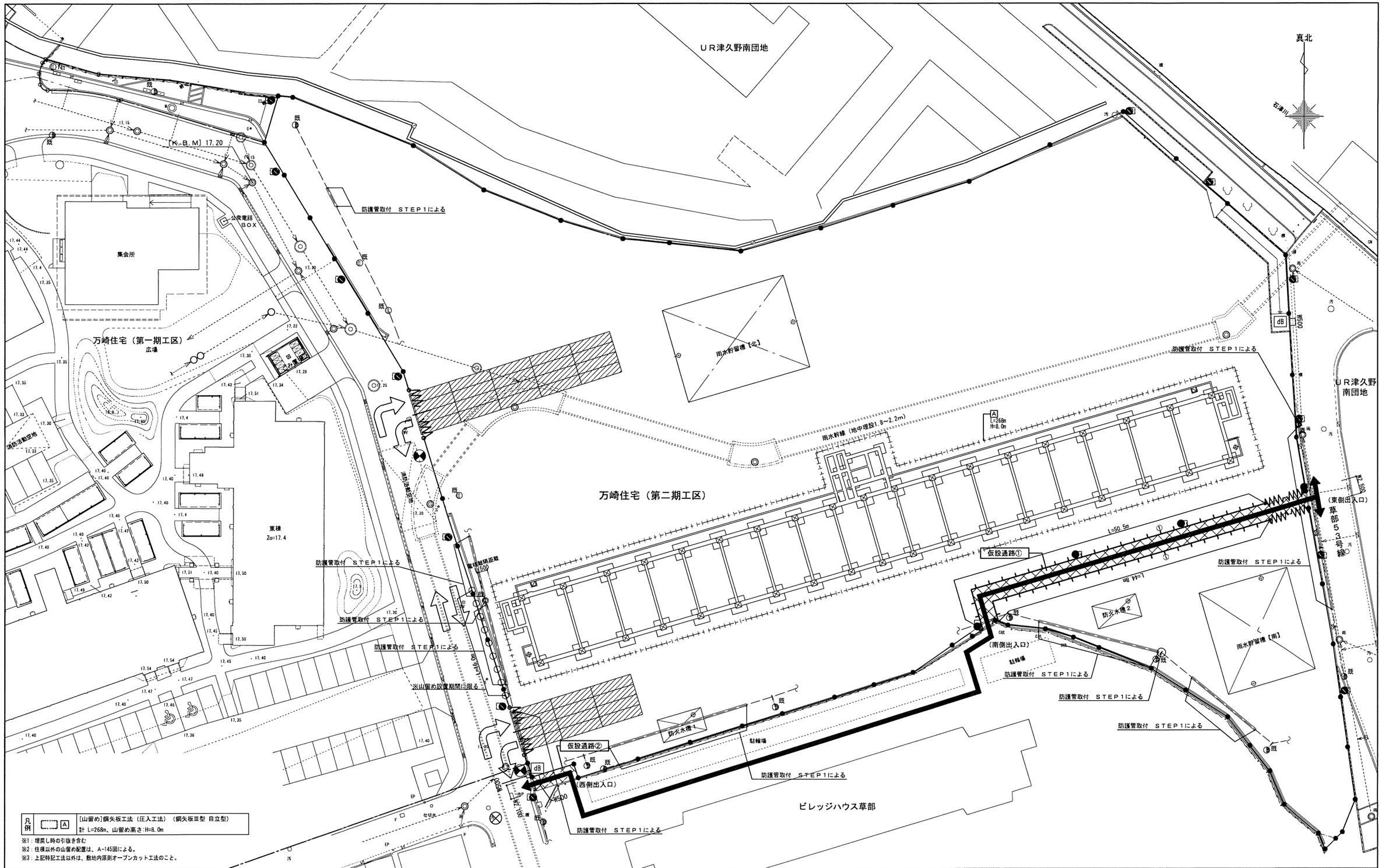
共通凡例

- 仮囲い：万能鋼板 H=3.0m L=460m（存置）＋防音シートH=1.8mm L=487m（新設）
  万能鋼板 H=3.0m L=27.2m（盛替）＋防音シートH=1.8mm L=20.0m（撤去・新設）
- 仮囲い：ガードフェンス H=1.8m
  範囲 仮設通路①出入口：L=1.3m+2.5m 計3.8m（新設）
  山留め範囲：L=20.0m（新設）
- パネルゲート（W7.2m×H4.5m）計1箇所（存置）計1箇所（盛替）
  ※敷地北側ゲートを南側に盛替え
- 工事車両通行経路
- 安全巡視員（常駐）計７人
- 安全巡視員（スポット）計50人
- 防犯灯（存置）
- 防犯灯 計4箇所（存置）【別途工事】
- 騒音振動表示装置 計2箇所（新設） ※記録装置付
- クリアパネル H=3.0m 計3箇所（存置）
- 仮設通路① 計137㎡（盛替）※砕石 撤去・新設
- 仮設通路② 計13.3㎡（存置）
- 仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m（盛替）
- パネルキャスターゲート（W6.3m×H2.0m）計2箇所（盛替）
- 仮設通路歩行者経路
- 養生鉄板(1,524×6,096×t22) 334㎡（新設）

■設備凡例
既 既設電力柱を示す
関 N 移設対象関西電力柱及びＮＴＴ柱を示す

【特記事項】
・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	[参考]仮設計画図（ＳＴＥＰ１）		
Ａ３縮尺	１／５００	Ａ１縮尺	１／２５０
堺市 建築都市局 建築部		図面番号	Ａ／１６３
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例　A　[山留め]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型）
計 L=268m、山留め高さ:H=8.0m

※1：埋戻し時の引抜き含む
※2：仕様以外の山留め配置は、A-145図による。
※3：上記特記工法以外は、敷地内原則オープンカット工法のこと。

共通凡例

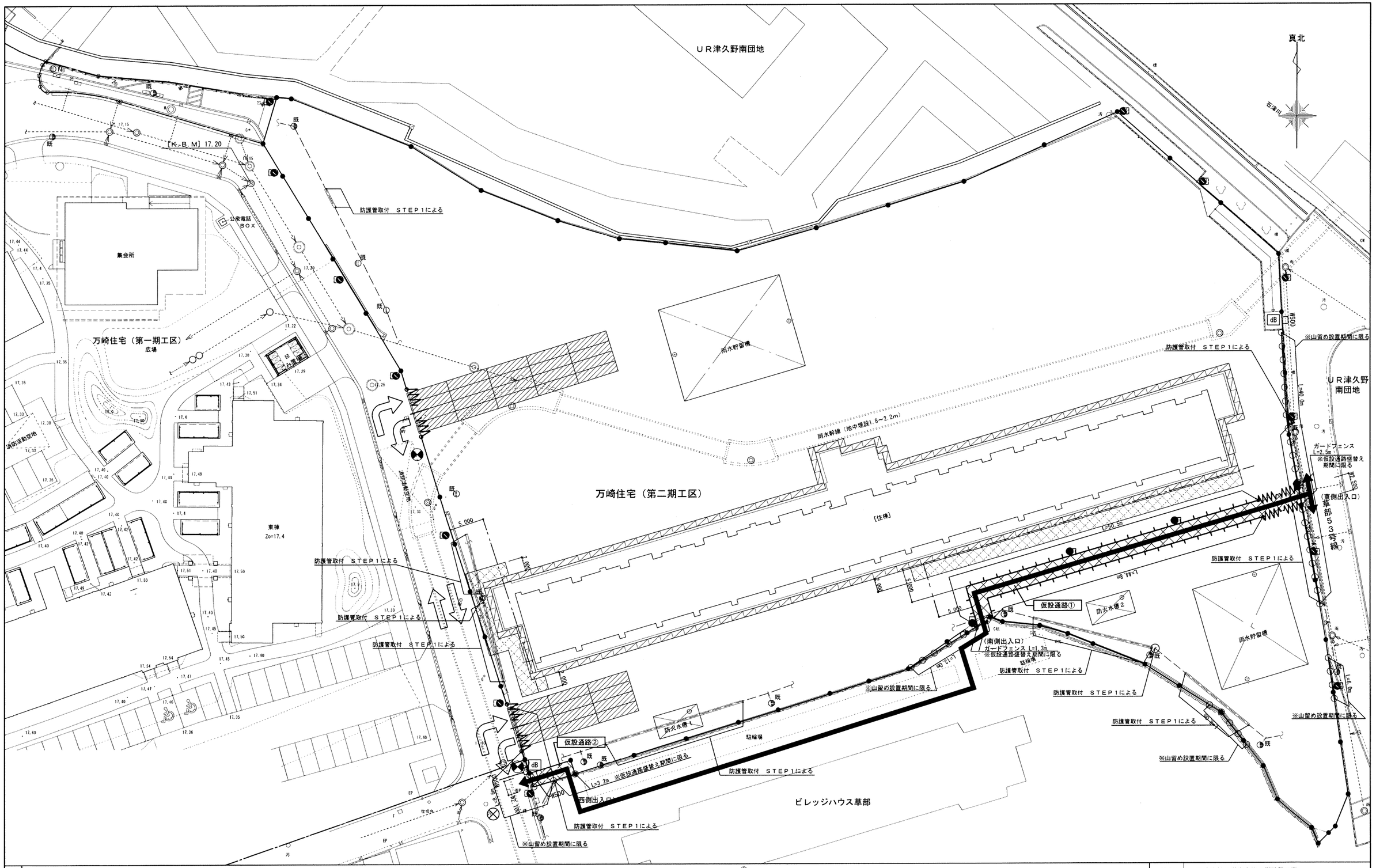
- 仮囲い：万能鋼板 H=3.0m L=471m（存置）＋防音シートH=1.8mm L=471m（存置）
  万能鋼板 H=3.0m L=16.0m（盛替）＋防音シートH=1.8mm L=16.0m（撤去・新設）
- 仮囲い：ガードフェンス　H=1.8m
  範囲　山留め範囲：L=16.0m（新設）
- パネルゲート（W7.2m×H4.5m）計2箇所（存置）
- 工事車両通行経路
- 安全巡視員（常駐）計７人
- 安全巡視員（スポット）計50人
- 防犯灯（存置）
- 防犯灯 計4箇所（存置）【別途工事】
- dB 騒音振動表示装置 計2箇所（存置）　※記録装置付
- W500 クリアパネル H=3.0m 計3箇所（存置）
- 仮設通路① 計137㎡（存置）
- 仮設通路② 計13.3㎡（存置）
- ① 仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m（存置）
- パネルキャスターゲート（W6.3m×H2.0m）計2箇所（存置）
- 仮設通路歩行者経路
- 養生鉄板（1,524×6,096×t22）334㎡（存置）

■設備凡例
- 既　既設電力柱を示す
- 関 N　移設対象関西電力柱及びＮＴＴ柱を示す

【特記事項】
・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	[参考]仮設計画図（ＳＴＥＰ２）		
Ａ３縮尺	１／５００	Ａ１縮尺	１／２５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１６４

原寸法　0 1 5 10 15 20 25m

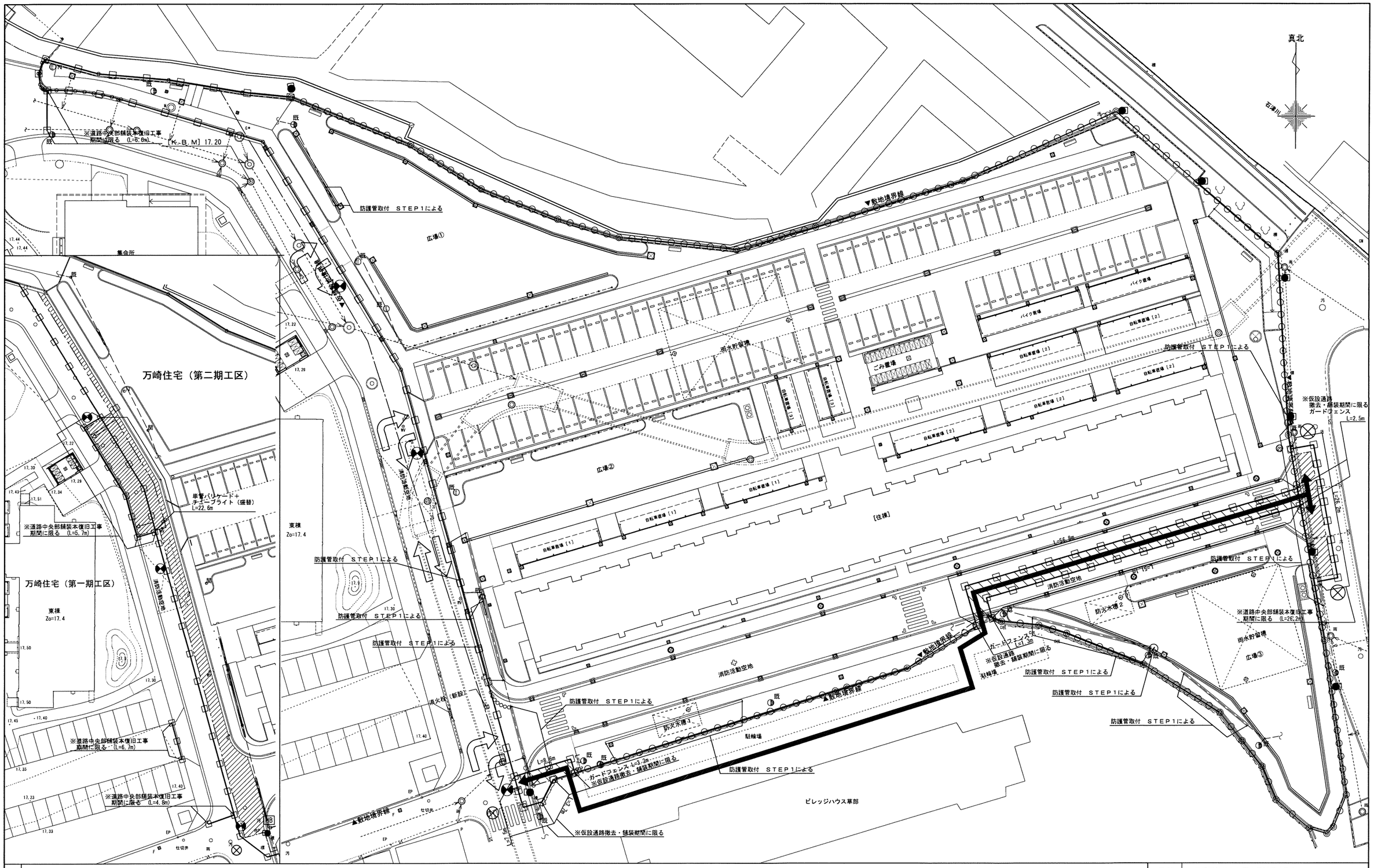


共通凡例

- 仮囲い：万能鋼鈑 H=3.0m L=411m（存置）＋防音シートH=1.8mm L=411m（存置）
  万能鋼鈑 H=3.0m L=75.6m（盛替）＋防音シートH=1.8mm L=75.6m（撤去・新設）
- 仮囲い：ガードフェンス　H=1.8m
  範囲　仮設通路①出入口：L=1.3m+2.5m　計3.8m（新設）
  仮設通路②出入口：L=3.2m（新設）
  山留め範囲：L=8.6m+13.0m+8.0m+6.0m+40.0m　計75.6m（新設）
- パネルゲート（W7.2m×H4.5m）計2箇所（存置）
- 工事車両通行経路
- 安全巡視員（常駐）計７人
- 安全巡視員（スポット）計50人
- 防犯灯（存置）
- 防犯灯 計4箇所（存置）【別途工事】
- dB 騒音振動表示装置 計2箇所（存置）　※記録装置付
- W500 クリアパネル H=3.0m 計3箇所（存置）
- 仮設通路① 計137㎡（盛替）※砕石　撤去・新設
- 仮設通路② 計13.3㎡（盛替）※砕石　撤去・新設
- ① 仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m（盛替）
- パネルキャスターゲート（W6.3m×H2.0m）計2箇所（盛替）
- 仮設通路歩行者経路
- 養生防護棚を示す　L=76.5m（地上より5m、15mの高さに設置）
- 養生防護棚設置基準線を示す
- 養生鉄板(1,524×6,096×t22)　334㎡（存置）
- ■設備凡例
  - 既 既設電力柱を示す
  - M N 移設対象関西電力柱及びＮＴＴ柱を示す

【特記事項】
・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。

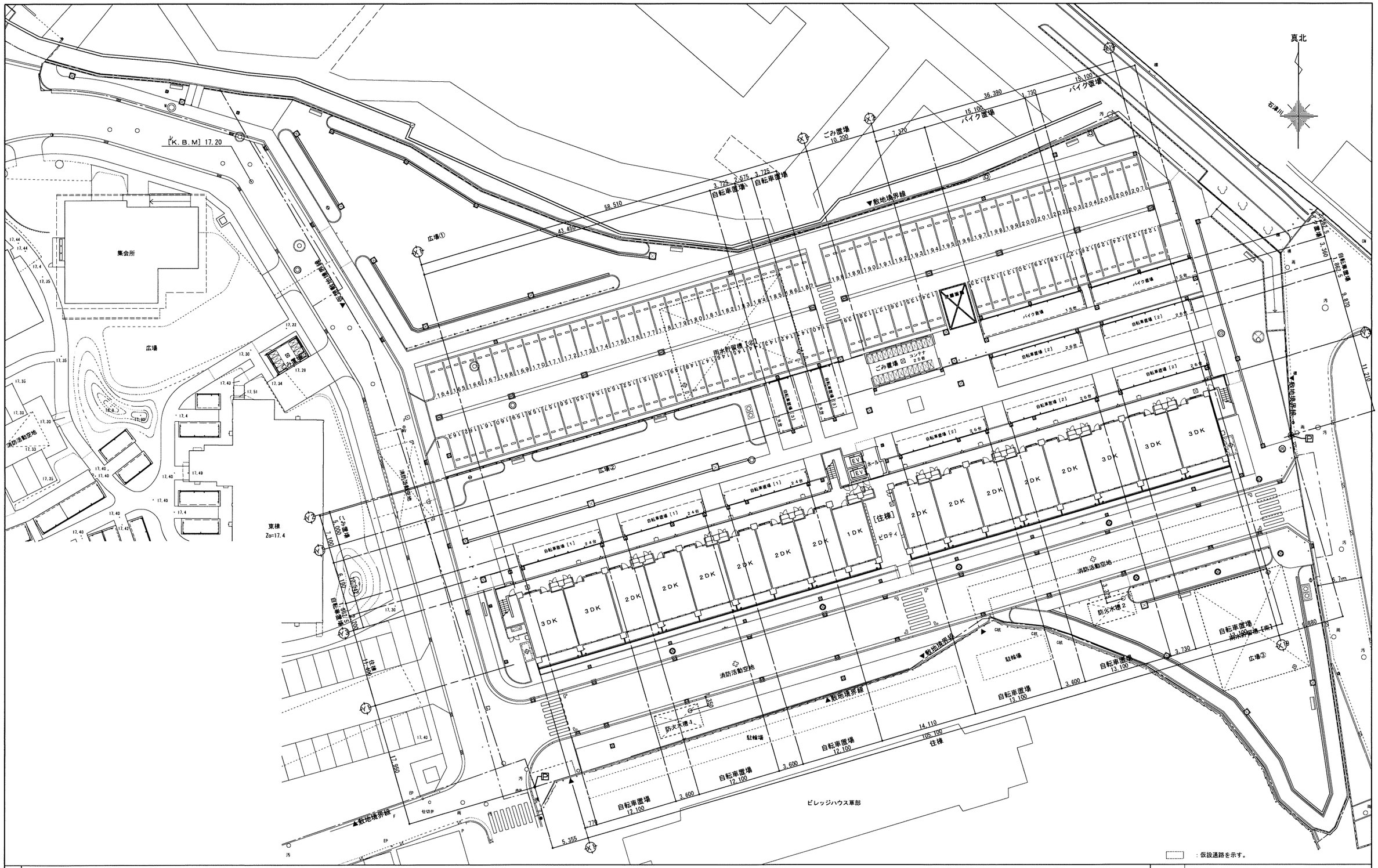
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	［参考］仮設計画図（ＳＴＥＰ３）		
Ａ３縮尺	１／５００	Ａ１縮尺	１／２５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１６５
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



共通凡例	
仮囲い：ガードフェンス　H=1.8m　L=370m 範囲　仮設通路①出入口：L=1.3m+2.5m　計3.8m（新設） 仮設通路②出入口：L=3.2m（新設）	工事車両通行経路
仮囲い：単管バリケード+チューブライト L=1.5m/台　計317m（新設） 範囲　仮設通路②付近：L=7.5m+3.7m　計11.2m（新設） 西　側：L=22.6m（盛替） 西　側：L=6.0m+5.7m+6.7m+4.8m　計23.2m（新設） 東　側：L=26.2m（新設）	安全巡視員（常駐）計７人
	安全巡視員（スポット）計50人
	防犯灯（存置）
	防犯灯 計4箇所撤去置）【別途工事】
	雨水排水施工範囲(他設備工事含む)を示す。 ※日中作業後は、全幅通行可とすること。
	仮設通路①　計137㎡（舗装済）
	仮設通路②　計13.3㎡（舗装済）
	仮設通路歩行者経路

【特記事項】
・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、
上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	[参考]仮設計画図（ＳＴＥＰ４）		
Ａ３縮尺	１／５００、１／６００	Ａ１縮尺	１／２５０、１／３００
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１６６
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

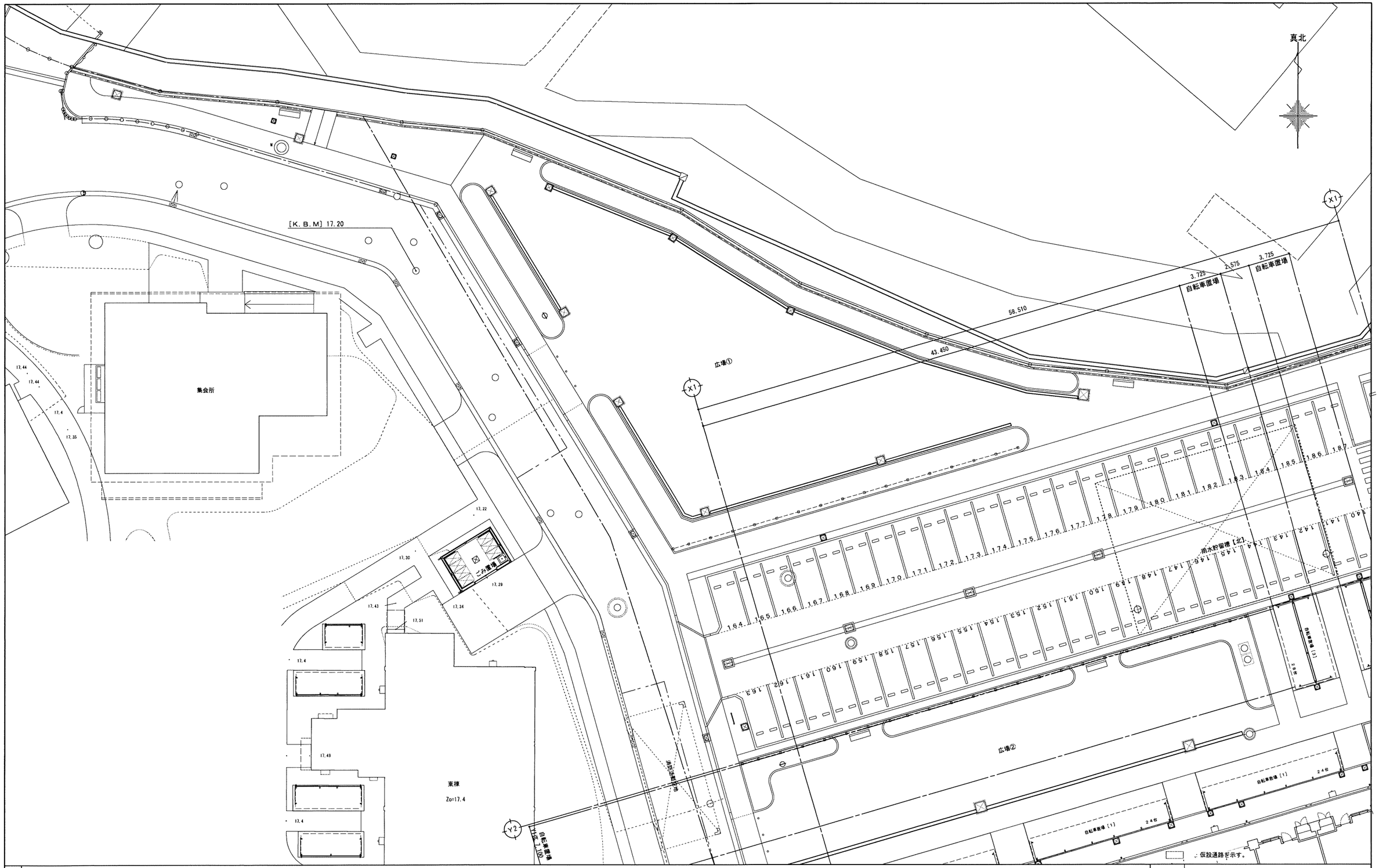


凡例

：敷地境界線交点を示し、本点より寄り寸法を柱芯押えとしている。
また、自転車・バイク置場に関しては、柱芯から屋根端部を押えている。

：仮設通路を示す。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	計画配置位置図（全体）		
A3縮尺	1／500	A1縮尺	1／250
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／167
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

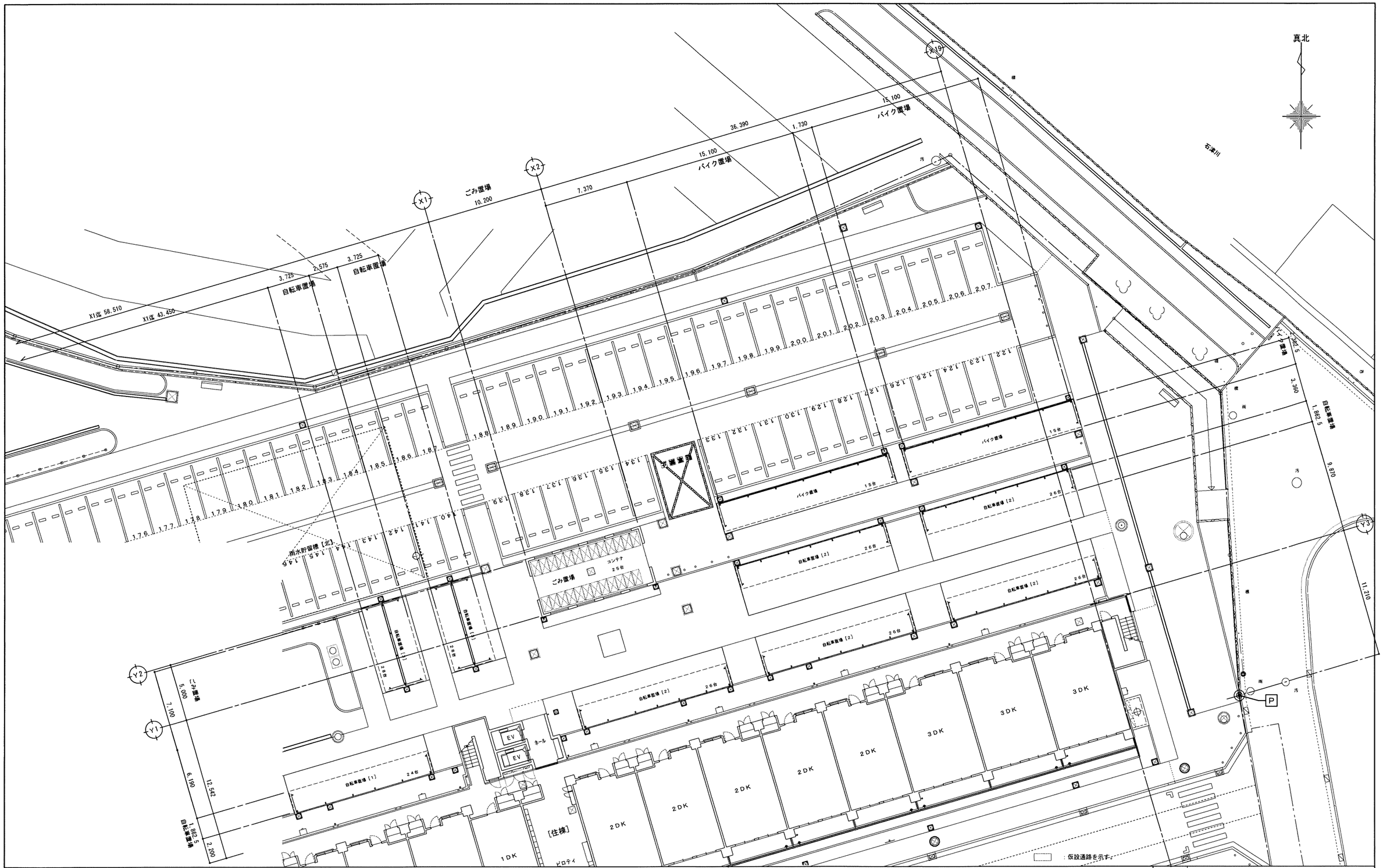


凡例

P：敷地境界線交点を示し、本点より寄り寸法を柱芯押えとしている。
また、自転車・バイク置場に関しては、柱芯から屋根端部を押えている。

：仮設通路を示す。

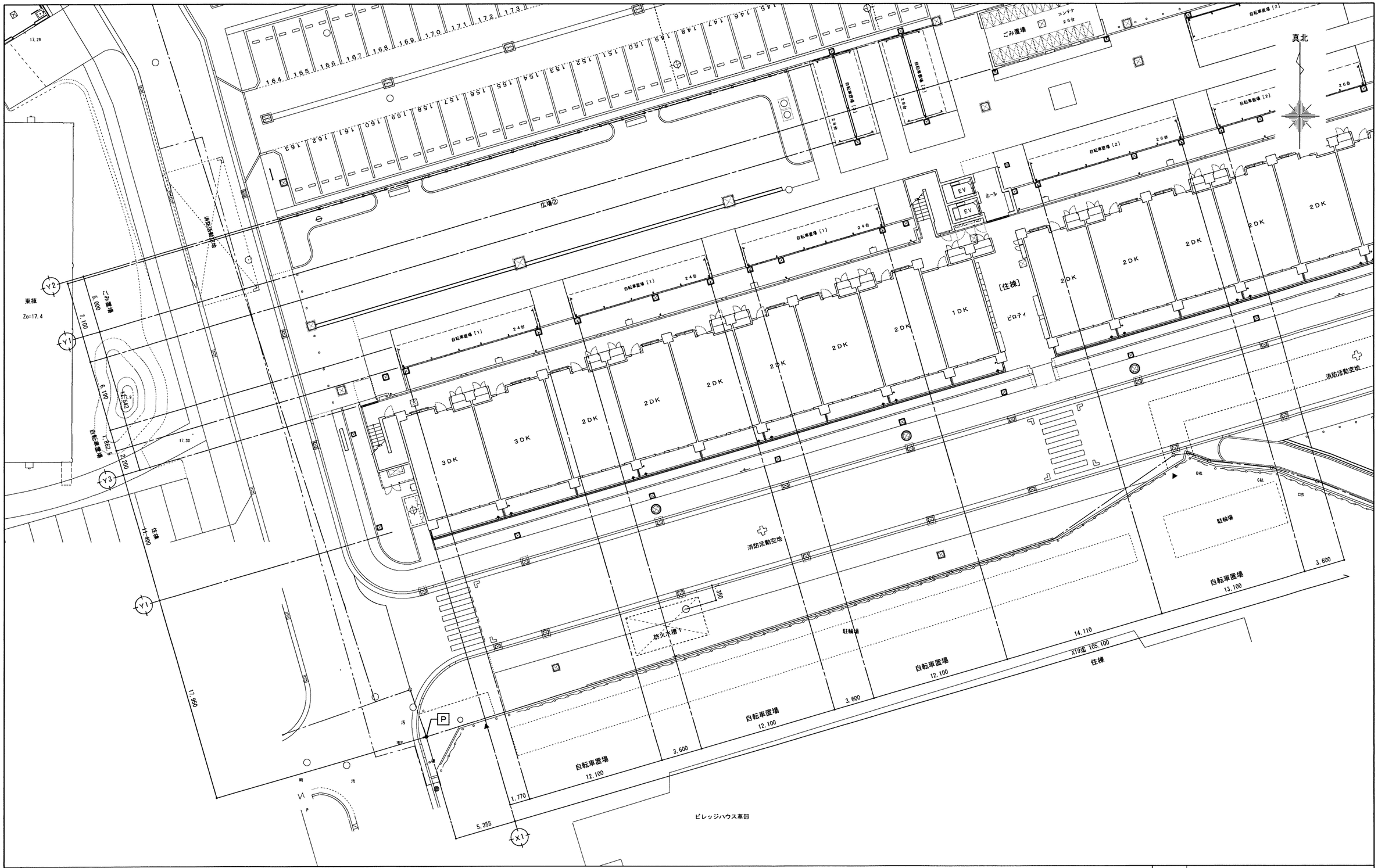
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	計画配置位置図（1／4）		
A3縮尺	1／300	A1縮尺	1／150
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A／168
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例

P：敷地境界線交点を示し、本点より寄り寸法を柱芯押えとしている。
また、自転車・バイク置場に関しては、柱芯から屋根端部を押えている。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	計画配置位置図（２／４）		
A３縮尺	１／３００	A１縮尺	１／１５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A ／ 169
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		



凡例

P：敷地境界線交点を示し、本点より寄り寸法を柱芯押えとしている。
また、自転車・バイク置場に関しては、柱芯から屋根端部を押えている。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	計画配置位置図（３／４）		
A３縮尺	１／３００	A１縮尺	１／１５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	A ／ １７０
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		

：仮設通路を示す。

凡例

P：敷地境界線交点を示し、本点より寄り寸法を柱芯押えとしている。
また、自転車・バイク置場に関しては、柱芯から屋根端部を押えている。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	計画配置位置図（４／４）		
Ａ３縮尺	１／３００	Ａ１縮尺	１／１５０
堺市　建築都市局　建築部		図面番号	Ａ／１７１
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m		